



2027

STUDY ABROAD HANDBOOK

京都産業大学海外留学ハンドブック

Contents

目次

◆1. 先輩からのメッセージ

交流協定校紹介	2
留学体験談	4

◆2. 自分に合う留学のカタチを見つける

2-1 留学の種類	16
2-2 長期留学	
2-2-1 在学留学	18
2-2-2 休学留学	20
2-2-3 留学相談	21
2-2-4 留学アドバイザーについて	21
2-2-5 留学プログラム期間中における帰国について	21
2-3 短期留学	22
協定校紹介「アイルランド グリフィスカレッジ」	25
2-4 交流協定校プログラム紹介	32

◆3. 留学計画のプランニングと情報収集

3-1 目標設定と留学プランニング	
3-1-1 留学計画の立て方／渡航までの流れ	40
3-1-2 留学関連・京都産業大学での学び	42
3-1-3 留学あっせん業者等の利用について	42
3-2 留学に関する情報収集	
3-2-1 情報の集め方	44
3-2-2 語学力判定テストについて	45
3-2-3 外国語検定試験 単位認定制度について	48
3-2-4 英語能力試験 (IELTS) 受験料補助新制度について	49
3-2-5 TOEFL iBT® (Test of English as a Foreign Language Internet based Test) について	49
3-3 留学資金計画と保証人の理解	
3-3-1 留学に必要な総費用概算	51
3-3-2 海外留学のための奨学金・ローン	52
3-3-3 海外への留学に関する奨学金制度	52

◆4. 留学と就職

◆5. 留学前・留学中・留学後にすべきこと

5-1 渡航前の準備	
5-1-1 パスポート	57
5-1-2 入学許可書	57
5-1-3 ビザ (査証)	57
5-1-4 保険	59
5-1-5 航空券	60
5-1-6 住居の確保	60
5-1-7 お金の準備	60
5-1-8 健康診断・予防接種	61
5-1-9 荷物	62
5-1-10 その他	63

5-2 出国と渡航後

5-2-1 出国	64
5-2-2 入国	64
5-2-3 空港から滞在先へ	65
5-2-4 現地にて	65
5-2-5 安否の連絡 (重要)	65
5-2-6 住所届の提出 (重要)	65
5-2-7 外務省への届け出	66
5-2-8 入国後の重要な手続き	66
5-2-9 現地での支払いについて	67
5-2-10 留学報告書の提出	67
5-2-11 薬物・エイズについて (重要)	67
5-2-12 異文化適応のために知っておきたいこと	68
5-2-13 異文化理解について	69

5-3 帰国に際して

5-3-1 単位認定のための準備 (在学留学生者)	70
5-3-2 現地での各種手続き	70
5-3-3 留学プログラム期間中における帰国について	70
5-3-4 リコンファーム	70
5-3-5 帰国後	71

5-4 その他情報

5-4-1 留学中のサポート・連絡先	72
5-4-2 在外公館	73
5-4-3 各国・地域政府観光局	73
5-4-4 海外での車の運転禁止	73
5-4-5 就労 (アルバイト等) の禁止	73
5-4-6 自分で行う危機管理	73

◆6. 危機管理について

6-1 危機管理について	74
--------------	----

◆7. 資料

7-1 規程	
・在学留学規程	78
・大学院在学留学規程	79
・外国留学支援金規程	80

7-2 留学関連データ

・在学留学生数データ (留学先国・地域別・留学種別・学部別・ 短期語学実習参加者数)	81
・認定留学実績大学	83

〈メモ〉

・出発までのチェックリスト	84
---------------	----



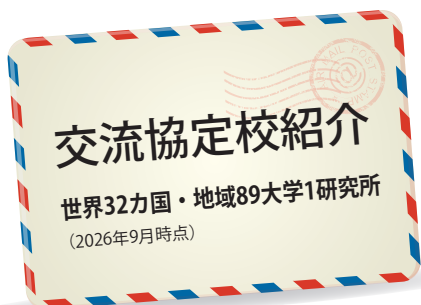
The World is waiting to be discovered

アケテミヨウ
世界のトビラ

留学制度・経験談を紹介しています！！

京都産業大学
留学制度について





アイスランド

- ◆アイスランド大学

カナダ

- ◆アルゴマ大学
- ◆ケベック大学モントリオール校
- ◆トンブソンリバーズ大学

アメリカ

- ◆サンディエゴ州立大学
- ◆ストーニーブルック大学
- ◆ノースカロライナ大学
- ◆グリーンズボロー校
- ◆ハワイ大学ヒロ校
- ◆プレスビテリアン・カレッジ
- ◆ミズーリ大学セントルイス校

メキシコ

- ◆グアダラハラ自治大学
- ◆グアナフアト大学
- ◆メキシコ国立自治大学

チリ

- ◆チリカトリック大学

アルゼンチン

- ◆国立ラプラタ大学

ウルグアイ

- ◆ウルグアイ・ORT大学
- ◆ウルグアイ・カトリック大学

オランダ

- ◆ハーグ応用科学大学
- ◆ユトレヒト応用科学大学

フランス

- ◆アンジェ西部カトリック大学
- ◆リヨンカトリック大学

イギリス

- ◆ケント大学
- ◆リーズ大学

アイルランド

- ◆グリフィスカレッジ

ポルトガル

- ◆ポルト大学

スペイン

- ◆サラマンカ大学
- ◆バレンシア・ポリテクニク大学
- ◆ラ・リオハ大学

ベルギー

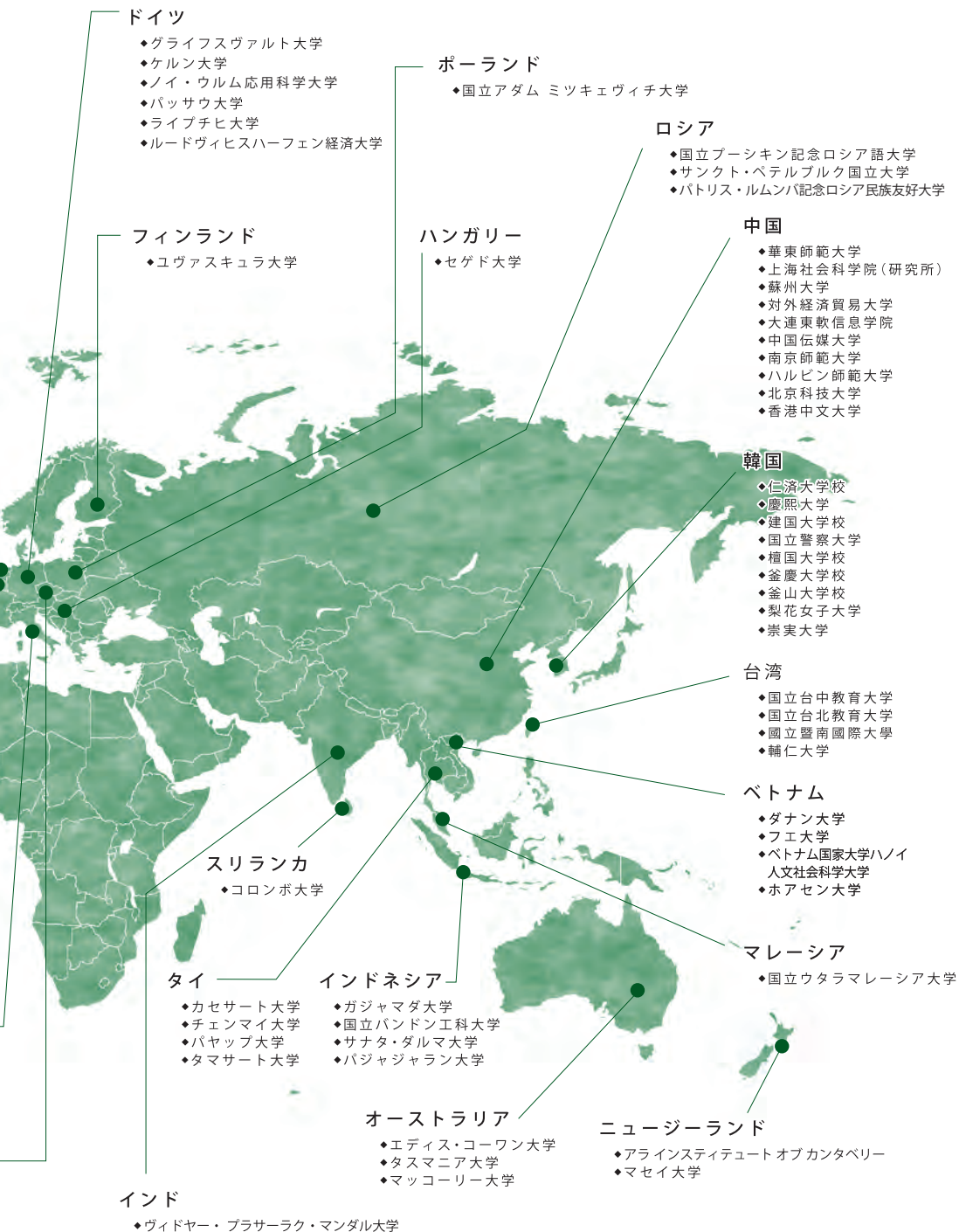
- ◆トマス・モア応用科学大学

イタリア

- ◆サレント大学
- ◆シエナ外国人大学
- ◆フェデリコ2世ナポリ大学
- ◆ペルージャ外国人大学

チェコ

- ◆バラツキー大学
- ◆メトロポリタン大学ブラハ



留学体験談



新 心 葉

国際関係学部

留学の種類：交換留学

留学先・大学：ハンガリー・セグド大学

留学年次：3 年次秋学期～ 4 年次春学期

留学期間：2025 年度秋学期から 2026 年度春学期（1 年間）

- 1 寮の近くの家に掲げられていたハンガリーの国旗です。毎回これを見ながら、ハンガリーにいるんだなと実感していました。
- 2 セグドでの初めての買い物です。水が欲しかったのですが、買ったのは炭酸水でした。後に、水色のキャップは炭酸水で、普通の水はピンクのキャップだということを知りました。
- 3 大学のメインの建物です。授業で使うことはありませんでしたが、私が想像していたような海外の大学らしい建物で、お気に入りの場所でした。



・セゲド大学での学びについて

専攻の経済学や経営学に関する授業を中心に履修したほか、他学部の授業も履修できる環境だったため、自分の興味のある心理学の授業も受講しました。専門分野だけでなく、幅広い分野を学ぶことができたことも、セゲド大学の魅力の一つでした。授業では、学生が自由に発言や質問をしたり、先生が積極的に問いかけたりするなど、双方向のコミュニケーションが活発で、プレゼンテーションやディスカッションを行う授業も多く、学生同士で意見を交換する機会が豊富でした。また、ハンガリー語や中国語の授業も履修し、文法や発音を基礎から丁寧に学びました。英語で外国語を学ぶという初めての経験は新鮮で、とても興味深かったです。一番印象に残っているのは、「Living Abroad, Reflecting the Intercultural Experience」という授業です。この授業では異文化コミュニケーションや移民について学んだほか、自国の料理を作ってグループで食べるというユニークな課題がありました。大人数で料理を作って夕食を楽しみ、その後はゲームをして交流を深めました。料理を通してさまざまな国の食文化に触れることができ、留学ならではの貴重な経験となりました。



- 4** 大学のオリエンテーションセレモニーの後に行われたイベントです。DJ がいて、みんな音楽に合わせて踊るといって、いかにも海外の大学らしい経験をしました。
- 5** 友人たちとみんなで出かけた時の写真です。週末はみんなでホームパーティーをして楽しむことが多く、たくさん思い出ができました。
- 6** 友人と秋に開催されたワインフェスティバルに行きました。ブースがたくさん並び、昼間から多くの人で賑わっていました。
- 7** 秋に大学のメインの建物で小さなコンサートが行われていました。音楽に合わせてプロジェクションマッピングも映し出され、とても綺麗でした。



8



10



9



11

- 8 トルコ人の友人とカフェでお茶をした時の写真です。ケーキはとても美味しく、日本よりも比較的安かったと思います。よく二人で散歩をしたり、お茶をしたりして過ごしました。
- 9 [Living Abroad, Reflecting the Intercultural Experience] という授業の課題で、グループごとに自国の料理を作って食べました。私はみそ汁を作り、美味しいと言ってもらえて嬉しかったです。
- 10 セグドで有名なスポットで、クリスマスマーケットが開催されていました。ここではコンサートやワインフェスティバルなど、さまざまなイベントが行われていました。
- 11 ヨーロッパには教会がたくさんあり、礼拝目的でなくても入ることができるので、よく見学していました。これはセグドにある教会です。

・セグド大学を選んだきっかけ

もともと、大学入学前から海外に興味があり、長期留学をしたいと考えていました。非英語圏で生活してみたいという好奇心と、ヨーロッパの建物や文化に興味があったことから、留学先はヨーロッパを中心に探しました。当初は、別の大学を第一希望としていましたが、最終的にセグド大学への留学が決まりました。セグド大学では、世界各国から留学生が集まる国際的な環境の中で関心のある経営や経済を学べること、そしてこれまで触れたことのない文化や価値観の中で新しい経験ができることに魅力を感じました。多くの学びや出会いに恵まれ、充実した留学生活を送ることができました。



12



13



14



15

・セゲド大学の1日のスケジュール

日によって授業数は異なりましたが、一番早い日は朝8時から、遅い日は午後6時から授業がありました。朝から授業がある日は早めに起床し、朝食を食べるか学校へ持参して登校していました。空きコマや授業の合間には、大学近くのスーパーマーケット「ALDI」でパンを買って昼食にすることが多かったです。午後に授業がない日は寮で課題に取り組んだり、ゆっくり過ごしたりしていました。一方で、午後から授業の日は午前中に課題を進めたり、料理をしたり、趣味のドラマ鑑賞を楽しんだりしてから学校へ向かっていました。

1 週間のスケジュール

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Weekend
AM	授業	授業	フリータイム	授業 ※1学期目はオンライン	フリータイム	フリータイム
PM	授業	授業	フリータイム	授業	フリータイム	友人とお出かけ

- 12 友人とティサ川の近くでピクニックをしました。スーパーで材料を買ってサンドイッチを作り、みんなで食べました。
- 13 チェコのプラハへ一人旅に行った時の写真です。夕日がとても綺麗で、ベンチに座ってぼーっと眺めていました。
- 14 日帰りでチェコのチェスキー・クルムロフに行きました。数時間で歩いて回れるほどコンパクトで、おとぎ話の世界に迷い込んだような気分になれる素敵な街でした。
- 15 ハンガリーの隣国・クロアチアのドブロヴニクへ2泊3日で旅行しました。海が驚くほど綺麗で、旧市街はまるで映画のセットのようでした。



16



17



18



19

・休日の過ごし方

週末はメンターや友人たちとホームパーティーをしたり、大学や学外でできた友人とカフェや散歩に出かけたりして過ごしました。また、週末を利用してウィーンへ初めての一人旅にも挑戦しました。日本では休日を家で過ごすことが多かったのですが、留学中は「せっかくだから挑戦してみよう」と意識して行動したことで、さまざまな経験や素敵な出会いに恵まれました。休暇中にはフランスやポルトガル、クロアチア、ポーランド、チェコなども訪れ、同じヨーロッパでも国ごとに異なる景色や文化、人々の暮らしに触れることができ、とても興味深かったです。

16 ブダペストの川沿いにある、ユダヤ人虐殺犠牲者を追悼する記念碑です。こうした負の歴史に触れることも大切だと感じました。

17 大学の図書館です。とても綺麗で広く、お気に入りの場所でした。テスト前には友人とよく勉強しに来ていました。

18 ハンガリーの文化について学べるワークショップに参加した際、オーストリア人の大学院生と仲良くなりました。

19 クリスマスに、フランス・アルザス地方に住む友人を訪ねました。その時に6つものクリスマスマーケットへ連れて行ってくれました。今度は彼らが日本に来た時に、私がいろいろ案内したいと思っています。



20

- 20 セグドはあまり雪が降らないと聞いていましたが、私が留学した年はたまたま大雪になりました。温暖な土地で生まれ育った私にとっては、とても嬉しい出来事でした。
- 21 友人とブダペストへ遊びに行った時に見た、ライトアップされた国会議事堂です。実際に目の前で見ると、その美しさは圧巻でした。
- 22 試験が終わり休暇に入る時期、帰国する友人を空港まで見送りに行きました。早朝のフライトだったため、前日の夕方にブダペストへ向かい、夕食を食べた後は、みんなと空港で一夜を過ごしました。初めて空港で朝を迎えたことも、留学中の思い出の一つです。朝6時過ぎ、セグドへ戻る途中に見た朝日はとてもきれいでした。一緒に授業を受けたり、旅行や食事に出かけたりと、多くの思い出を作ることができました。この友人たちとの出会いをはじめ、留学中は本当にたくさんの素敵な人との出会いに恵まれました。



21



22

・留学を終えてー学び・未来への展望・これから留学する方へ

留 学先が決まった当初は、まさかハンガリーで10か月を過ごすことになるとは思っていませんでした。しかし、せっかく挑戦できる機会をいただいたのだから、この環境でできることを全力で楽しもうと気持ちを切り替えて留学生活を送りました。その結果、多くの学びや出会いに恵まれ、充実した10か月を過ごすことができました。今では、セグド大学で留学生活を送ることができて本当に良かったと心から思っています。この留学を通して学んだのは、思いどおりにならないことがあっても、その環境で自分にできることに前向きに取り組めば、かけがえのない経験につなげていけるということです。留学は楽しいことばかりではなく、不安や困難を感じることもありました。その一つひとつの経験が自分を成長させてくれました。また、もし留学をしていなければ出会うことのなかった人たちと出会い、さまざまな価値観や文化に触れることができたことは、私にとって大きな財産です。この10か月で得た経験や出会いを大切にしながら、これからも新しいことに挑戦していきたいと思います。

留学体験談



1 日本から経由地のドイツまでは無事に到着したものの、ドイツからイタリアの飛行機が欠航になり留学初日からパニック状態でした。急いで飛行機を変更し、ホテルを予約しました。何もわからない状態でしたが、優しいイタリア人と国際交流センターの皆さんに助けをいただきたがなんとか予定日の一日遅れで無事にシエナに到着することができました。

2 何度か学生無料のコンサートに招待していただきました。憧れのボックス席からの景色は本当に素敵で、今でも印象に残っています。

3 クリスマス・年明けの長期休みを使ってフランス、デンマーク、ドイツ、オーストリアを旅行しました。クリスマスシーズンはクリスマスマーケットだけでなく町並みがライトアップされていて本当に綺麗でした。



橋本 佳歩

外国語学部 ヨーロッパ言語学科 イタリア語専攻

留学の種類：交換留学

留学先・大学：イタリア・シエナ外国人大学

留学年次：2年次秋学期～3年次春学期

留学期間：2025年度秋学期から2026年度春学期



1

留学 の 動機

私 がイタリアへの留学を決意したきっかけは、留学前に一度イタリアを旅行した経験です。その旅行を通して、イタリアの文化や生活に大きな魅力を感じました。特に印象に残ったのは、イタリア人の明るく親しみやすい人柄と、地域ごとに特色のある豊かな食文化です。現地の人々と触れ合う中で、「もっとイタリアについて深く知りたい」「現地で生活しながらイタリア語を学びたい」という気持ちが強くなり、留学を決意しました。



2

- 1 日本語を勉強しているイタリア人と、イタリア語を勉強している日本人の初めての交流会の写真です。シエナ外国人大学の学生が企画してくれ、クイズなどを通して一気に仲が深まりました。これをきっかけに交友関係が大きく広がり、語学力だけでなく異文化を楽しみながら学ぶ大切さを実感しました。
- 2 寮の日本人たちが誕生日を祝ってくれた時の写真です。京都産業大学以外の大学からも日本人が集まる寮だったため、たくさんの仲間と出会うことができました。現地で支え合える日本人の友人・仲間ができたことも、長期留学を乗り切る大きな力になりました。
- 3 クリスマス頃、イタリア語の授業の一環として、私たちが馴染みのあるビンゴゲームの原型とも言われているイタリアの伝統的な数字合わせゲーム「トンボラ (Tombola)」を行いました。身近なゲームのルーツを現地で実際に体験しながら、クラスメイトと楽しく現地の文化に触れることができました。



3



大浦 健斗

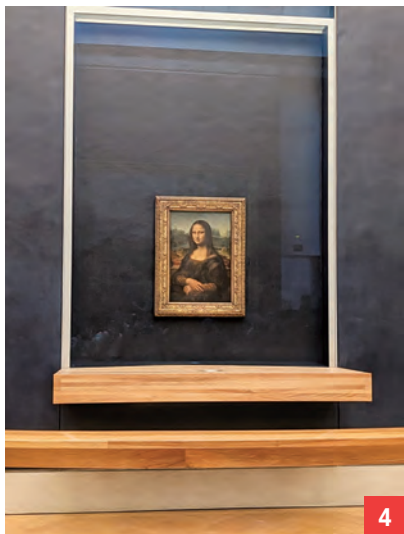
外国語学部 ヨーロッパ言語学科 イタリア語専攻

留学の種別：交換留学

留学先・大学：イタリア・シエナ外国人大学

留学年次：2年次秋学期～3年次春学期

留学期間：2025年度秋学期から2026年度春学期



4



5



6



7



8

- 4 フランスのルーブル美術館で見たモナリザです。美術専攻の寮の友達とどこかに行くたび美術館を訪れ、有名な絵画の解説をしてもらいました。
- 5 日本語専攻の友達と教授のお家にお邪魔したときの写真です。日本人の教授の方が日本食を作ってきてくださって、久しぶりの日本食に感動しました。友達が日本食について沢山質問してくれて、材料や作り方などを解説しました。
- 6 日本人のルームメイトと絶対に一度は朝 Bar に行こう！と決め、早起きして教授おすすめの Bar で朝ごはんを食べました。このお店のスイーツはどれもおいしくて印象に残っており、ぜひまた行きたいです。
- 7 世界一のジェラートの店があるサンジミニャーノに行きました。ジェラート屋さんの看板に日本語が書いてあり、メニューにも日本語表記があつてすごく新鮮でした。その後訪れた大聖堂では、壁一面にフレスコ画が飾られていて素敵でした。
- 8 この写真はドイツ人の友達と一緒にドイツで有名なレシピを使ってクッキーを作ったときの写真です。他にも、留学中にカルボナーラ、カッチョエペペ、ピザ、ラザニア、アランチョーネ、カレー、親子丼、天ぷらなど様々な料理を作りました。

留学前の準備

留学前は、必要な持ち物について先輩方からアドバイスをいただき、それを参考に準備を進めました。しかし、「念のため」という気持ちが強く、結果として荷物を必要以上に多く持って行ってしまいました。実際に現地で生活してみると、日用品や生活に必要なものの多くは現地で購入することができ、日本から持参しなくても困ることはほとんどありませんでした。この経験から、留学の際は本当に必要なものだけを持参し、足りないものは現地で調達する方が、荷物も少なくなり移動もしやすいと感じました。



4

4 イタリア語クラスのコロンビア人と仲良くなり、休日に会ってご飯を食べたりしました。さまざまなバックグラウンドを持つ友人と話すことで、語学力だけでなく、視野が大きく広がったと感じています。

5 イタリア語の授業で、過去の歴史上の偉人になりきってインタビューする発表を行いました。僕はインタビュー者となり、イタリアの歴史的偉人ビザンツ帝国最後の皇帝である「コンスタンティノス」へのインタビューを担当しました。苦労しましたが実践的な表現力が身についた思い深い授業です。

6 大学主催の外国語で書かれた詩を母語としない学生が読む「詩の夜 (Notte della poesia)」というイベントに参加しました。僕はイタリア語の、イタリア人の友人は日本語の詩を朗読しました。言語や文化の壁を越えてコミュニケーションを深めるという素晴らしい経験になりました。



5

留学中の生活

留学中は、「イタリアでしかできない経験を大切にしたい」ということを常に意識して生活していました。そのため、授業以外の時間には積極的にイタリア人の友人と交流し、一緒に食事をしたり遊びに出かけたりして、多くの時間を現地の人々と過ごしました。イタリア語を使う機会をできるだけ増やしたいと考え、日本語や英語に頼らず、積極的にイタリア語で会話をしよう心掛けました。

その結果、机に向かう勉強にとどまらず、実際の生活の中でイタリア語を使い続けたことで、教科書では学ぶことのできない自然な表現や会話を身に付けることができました。留学だからこそ得られる実践的な経験を優先したことは、自分にとって非常に有意義だったと感じています。

留学を通して学んだこと

➡ の留学を通して、イタリア語で人とコミュニケーションを取ることに自信が大きく向上しました。当初は自分のイタリア語が相手に伝わるか不安を感じることもありましたが、多くの人と会話を重ねるうちに、自信を持って話せるようになりました。また、さまざまな価値観や文化を持つ人々と交流したことで、人と話すことそのものが以前よりも好きになり、自分から積極的にコミュニケーションを取る姿勢も身に付きました。語学力だけでなく、人間的にも大きく成長できたことが、この留学で得た最も大きな成果だと考えています。



6



9



10



11



12

9 イタリア人の友達とコントラダのディスコに行きました。基本的に野外でお酒を手に音楽を楽しみます。人混みにも、ディスコの雰囲気にも慣れない私を友達が手を引いて、一緒に踊ってくれました。

10 授業の一環で「1000 Miglia」という車のイベントを見に行きました。車のことは何も分からず、クラスメイトの話についていけなかったのですが、人で溢れる広場の雰囲気が大好きでした。

11 授業最終日に大学の前で撮影した写真です。

イタリア人の学生は本当に友達思いで、授業がない日でも私たちに会うためだけに大学へ来てくれたり、授業が終わるまで教室の前で待っていてくれたり、毎日のように私たちの寮まで見送ってくれました。こうした日々の積み重ねが、私にとってかけがえのない思い出になっています。

9か月という短い期間でしたが、この大学には数え切れないほどの思い出があります。そして何より、遠く離れたイタリアで、私の人生に大きな影響を与えてくれる素敵な人たちと出会えたことが、留学をして一番良かったと感じることです。

12 シエナを離れる日電車のホームまでたくさんの友達がお見送りに来てくれました。友達から窓に書いてくれた私たちの名前とハートを見つめながら寂しい気持ちで出発しました。

<留学を通して>

私 は人と関わるのが好きで、「日本では出会えないような人たちと交流したい」「実家を出て自立したい」という思いがあり、高校生の頃から留学を目標にしていました。

実 際にイタリアで生活を始めると、文化や言語の壁に直面し、自分がこれまで過ごしてきた世界がいかに狭く、偏った考えの中にあっただのかを実感しました。一方で、その経験を通して、多様な文化や考え方を受け入れる姿勢が身につきました。

私 が通っていた大学には世界各国から学生が集まっており、多くの国の人々と交流し、自分の視野を大きく広げることができました。また、日本に興味を持ち、日本文化を好きだと言ってくれる友人たちとの出会いを通して、自分では当たり前だと思っていた日本の文化や価値観の魅力を改めて発見することもできました。

こ の留学経験を通して、異なる価値観を尊重しながら積極的に人と関わる姿勢と、新しい環境にも柔軟に適應する力を身につけることができましたと感じています。



7



8

7 シエナで有名な、年に2回しか行われない馬のレース「パリオ (Palio)」の前夜祭フェスに参加しました。街全体が熱気に包まれ、教科書では分からないイタリアの生きた文化や地域のお祭りを肌で体感できました。

8 寮では様々な国から来た年齢の近い学生たちとキッチンで会う機会が多くあり、自然と仲良くなることができました。この日は、イタリア人と韓国人と日本人で、韓国のカレーと日本の生姜焼きとカツを作ってみんなで食べました。別の日には、彼らとシチリアの料理を作りました。このメンバーは毎日会っていて、イタリアで一番仲良くなれた友達です。授業後、僕たちの家まで毎回送ってくれたり、休日は彼らの家に遊びに行ったり、彼らを自分たちの寮に呼んだり、ほとんど毎日会って遊んだり話したりしていました。お互いの国の言語を学び合うことができ、彼らのおかげで僕のイタリア語は大きく向上しました。

また、イタリア語だけでなく英語も交えながらコミュニケーションを取ることで、語学力の向上にもつながりました。こうした国際的な交流は、留学生活の中でも特に印象に残る貴重な経験となりました。

後輩へのメッセージ

これからイタリアへ留学する後輩の皆さんには、ぜひ積極的に現地の学生や地域の人々と交流してほしいと思います。イタリア人の学生はとても明るく親切で、外国から来た学生にも温かく接してくれます。大学や地域で開催されるイベントにも積極的に参加することで、多くの友人を作り、語学力だけでなく異文化理解も深めることができます。留学生活では勉強ももちろん大切ですが、現地でしかできない経験の一つでも多く積み重ねることが、何よりも貴重な財産になります。ぜひさまざまなことに挑戦し、自分らしい充実した留学生活を送ってください。

[News]

本学の留学プログラムが、2026年度日本学生支援機構 (JASSO)「海外留学支援制度 (協定派遣)」に採択されました。これにより、外国語学部ヨーロッパ言語学科イタリア語専攻の学生は、イタリアのシエナ外国人大学およびペルージャ外国人大学への留学において、充実した経済的支援を受けられることとなりました。帰国後も奨学生たちの活躍が期待されます。

□対象学生：外国語学部 ヨーロッパ言語学科 イタリア語専攻

□プログラム名：「語学・専門科目・地域社会を結ぶイタリアの「テリトリーオ」を実地に学ぶ留学プログラム」

□プログラム代表者：内田 健一 先生

2-1 留学の種類

本学の留学制度 留学に行くまでには、大学の制度をしっかりと理解することが必要です。

【長期在学留学制度（半年または1年）】

①交換留学

本学の交流協定校に学部留学若しくは大学附属の語学コースに留学をする制度です。学生交換協定に基づき、先方の授業料が免除になるので他の留学制度よりも留学費用が安価になります。本制度を利用するには、募集期間に応募書類等を提出し、後日行われる面接を受けて合格する必要があります。交換留学については、応募の学力要件として学業成績表で GPA 2.0 を下限としております。

②派遣留学

本学の交流協定校の大学附属の語学コースに留学をする制度です。先方への授業料が必要です。本制度を利用するには、募集期間に応募書類等を提出し、後日行われる面接を受けて合格する必要があります。
グリフィス・カレッジ派遣留学プログラム

全学部の学生を対象とする約3か月間のプログラムです。8週間の英語集中講座、4週間のフィールドスタディを行います。

③認定留学

自分で探した大学へ留学する制度です。留学先として選べる大学は、学位授与権のある大学に限ります。先方への授業料が必要です。留学先とのやり取りは、全て独力で行います。また、本学への書類提出等、手続きの窓口は各学部事務室となります。

【短期語学実習（2週間から4週間程度）】

夏休み・春休みの長期休暇を利用して、本学の協定校に留学するプログラムです。実習先では、英語などの集中語学コースに様々な文化体験プログラム等があり、本実習で経験を積んでから長期留学にチャレンジすることも可能です。

区 分	長 期 留 学			短 期 留 学	
	在 学 留 学			休学留学	短期語学実習
	交換留学	派遣留学	認定留学		
期 間	原則1年間（プログラムによって半年間）		1年間または半年間	最長2年まで	春・夏休みの1か月程度
特 色	・単位認定あり（上限単位数は学部により異なる） ・留学期間は修業年限に含む（4年間での卒業が可能） ・外国留学支援金を支給する			・単位認定なし ・自分で自由に計画が出来る	・単位認定あり（1～4単位）
留学先	交流協定校		自分で選択 （学位授与権のある大学）	自分で選択	交流協定校
可能な留学のタイプ	学部留学 語学留学	語学留学 グリフィス・カレッジ 派遣留学プログラム （全学部対象）	学部留学 語学留学	学部留学 語学留学 ワーキングホリデー その他（スポーツ留学、インターンシップ、ボランティア活動など）	語学留学
本学への授業料	要	要	要	在籍料	—
先方への授業料	本学負担	自己負担	自己負担	自己負担	自己負担
外国留学支援金	文系：55万円/年 理系：75万円/年		文系：45万円/年 理系：55万円/年	—	—
必要条件	通算 GPA2.0 以上 【英語による留学】 ・ TOEFL iBT 55 点以上 ・ IELTS 5.0 以上 【英語以外の留学】 ・ 各語学力試験のスコア	【英語による留学】 ・ TOEFL iBT 45 点以上 ・ IELTS 4.0 以上 【英語以外の留学】 ・ 各語学力試験のスコア	留学準備は全て自ら行い、先方の大学への入学許可を得る。	特になし	留学先の言語を渡航までに最低1学期間程度学習していること。 ※一部プログラムは語学力証明書提出要。 ※定員を超える場合は選考あり。 ※定員に満たない場合は、実施を中止する可能性がある。

・外国留学支援金の詳細は「2-2-1 在学留学」の「6 外国留学支援金」を参照。上記の金額は学部生の場合。

留学の流れ ※年度によって変更する可能性があります。

留学は思い立ってすぐにできるものではありません。しっかり事前の準備と計画を立てることが重要です。

時 期	交換・派遣留学 ※1年間又は半年間			認定留学		短期語学実習 ※約2週間～4週間	
	春募集	秋募集	冬募集	春学期出発	秋学期出発	夏季	春季
準備期間	・語学試験の受験 ※交換・派遣留学の場合、応募する時点でスコア表の提出必須。 ・所属学部の留学アドバイザーと相談 ※留学先の授業や単位認定についての相談。			・認定留学希望届を提出 締切：4月末 ・各自で入学手続き・ビザ申請を行う。 ※所属学部事務室へ留学申請書類の提出も必要です。 締切：6月末		詳細は「2-3 短期留学」参照	
4月	募集説明会					募集説明会	
5月	合格発表					合格発表	
6月	危機管理説明会					危機管理説明会	
7月							
8月	順次出発				順次出発	出発・帰国	
9月	募集説明会		募集説明会			募集説明会	
10月							合格発表
11月		合格発表		合格発表			
12月							
1月	順次帰国(半年)	危機管理説明会	募集説明会	危機管理説明会	順次帰国(半年)	危機管理説明会	
2月		順次出発	合格発表	順次出発			出発・帰国
3月							
4月				出発			
5月	順次帰国(1年)				順次帰国(1年)		
6月		危機管理説明会	帰国				
7月	順次帰国(半年)			順次帰国(半年)			
8月		順次出発					
9月							
10月							
11月							
12月		順次帰国(1年)		順次帰国(1年)			
1月		順次帰国(半年)					
2月							
3月							
4月							
5月		順次帰国(1年)					

※休学留学の場合は、「2-2-2 休学留学」を参照。

早めの情報収集が大切！

応募・申請から出発までには、約半年～1年間の準備が必要です！

* 学部によって留学申請書類の提出時期が異なる場合があるので注意すること

自分に合う留学のカタチを見つける

留学計画のプランニングと情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後にするべきこと

危機管理について

資料

2-2-1 在学留学

1 在学留学の資格要件

在学留学を申請する場合は、次の条件を満たしていなければなりません。

なお、危険地域等への留学は認められません。

① 本学に1年以上在学し、かつ所属学部定める所定の単位を修得している者。

院生の場合、所属研究科が推薦する者。

② 心身共に留学に耐え得る健康状態である者。

③ 留学先大学等の要件を満たす者。

④ 保証人の承諾が得られる者。

⑤ 留学目的及び留学計画が明確で適切であること。

⑥ 留学に必要な経済力を十分に有していること。

⑦ 認定留学の場合は、留学先の入学許可書を取得していること。

なお、交換・派遣留学生に係る入学許可書の取得は国際交流センター事務局が行う。

⑧ 交換・派遣留学を希望する場合、上記以外に以下の応募資格を有していること。

●英語による留学

英語による留学を希望する学生は、TOEFL-iBT あるいは IELTS の得点表を必ず提出のこと（イギリス留学で学生ビザを申請する場合は、IELTS for UKVI のスコアが必要）。

※派遣留学の場合、留学先の大学によっては TOEFL-iBT あるいは IELTS の得点表を提出する必要があります。

●英語以外の留学

英語以外の留学を希望する学生は、公的な語学力検定（KDS、GDS、ドイツ語技能検定、HSK、中国語検定、実用フランス語技能検定試験、DELFT、DALF、TCF 等）のスコア表を提出のこと。

ただし、公的な証明書がない場合は、各自、自分をよく知る語学担当の教員へ「語学力証明書」の記入を依頼し、教員から国際交流センター事務局へ提出してもらうこと。なお、教員へ依頼するときには募集要項と自分の学業成績表も見てもらい、必要な語学力レベルを確認してもらうこと（特に学部留学レベルの資格がいる場合に注意）。

※在学留学制度利用にあたっての確認事項

在学留学制度（交換・派遣・認定）を利用して海外留学する場合、各学部の「履修要項」（グローバルな学び－在学留学）に重要事項が記載してありますので、必ず確認してください。特に、「在学留学の資格要件」については、各学部の基準が異なりますので注意してください。

2 留学期間の取扱い

① 留学期間は半年間または1年間とし、本学の修業年限及び在学年数に算入します。

② 上述の期間はあくまでも学籍上の期間であり、実際の留学（渡航）期間を意味するものではありません。

例えば1年留学の場合、4月に出発して3月に帰国してしまうと、当該年度の単位認定ができなくなりますので、帰国後の単位認定の申請期限は別途定められています（単位認定の手続きの項目で確認してください）。なお、留学先での滞在期間は、原則として半年間の場合は3ヵ月以上、また1年間の場合は9ヵ月以上の滞在を要します。

③ 留学期間を延長する場合は休学扱いとなり、一旦帰国してから「休学願」「渡航計画書」及び「留学生住所届」を所属学部事務局へ提出のうえ許可を得なければなりません。

3 留学期間の始期及び終期

留学期間の始期及び終期は次のとおりですが、留学先での授業の都合上、これらの日付の前後に出国した場合でも、いずれかの日付に読み替えます。

始期：春学期始業日 または 秋学期始業日 / 終期：春学期終了日 または 秋学期終了日

4 申請手続

①交換・派遣留学

春募集は4月、秋募集は9月、冬募集は1月に掲示・POSTで募集します。応募希望者は、応募書類を提出期限までに国際交流センター事務室へ提出してください。書類受付後、面接を実施のうえ学業成績、語学力等総合的に判定し留学生を決定します。

在留留学生の資格は前述（1 在学留学の資格要件）のとおりです。

②認定留学

各自が留学先大学の入学許可書を取り寄せることとなりますが、まず留学（計画や単位認定等）について留学アドバイザーと十分相談した上で、認定留学の申請手続を行ってください。留学先大学については所属学部留学アドバイザーに審査（学位授与権の有無）してもらい、その後、国際交流センター事務室でチェックを行い、所属学部で審査を経て許可します。申請書類（認定留学希望届）は、所属学部事務室で受け取ってください。巻末にこれまでの「認定留学実績大学」を掲載していますので、参考にしてください。

□認定留学申請書類及び提出先 ※学部によって異なりますので、所属学部事務室に確認してください。

提出書類：「認定留学希望届」「認定留学願書」「留学計画書」「入学許可書の写し（和訳添付）」「誓約書」「留学届」「留学生住所届」等

提出先：所属学部事務室

□認定留学申請書類提出期限（厳守） ※学部によって異なりますので、所属学部事務室に確認してください。

春学期から出発する場合 1月末まで（「認定留学希望届」は、11月末まで）

秋学期から出発する場合 6月末まで（「認定留学希望届」は、4月末まで）

5 留学中における本学学費

本学の学費は、在学留学中であっても、学則に定めるとおり全額を納入していただくことになりますが、本学の学費及び留学先の授業料や滞在費等、かなりの留学費用がかさむことから、経済的支援を行っています（以下「6 外国留学支援金」参照）。

6 外国留学支援金

在学留学する際の経済的支援として、以下の外国留学支援金を支給します。なお、支給方法は、学期毎の本学授業料から外国留学支援金額を差し引くことにより行います（事前手続きなどはありません）。

①交換・派遣留學生

【学部】文系 55 万円（年額）、理系 75 万円（年額）【大学院】文系 35 万円（年額）、理系 50 万円（年額）

②認定留學生

【学部】文系 45 万円（年額）、理系 55 万円（年額）【大学院】文系 25 万円（年額）、理系 40 万円（年額）

注1：上記金額は、1年間留学した場合の金額です。1学期間の場合は半額となります。

注2：他の学費減免制度、奨学金制度の適用を受けている場合、授業料相当額を限度とします。

注3：在留資格「留学」の外国人留學生は、外国留学支援金の対象になりません。

7 留学許可の取消し

次のいずれかに該当した場合は、留学の許可を取り消すことがあります。また、留学が取り消された場合には、外国留学支援金は返還しなければなりません。

①学生査証が認められない者

②法令に違反した人または学則その他の本学の規程等に違反した者

③本学への学費等の納入を怠った者

④留学先において成業に見込みがないと認められた者

⑤病気その他やむを得ない事由により留学を続けることができなくなった者

⑥募集要項記載の条件等の基準を満たすことができなかった者

8 継続履修制度

「継続履修制度」とは、秋学期から留学し、在学留学期間が当該年度を越える場合、留学前に履修している通年開講科目を帰国後も継続して履修することができる制度です。継続履修を希望する場合は、留学前に必ず所属の学部事務室に「継続履修願」を提出し、承認を得ておかねばなりません。また、帰国後も「継続履修科目登録願」の提出が必要です。なお、帰国後、承認を得た科目であっても不開講、その他の理由により継続履修できない場合があります。

9 留学終了の手続

留学を終えて帰国した学生は、POST から「帰学届」を作成し、所属学部事務室へ提出してください。

☐ 帰学届の提出期限

秋学期から復学…7月末まで / 春学期から復学…1月末まで

10 単位認定の手続

在学留学の場合、留学先大学で修得した単位の単位認定申請手続をしなければなりません。単位認定に係る必要書類としては、「単位認定申請書」の他、成績証明書、履修科目の時間数・単位数を証明する書類、授業細目（シラバス）等の書類が求められますので、留学前に必ず所属学部の留学アドバイザーまたは所属学部事務室で確認しておいてください。

☐ 単位認定の申請期限（厳守）

春学期末認定…7月末まで / 秋学期末認定…1月末まで

2-2-2 休学留学

休学留学では、長期留学、海外での長期インターンシップ、ワーキングホリデー、国際ボランティア、スポーツ留学など、枠にとらわれない経験を積むことができます。

休学できる期間は連続して2年以内、通算して4年以内です。長期で自由な海外体験を可能とする休学留学といえども、3年連続は認められません。確かな目的と覚悟をもって取り組むことが非常に大切です。

●申請手続

所定の期日までに所属学部事務室で手続きをすることで、休学することができます。渡航前には必ず、国際交流センター事務室主催の「危機管理説明会」に出席してください。

☐ 提出書類

「休学願」「渡航計画書」「留学生住所届」

☐ 提出期日

春学期に休学する場合…4月末まで / 秋学期に休学する場合…10月末まで

上記期日までに休学願を提出した場合、授業料は免除されますが在籍料の納入が必要です。

※帰国後、復学をする場合は修学意志確認書類（教学センターより本人および保証人宛に郵送）に同封している「復学願」を、引き続き休学する場合は「休学願」を所属学部事務室へ提出してください。

☐ 復学または引き続き休学する場合の書類提出期日

秋学期から復学または休学…8月末まで / 春学期から復学または休学…2月末まで

2-2-3 留学相談

留学の全般的な相談については国際交流センター事務局が、また単位認定に係わる相談は留学アドバイザー及び所属学部事務室が担当しています。

留学を希望される方は、在学中の履修計画や将来の進路も熟慮のうえ、留学計画を立てることが望めます。また、それぞれの国によって法律や規則、慣習が異なります。留学してから戸惑うことのないよう、事前に留学先の歴史、文化、慣習等を理解しておくことが肝要です。

2-2-4 留学アドバイザーについて

留学はしたいけれど大学は4年間で卒業したい。あるいは、留学先での自分の修得単位が卒業単位として認定されるか否かわからない。そうした学生たちの声に応えるべく、各学部の担当教員が個別相談に応じしています。海外で充実した学生生活を体験しながら卒業に必要な単位を4年間で修得できるよう、留学希望者のための履修指導を行います。各学部の規定に則った履修計画について、懇切・丁寧に指導し、学習面のケアも万全です。

→留学アドバイザーは、各学部によって異なります。所属学部の留学アドバイザーを本学 Web サイトに掲載していますので確認してください。



2-2-5 留学プログラム期間中における帰国について

原則として、留学プログラム期間中の帰国は認められません。万が一、留学プログラム期間中に一時帰国をする場合、航空券手配、ビザ手続き、海外旅行保険手続き、留学先大学等への一時帰国相談等は全て自らの責任で行ってください。また、事前に国際交流センター事務局、所属学部事務室及び留学アドバイザーに必ず相談し許可を得る必要があります。応募前から一時帰国が必要となることが判明している場合は、応募前に相談してください。

病気、その他やむを得ない事由により留学を続けることが出来なくなり、プログラム期間途中に帰国をする場合、留学支援金の返還、留学先大学で取得した単位認定が行われない等の不利益を被る可能性があります。

2-3 短期留学

1 短期語学実習の主旨

春季・夏季短期語学実習は、長期休暇を使って2週間から4週間程度本学の交流協定校に留学して集中的に学ぶことができます。

語学集中コース、さまざまな文化体験プログラムがあり、本実習で経験を積んでから長期留学にチャレンジすることも可能です。

各プログラムは引率者がつかない「自立型」のプログラムで、原則団体行動です。出国・帰国日時や場所等のスケジュールに基づいて、プログラムに参加していただきます。

2 応募条件

年次、学部を問わず参加できます。(応募時点で第8セメスター生は参加不可)

語学要件はプログラムによって異なりますが、学習経験が必須です。ほとんどのプログラムでは、自分の語学レベルに合ったクラスに入りますが、プログラムによっては本学学生専用のクラスがあり、必ずしも参加者の語学レベルに合ったクラスに入るとは限りません。

3 参加費について

①募集要項に記載する参加費(予定)は、その時の為替レートに基づいて算出していますが、その後の大幅な為替レートの変動や燃油サーチャージの値上がり等で不足金が発生した場合には不足分をプログラム終了後、追加徴収します。また、反対に、超過分が発生した場合には、返金します。

②参加人数が当初の定員より下回った場合には、実施が中止になる、または参加費用が予定より高くなる場合があります。

③プログラムによって実習期間の一部が定期試験・追試験期間と重複する場合があります。重複があった場合、各自の責任においていずれかを選択していただくことになります。その際に発生するキャンセル料は各自の負担となります。

④参加費に含まれる項目はプログラムによって異なるので各自で確認してください。食事代、オプション等の個人的費用は別途必要となります。教科書代もレベルに併せて別途購入が必要となる場合があります。

⑤合格発表後、キャンセルは原則的に認められませんが、やむを得ない事情でキャンセルを申し出た場合には、徴収した渡航費及びプログラム費用等については、キャンセル料が発生します。

〈参加費に含まれるもの〉

- ①往復渡航費(国内空港—交流協定校最寄空港—国内空港)
- ②空港税・航空保険料・燃油サーチャージ
- ③現地空港から交流協定校までの送迎費用
- ④現地宿泊料金
- ⑤交流協定校での授業料・アクティビティ
- ⑥海外旅行保険(国際交流センター指定のもの)
- ⑦電子渡航認証(eTA)申請、ビザ申請代行費用
- ⑧政府により義務付けられている保険の加入費用

〈参加費に含まれないもの〉

上述の〈参加費に含まれるもの〉に記載されていないもの全て

4 応募方法

毎年夏季短期語学実習は4月、春季短期語学実習は9月頃にPOSTで募集します。応募希望者は、期日までに国際交流センター事務室まで必要書類を提出してください。

- ◆応募時にパスポートのない方、パスポートの残存有効期間の要件を満たしていない方は合格発表後すぐに必要となりますので、至急に申請手続きを行ってください（「5-1-1 パスポート」参照）。

5 合格発表及びオリエンテーション

- ①参加人数が募集定員より下回った場合にはプログラムを中止することがあります。参加希望者多数の場合は、志望動機及び学業成績に基づいて選考します。
- ②決定したプログラム参加者は、国際交流センター事務室が開催する複数回の事前オリエンテーション及び危機管理説明会に必ず出席しなければなりません。合格発表当日に各実習先のオリエンテーション日程表をPOSTにて配付します。なお、無断でオリエンテーション等に欠席したり、遅刻をしたり、決められた期日に書類等提出できない場合には、参加を取り消す場合がありますので、注意してください。
- ③オリエンテーションに頼らず、自ら留学先の情報収集を行ってください。

6 ビザ（査証）について

渡航先によっては、ビザの取得が必要です。ビザが取得できない場合には、留学許可の取消となります。

7 単位認定について

実習終了後、実習大学で交付された修了書等をもって、授業時間数に応じて、単位が認定されます。出席不足、成績不振の場合には修了書が発行されませんので、しっかりと勉強する必要があります。修了書が発行されない場合、単位認定は行われません。

留学説明会の活用

「留学ハンドブック」が提供する情報にくわえて、留学の夢を実現するためには、説明会を活用することをおすすめします。これまで開催した説明会について紹介します。

【留学説明会（初級編）】4月と10月に開催

初級編では、留学に漠然と行きたいなあというイメージから、参加者が実際に留学へのファーストステップにつなげられるように「留学に必要な4つの力」を理解してもらいます。

4つの力・セルフチェック



どれか一つでも欠けるとフライトは不安定に。今のあなたはどの力が一番強いですか？

【留学スプリングフェア】5月開催

春募集の留学に合格これからまさに留学に行く学生たちが留学合格までの道のりや語学試験の克服方法などを全部包み隠さず伝えてくれる「留学スプリングフェア」では、学生の報告だけでなく、グループワーク形式での質問会を実施しました。



【秋の留学フェア「秋の午後 未来の扉を開こう！」】10月開催

留学経験学生、交流協定校からの留学生がアドバイザーとして留学の魅力や留学先の特徴などこれから留学を希望する学生に情報提供しました。



協定校紹介：アイルランド グリフィスカレッジ

アイルランドで築かれてきた「これまでの学び」とこれから拓く「新しい学び」

本学は、世界 32 の国・地域にわたる豊富な協定校ネットワークを築いています。ここではそのなかから、EU 圏内で長期留学（交換・派遣・認定）や短期留学プログラムを通じて本格的な英語留学ができる「アイルランド・グリフィスカレッジ」をご紹介します。これまで多くの本学学生が、ダブリンやコークで充実した留学経験を積んできました。その背景には、本学学生のニーズに応えるプログラム運営と、グリフィスカレッジとの長年にわたる強固な連携があります。そして昨年度まで一部の学部しか参加できなかった「EBJ プログラム」が、すべての学部学生が挑戦できる「**グリフィスカレッジ派遣留学プログラム**」へと進化を遂げます。【26 ページ参照】

アイルランド・グリフィスカレッジでは、英語に自信がなくても参加可能な約 1 カ月の「夏季短期語学実習」から、2026 年秋に募集する 12 週間の「グリフィスカレッジ派遣留学プログラム」、そして 1 年（9 月から翌年 5 月までの留学期間）の交換派遣留学と、新たな一歩を踏み出す初めての留学から学費無料の交換留学まで、あなただけの留学を実現してみませんか。



自分に合う留学のカタチを見つける

留学計画のプランニングと情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後にするべきこと

危機管理について

資料



ダブリン キャンパス全景



コーク キャンパス全景

アイルランドの首都ダブリンは、伝統と先進性が調和する活気あふれる国際都市です。歴史ある大聖堂や公共建築が街並みに溶け込む一方で、多くのグローバル企業や教育機関が集まり、世界中から学生が集う学びの拠点としても知られています。

市内中心部にはショッピングエリアやカフェ、文化施設が充実しており、留学生にとって安全で暮らしやすい環境が整っています。なかでもテンブルバー地区は、アイルランドの文化や音楽に触れられる人気エリアで、現地の人々や留学生との交流を楽しむことができます。

フレンドリーで親しみやすい国民性もアイルランドの魅力の一つです。日常生活の中で英語を使う機会が豊富にあり、教室での学びに加えて、実践的なコミュニケーション力や異文化理解を深めることができます。ダブリンは、英語力の向上と国際感覚の養成を目指す学生にとって最適な留学先です。

アイルランド南部に位置するコークは、首都ダブリンに次ぐ国内第2の都市であり、落ち着いた雰囲気と暮らしやすさを兼ね備えた学園都市です。都市機能が充実している一方で、自然豊かな景観も身近にあり、留学生にとって学習と生活のバランスを取りやすい環境が整っています。市内にはショッピングエリアやレストラン、カフェが集まり、日常生

Your Griffith College Cork Campus



活に必要な施設がコンパクトにまとまっています。また、中心部を流れるリー川沿いには美しい街並みが広がり、アイルランドらしい穏やかな雰囲気を感じることができます。

コークは文化・芸術の街としても知られており、クロフォード美術館やコーク・オペラハウスなど、多彩な文化施設に気軽に触れることができます。また、コークの人々は親しみやすく温かいことで知られており、日常生活やホームステイ先での交流を通じて、自然に英語を使う機会に恵まれます。大都市ほどの喧騒がなく、安心して留学生活を送りながら、実践的な英語力と異文化理解を身につけることができる環境は、初めて海外留学に挑戦する学生にも最適です。

12 Weeks !! グリフィスカレッジ派遣留学プログラム

国際交流センターが自信をもってお勧めするプログラムの特徴をご紹介します。

- ・初海外でも安心。
- ・英語の初級者でも気軽に参加できる。
- ・就職に向けてスキルアップもできる重要な経験。
- ・他国・他大学の留学生といっしょに授業を受けられるので、世界中からの留学生と知り合うチャンスがある。
- ・アイリッシュ・カルチャーを現地で感じることができる。



12-WEEK GCC TAILORED STUDY ABROAD PROGRAMME

1 March 2027 - 21 May 2027

WEEK 1	WEEK 2	WEEK 3	WEEK 4	WEEK 5	WEEK 6
Induction		Induction		Induction	
Immersive English Classes	Immersive English Classes	Immersive English Classes	Immersive English Classes	Immersive English Classes	Immersive English Classes
Culture classes	Culture classes	Culture classes	Culture classes	Culture classes	Culture classes
Induction agenda: 9:30-10:30: Information session 10:40-11:40: Placement Test 12:00-12:40: Lunch (provided) 13:00-15:30: Walking Tour of Cork City	Day trip: Cork Goal	Induction agenda: 9:30-10:30: Information session 10:40-11:40: Placement Test 12:00-12:40: Lunch (provided) 13:00-15:30: Walking Tour of Cork City	Day trip: Kinsale	Induction agenda: 9:30-10:30: Information session 10:40-11:40: Placement Test 12:00-12:40: Lunch (provided) 13:00-15:30: Walking Tour of Cork City	Day trip: Blarney Castle
WEEK 7	WEEK 8	WEEK 9	WEEK 10	WEEK 11	WEEK 12
Induction		Induction	Induction	Induction	Induction
Immersive English Classes	Immersive English Classes	Immersive English Classes	Immersive English Classes	Immersive English Classes	Immersive English Classes
Culture classes	Culture classes	CP project	CP project	CP project	CP project
Induction agenda: 9:30-10:30: Information session 10:40-11:40: Placement Test 12:00-12:40: Lunch (provided) 13:00-15:30: Walking Tour of Cork City	Day trip: Killarney National Park	Overnight trip: Dingle	Day trip: Cobh/ Spike Island	Overnight trip: Kilkenny	Day trip: Cliffs of Moher
Immersive English Classes*: 15 hours per week, Monday to Thursday, 9h30 to 13h45			Culture Classes*: 5 hours per week over 2 days, Tuesday and Thursday.		

Subject to change

参加学生の声から見るグリフィスカレッジの魅力（夏季短期語学実習参加レポートより）

2025年度の夏季短期語学実習では、参加学生の多くが授業やアクティビティ、ホームステイに高い満足度を示しました。また、「異文化理解が深まった」「英語でコミュニケーションを取る自信がついた」「学部や学年を超えた交流ができた」といった声も多く寄せられています。実際にプログラムへ参加した学生の体験談から、グリフィスカレッジ留学の魅力をご紹介します。

【授業について】

「私たち以外にも多くの日本人学生がいましたが、さまざまな国や日本の様々な県から来た人たちとも友達になれて、楽しく過ごすことができました。」「全てが英語で、グループ、ペアワークなども多かったため英語が身についたと実感できた」「自由に発表する制度だったので、積極的に発表していくことで英語力が伸びると感じた。積極性を大事にしていた。」

【アクティビティについて】

「数日間の観光では回ることでできないような様々な場所にも行くことができ、とても貴重な経験になりました。」「モハーの断崖など遠くまでも連れて行ってきて自分たちじゃなかなか行けないところに行けてよかった。」「ハリリーポッターの撮影地 Cliffs of Moher に連れて行ってもらい、壮大で感動しました」「アイルランドの国技である Hurling を観戦できて興奮しました」



ダブリン近郊の Swords Castle



Cliffs of Moher

映画『ハリリー・ポッターと謎のプリンス』で有名なロケ地。



Croke Park

【ホームステイについて】

「毎日、晩ご飯の時にホストファミリーがその日はどんなことがあったのかを聞いてくれたので緊張せずに過ごせました。」「ホストファミリーの親戚も集まり、皆親切に接してくれた。」「他愛のない話も含めたくさんコミュニケーションを取ってくれ、ちゃんと受け入れてくれると感じた。」

留学体験談（短期）

私がこの実習に参加した理由の1つ目は、日常的に英語を使う環境に身を置くこと、2つ目は、ニュージーランドの国鳥である「キーウィ」を実際にこの目で見ることでした。キーウィは夜行性のため暗い部屋で観察しましたが、想像以上に大きく、のしのに歩く姿がとても愛らしく印象に残っています。

また、現地では学校の休み時間も積極的に英語で会話し、ホストファミリーだけでなく近所の方々とも交流するなど積極性を大切にしました。そうすることで、多くの経験や貴重な体験をすることができ、非常に充実した価値のある実習にすることができました。

「キーウィ」との出会い

キーウィはガチャガチャで販売されているのを見たときに初めて存在を知りました。

近所の方との何気ない交流

毎朝使うバス停でよく近所の方と雑談していました。近所のおいしいレストランや、おすすめの動物園、最近は大雨が降って不便している話など、つたない英語だったにも関わらずとても楽しい会話が出来ました。日本からの学生とわかるとどんな場所に行ってもどんなアクティビティをしているのかたくさん質問されたので写真やジェスチャーも交えて説明することもありました。アウトプットとして良い機会を得られていたと今では思っています。

ニュージーランドに実際に行ってみて

まるで映画の世界に入ったかのような感じでした。町の壁には様々なペイントが施され、路面電車や広い浜辺、広大な景色まで日本では味わえないような別世界が広がっていました。ほかにも国特有の動物たちと触れ合うことが出来たので忘れられない経験が出来ました。

休日に友達と訪れたテカボ湖

クラスメイトに勧められ休日に訪れたエメラルド色の湖が広がるテカボ湖。夜には南十字座を探し（午前3時）、夜食にはNZのチーズとハムを食べました。次の日はみんなでサップに挑戦し、全員落水することなく楽しめました。

ハンマースプリングスで乗った四輪車

ハンマースプリングスで四輪車に乗った瞬間の写真です。運転手を交代しながら町をくるくる散策し、お店で買った冷たいジェラートも最高でした。

清水 陽成

外国語学部 英語学科

留学の種別：春季短期語学実習

留学先・大学：ニュージーランド・

アラ インスティテュート

オブ カンタベリー

参加年次：2年次



↓ 実際のカチャから出たキーウィ



休日に友達と訪れたテカボ湖



ハンマースプリングスで乗った四輪車

NZ のラム肉を堪能

バーベキューステーキハウス「Jimmy's Smokehouse」でNZのラム肉に挑戦しました。レアのピンク色と独特な香りはラムの美味しさを引き出し、あまりの肉のうまみに驚きました。

初日に強風の中でホストファミリーたちと撮った一枚

初日にホストファミリーが私を近くのビーチに連れて行ってくれました。とんでもない強風でしたがこれから始まるNZでの一か月間の期待を胸に抱く第一歩となりました。

アラインスティテュートオブカンタベリー授業最終日の修了証書授与の瞬間

アラインスティテュートオブカンタベリーの最終授業日に学校が修了証書の授与をしてくれました。最後には先生たちやクラスメイト達と記念写真を撮影しました。名残惜しかったですが楽しい学校生活でした。

キャッスルヒル

NZで訪れたキャッスルヒルという場所で大きな岩が一面に広がる広大な場所でした。人か米粒に見えるほど高い大岩の頂上からの景色は足が震えるほど高所ですが、同時に周囲を景色を一望することが出来ます。



NZのラム肉を堪能



初日に強風の中で撮った一枚



学校最終日の証書授与の瞬間



キャッスルヒル

【これから留学する学生へのメッセージ】

海外へ行くにあたって言葉が伝わるか、文化が合うのか不安な人がいるかもしれませんが、一歩を踏み出すことで得た経験がそんな不安も消してくれると思います。実際に現地に到着したら時間の許す限り冒険してみてください。町を散策したり、公園に行くでもいいです。思い切って近所の方に話しかけるのも面白いかもしれません。留学は何かに挑戦するいい機会です。やらない後悔より、やる後悔の精神でたくさんのごことに挑戦してみてください。皆さんの留学が忘れられないものになることを願っています。

短期語学実習

初めての海外なら、春休み・夏休みを使った2～4週間の語学実習プログラムがおすすめです！
文化体験やボランティア活動、企業見学など、語学学習+αの経験ができるプログラムが揃っており、本実習で経験を積んでから長期留学にチャレンジすることも可能です！

夏季プログラム

 アイルランド	英語留学	グリフィスカレッジ	宿舍形態：ホームステイ 費用：約115万円	グリフィスカレッジはダブリン、リムリック、コークにキャンパスを持つアイルランド最大規模の私立大学です。約1カ月間の実習では語学講座の他、他の語学学校生徒との交流や、アイリッシュダンスショー、アイリッシュスポーツイベント等も体験できます。
 タイ	英語留学	タマサート大学	宿舍形態：ホテル 費用：約40万円	タマサート大学は、タイで2番目に歴史のある国立大学であり、社会科学分野において国内最高峰の名門校として知られています。プログラムの内容は、BJM: Bachelor of Arts Program in Journalism (Media Studies) International Program 授業への参加、企業訪問、現地学生との交流を軸にしたプログラムです。他の短期語学実習で行われている英語よりもより実践的な英語を運用できる力が必要です。
 カナダ	英語留学	トンプソンリバース大学	宿舍形態：ホームステイ 費用：約90万円	トンプソンリバース大学は、多文化の街カムループスの中央部に位置する公立の総合大学です。約1カ月間の実習では語学講座の他、カナダの文化学習やアウトドア・アクティビティ等も体験できます。
 中国	中国語留学	大連東軟信息学院	宿舍形態：寮 費用：約28万円	東軟信息学院は、大連、広州、成都にキャンパスを持つ、中国最大のシステム開発会社である東軟グループ (Neusoft) が設立した私立大学です。約2週間の実習では語学講座の他、餃子作り、太極拳、中国茶体験等の異文化体験を行います。また中国人学生や中国人社員との交流会、現地企業見学等も体験できます。
 韓国	韓国語留学	建国大学	宿舍形態：学生寮 費用：40万円	建国大学はソウル中心部からのアクセスが良く、緑豊かで広大なキャンパスを持つ総合大学です。大学周辺には賑やかな学生街が広がっています。3週間のプログラムでは、韓国の歴史・言語・文化を学ぶ授業に加え、フィールドトリップや現地の学生パティとの交流プログラムも用意されています。キャンパス内の学生寮に滞在し、リアルな現地学生生活を体験できるのが魅力です。

小さな一歩で 世界は大きく変わる

春季プログラム

 オーストラリア	英語留学	タスマニア大学	宿舎形態：ホームステイ 費用：約 100 万円	タスマニア大学はタスマニアのホバート市にメインキャンパスを置く公立の総合大学です。約1か月間の実習では語学実習の他、環境と企業に関する講義や、国立公園等へのサイトビジット等も体験できます。
 ニュージーランド	英語留学	アラ インスティテュート オブ カンタベリー	宿舎形態：ホームステイ 費用：約 75 万円	アラインスティテュートオブカンタベリーは、1906年創立のニュージーランドの国立工科大学です。同大学は、ニュージーランドの南島にあるクライストチャーチに位置し、見どころがたくさんあります。初めての留学で海外経験を積むのにおすすめの街です。



短期語学 Q & A

Q：外国語学部じゃなくても参加できるのですか？

A：例年、外国語学部以外の学生も多く参加していますので大丈夫です。もちろん、理系の学生も参加可能です。

Q：語学力に自信が無いのですが…

A：留学先では、自分の語学力に応じたクラスで授業を受けるので無理なく学ぶことができます。現地での学習に積極的に取り組むことで、当初は語学力にまったく自信がなかった学生も語学力を伸ばすことが可能です。ただし、プログラム参加には一定の学習経験が必要のため、留学先の語学を全く勉強したことが無い場合は参加ができません。

Q：留学先まで、一人で行けるか心配…

A：行き返りのフライトは、プログラム参加者全員が同じ飛行機を利用しますので、一人で行くことはありません。留学中も、あらかじめ決められたスケジュールにそって行動していただきます。

Q：1年次でも参加できますか？

A：短期語学実習は1年次～4年次まで、学年を問わず参加できます。2、3年次からの長期留学に向けての準備として参加する学生もいます。

※募集プログラムのラインナップは、毎学期異なります。掲載プログラムの募集が無い場合もあります。

※戦争・テロ・伝染病・自然環境等の世界情勢に応じてプログラムそのものの中止もあり得ます。

また、危機管理上、学生の安全確保のために本学から帰国や一時帰国の指示があった場合には応じなければなりません。

※上記の留学先・費用は、参加人数や為替レート、燃料サーチャージの変動等によって高額になる場合があります。

2-4 交流協定校プログラム紹介

交流協定校一覧 ※学生交換・派遣がある交流協定校

【注意事項】

- ・詳細は該当期の募集要項に必ず確認してください。
- ・応募資格条件欄 TOEFL-iBT のスコアは旧表記となります。[P49 参照]
- ・交換留学は、交流協定校からの交換留学生が来学しない場合は原則として募集しません。
- ・すべてのプログラムについて、スケジュール等の都合で応募年度によっては実施されない場合もあります。
- ・金額は過年度の実績情報を記載していますので、実際の募集要項で最新の金額を確認してください。
- ・留学総費用には、現地での授業料（派遣のみ）、住居費、生活費、往復航空運賃、海外旅行保険を含みます。

欧州（中・東部）

国名・地域	言語	留学種別	大学名	募集時期	留学期間	出発	帰国	応募資格条件 ※記載値以上	宿舎形態	留学総費用 (概算)
 チェコ	英語	交換	パラツキー大学 Palacky University Olomouc	冬	1年	9月	6月	GPA2.0 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT72	寮(2～3 人部屋)	170万円
	英語	交換	メトロポリタン大学 プラハ Metropolitan University Prague	冬	1年	10月	6月	GPA2.0 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT72	学生 アパート	200万円
 ドイツ	英語	交換	グライフスヴァルト 大学 University of Greifswald	秋	1年	3月	2月	GPA2.0 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT72	寮	280万円
					半年	3月	7月			155万円
	ドイツ語				1年	3月	2月	GPA2.0 ドイツ語 B1	寮	290万円
	ドイツ語	交換	ケルン大学 University of Cologne	秋	1年	3月	2月	GPA2.0 ドイツ語 A2 又は同 等の語学力証明書 (ドイツ語)	寮	280万円
	英語	交換	ノイ・ウルム 応用科学大学 Neu-Ulm University of Applied Science	春	1年	9月	7月	GPA2.0 IELTS6.0 又は TOEFL-iBT72	寮	300万円
					半年	9月	2月			170～ 200万円
	ドイツ語	交換	パッサウ大学 University of Passau	春	1年	9月	7月	GPA2.0 ドイツ語 A2、及び IELTS5.0 又は TOEFL-iBT71	寮	305万円
					半年	9月	2月			170万円
	ドイツ語	派遣	ライプチヒ大学附属 国際語学協会 InterDaF e.V am Herder-Institut der Universität Leipzig	秋	1年	3月	1月	語学力証明書（ドイ ツ語）	寮	350～ 400万円
	英語	交換	ルードヴィヒス ハーフェン経済大学 Ludwigshafen University of Business and Society	春	1年	9月	7月	GPA2.0 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT72	寮	280万円

 ハンガリー	英語	交換	セゲド大学 University of Szeged	冬	1年	9月	7月	GPA3.0 IELTS5.5 (各セク要件) 又は TOEFL-iBT72	寮・ アパート	160万円
					半年	9月	1月			100万円
 フィンランド	英語	交換	ユヴァスキュラ大学 University of Jyväskylä	春	1年	8月	5月	GPA2.0 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT72	寮	220～ 240万円
 ポーランド	英語	交換	国立アダム・ミツキエ ヴィチ大学 Adam Mickiewicz University	春	1年	10月	7月	GPA2.0 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT72	寮	165万円

欧州（西部）

国名・地域	言語	留学 種別	大学名	募集 時期	留学 期間	出発	帰国	応募資格条件 ※記載値以上	宿舎 形態	留学総費用 (概算)
 アイスランド	英語	交換	アイスランド大学 University of Iceland	冬	1年	8月	5月	GPA2.0 IELTS6.0 又は TOEFL-iBT79	寮・ アパート	310～ 340万円
 アイルランド	英語	交換	グリフィスカレッジ Griffith College	春	1年	9月	5月	GPA2.0 EAP + 学部： IELTS5.5 学部：IELTS6.0	寮・ ホーム ステイ	330～ 350万円
		派遣						IELTS4.0 又は TOEFL-iBT45		360万円～ 390万円
 イタリア	イタリア語	交換	サレント大学 University of Salento	春	1年	9月	6月	GPA2.0 語学力証明書（イタ リア語中級レベル）	アパート	230～ 295万円
		交換	シエナ外国人大学 University for Foreigners Siena	春	1年	10月	6月	GPA2.0 語学力証明書（イタ リア語 A2 レベル）	寮・ アパート	250万円
	イタリア語	派遣	ペルージャ 外国人大学 University for Foreigners Perugia	秋	1年	4月	12月	語学力証明書（イタ リア語）		320万円
		交換						GPA2.0 語学力証明書（イタ リア語 A2 レベル）	アパート	240万円
 イギリス	英語	交換	ケント大学 University of Kent	春	1年	9月	6月	GPA2.5、IELTS for UKVI6.0 (各セク要件有)	寮	395万円
					半年	9月	12月	GPA2.5、IELTS6.0 又は TOEFL-iBT80 (各セク要件有)		150万円
	英語	派遣	リーズ大学 University of Leeds	冬	1年	9月	5月	IELTS4.0 又は TOEFL-iBT50	寮・ ホーム ステイ	580万円
					半年	8月	12月			330～ 345万円

自分に合う留学の
カタチを見つける留学計画のプランニングと
情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後に
するべきこと

危機管理について

資料

オランダ 	英語	交換	ハーグ応用科学大学 The Hague University of Applied Sciences	冬	1 年	9 月	7 月	GPA2.0 IELTS6.0 又は TOEFL-iBT80	学生 アパート	350 万円
					半年	9 月	1 月			190 万円
	英語	交換	ユトレヒト 応用科学大学 University of Applied Sciences Utrecht	冬	1 年	9 月	6 月	GPA2.0 IELTS6.0 又は TOEFL-iBT80	学生 アパート	290 ～ 320 万円
					半年	9 月	2 月			170 ～ 200 万円
スペイン 	スペイン語	派遣	サラマンカ大学 University of Salamanca	秋	1 年	3 月	12 月	語学力証明書（スベ イン語）	寮・ ホーム ステイ	395 万円
					半年	3 月	7 月			225 万円
	スペイン語	交換	ラ・リオハ大学 University of La Rioja	春	1 年	10 月	6 月	GPA2.0 DELE B1	寮・ ホーム ステイ	350 万円
		派遣						語学力証明書（スベ イン語）		420 万円
フランス 	フランス語	交換	アンジェ西部 カトリック大学 Université Catholique de l'Ouest	春	半年	10 月	1 月	GPA2.0 DELF A1 又は仏検 3 級	ホーム ステイ	130 万円
					1 年	10 月	5 月	語学力証明書（フ ランス語）		350 万円
		派遣			半年	10 月	1 月			200 万円
	英語	交換	リヨンカトリック 大学 Catholic University of Lyon	冬	1 年	8 月	4 月	GPA2.5 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT87	学生 アパート	200 万円
					半年	8 月	12 月			100 万円
	フランス語	派遣	リヨンカトリック 大学（ILCF） Catholic University of Lyon	春	1 年	9 月	5 月	語学力証明書（フ ランス語）	寮	350 万円
					半年	9 月	12 月			200 万円
ベルギー 	英語	交換	トマス・モア 応用科学大学 Thomas More University of Applied Sciences	冬	半年	9 月	2 月	GPA2.0 IELTS6.0 又は TOEFL-iBT79	アパート	150 ～ 180 万円

欧州（ロシア・NIS 諸国）

国名・地域	言語	留学 種別	大学名	募集 時期	留学 期間	出発	帰国	応募資格条件 ※記載値以上	宿舎 形態	留学総費用 （概算）
ロシア 	ロシア語	交換	国立プーシキン記念 ロシア語大学 The Pushkin State Institute Of Russian Language	秋	半年	3月	7月	GPA2.0 留学開始時にロシア 語を2年以上学習	寮	100 万円
		派遣			1年	3月	1月	留学開始時にロシア 語を2年以上学習		195 万円
	ロシア語	交換	サンクト・ペテルブルク 国立大学 Saint-Petersburg State University	春	1年	9月	6月	GPA2.0 1年以上のロシア語 学習経験者	寮（2人部 屋）	95 万円

 ロシア	ロシア語	交換	バトリス・ルムンバ ロシア民族友好大学 Patrice Lumumba Peoples' Friendship University of Russia	春	1年	9月	6月	GPA2.0 1年以上のロシア語 学習経験者	寮(2人部屋)	70万円
					半年	9月	12月			45万円

自分に合う留学の
カタチを見つける留学計画のプランニングと
情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後に
するべきこと

危機管理について

資料

東アジア

国名・地域	言語	留学種別	大学名	募集時期	留学期間	出発	帰国	応募資格条件 ※記載値以上	宿舍形態	留学総費用 (概算)
台湾 	中国語	交換	国立台中教育大学 National Taichung University of Education	冬	1年	9月	6月	GPA2.0 TOCFL3 又は HSK4 級	寮(4～6人部屋)	90万円
					半年	9月	1月			50万円
	中国語	交換	国立台北教育大学 National Taipei University of Education	秋	1年	2月	1月	GPA2.0 TOCFL3 又は HSK5 級又は中国語検定3 級	寮(6人部屋)	90万円
					半年	2月	6月			50万円
	英語	交換	國立暨南國際大学 National Chi Nan University	春	1年	9月	6月	GPA2.0 IELTS5.0 又は TOEFL+BT55	寮	70～90万円
					半年	9月	1月			50～70万円
	英語	交換	輔仁大学 Fu Jen Catholic University	冬	1年	9月	6月	GPA2.0 IELTS6.0 又は TOEFL+BT79	寮(3～4人部屋)	90万円
					半年	9月	1月			50万円
中国語	1年				9月	6月	GPA：2.0 外国語学部日本語文学学科：語学力証明書(中国語) その他の学部：TOCFL3 又は HSK5 級	90万円		
	半年				9月	1月		50万円		
韓国 	韓国語	交換	仁済大学校 Inje University	秋	1年	3月	12月	GPA2.0 TOPIK3 級又はハングル検定3 級	寮(2人部屋)	130万円
	韓国語	交換	慶熙大学 Kyung Hee University	秋	1年	3月	12月	GPA3.0 TOPIK5 級	寮(2人部屋)	140万円
					半年	3月	6月			75万円
	英語	交換	建国大学校 Konkuk University	秋	1年	3月	12月	GPA2.0 IELTS5.0 又は TOEFL+BT71	寮(2人部屋)	185万円
					半年	3月	6月			90万円
	英語	交換	国立警察大学 Korean National Police University	春	半年	9月	12月	GPA3.0 IELTS5.5	寮(3～4人部屋)	50～65万円
	韓国語							GPA3.0 TOPIK3 級		
	韓国語	交換	檀国大学校 Dankook University	秋	半年	9月	6月	GPA2.0 TOPIK3 級又はハングル検定3 級	寮(2人部屋)	80万円
1年					3月	12月	150万円			
		派遣					語学力証明書 (TOPIK2 級程度)	190万円		

36 | Center for International Programs-KSU

東南アジア

国名・地域	言語	留学 種別	大学名	募集 時期	留学 期間	出発	帰国	応募資格条件 ※記載値以上	宿舎 形態	留学総費用 (概算)
インドネシア 	インドネシア語	派遣	ガジヤマダ大学 Gadjah Mada University	春 ※1年前募集	1年	2月	11月	語学力証明書（インドネシア語）	学生用アパート	163万円
	インドネシア語	派遣	パジャジャラン大学 Padjadjaran University	春	1年	9月	7月	語学力証明書（インドネシア語）	学生用アパート	157万円
ベトナム 	英語	交換	ホアセン大学 Hoa Sen University	秋	1年	3月	1月	GPA2.0 IELTS5.5 (各セク要件) 又は TOEFL-IBT72	寮・ゲストハウス	160～190万円
					半年	3月	7月			90万円

大洋州

国名・地域	言語	留学 種別	大学名	募集 時期	留学 期間	出発	帰国	応募資格条件 ※記載値以上	宿舎 形態	留学総費用 (概算)
オーストラリア 	英語	交換	エディス・コーワン大学 Edith Cowan University	秋	1 年	2 月	11 月	GPA2.5 IELTS6.0 (各セク要件有)	寮・ホームステイ	285 万円
					半年	2 月	6 月			170 万円
	英語	交換	タスマニア大学 University of Tasmania	春 ※ 1 年前募集	1 年	2 月	11 月	GPA2.5 IELTS6.0 又は TOEFL-IBT72 (各セク要件有) ※学内応募時の語学要件緩和措置あり	寮・ホームステイ	300 万円
					半年	2 月	6 月			185 万円
	英語	派遣	マッコーリー大学 Macquarie University	秋	1 年	3 月	12 月	IELTS4.0 以上～5.0 以下	ホームステイ	460 万円
	ニュージーランド 	英語	交換	アラ インスティテュート オブ カンタベリー Ara Institute of Canterbury	秋	1 年	2 月	11 月	GPA2.75 IELTS6.0 (各セク要件有) IELTS4.0～5.0	ホームステイ
派遣			1 年			2 月	12 月	350 万円		
			半年			2 月	6 月	210 万円		
英語		交換	マセイ大学 Massey University	秋	1 年	2 月	11 月	GPA2.75 IELTS6.0 (各セク要件有)	ホームステイ	240～270 万円
					半年	2 月	6 月			140～170 万円
					派遣	1 年	3 月	12 月		IELTS4.0 のみ
	半年					3 月	7 月	220 万円		

北米

国名・地域	言語	留学 種別	大学名	募集 時期	留学 期間	出発	帰国	応募資格条件 ※記載値以上	宿舎 形態	留学総費用 (概算)
アメリカ 	英語	交換	サンディエゴ州立大学 San Diego State University	秋 ※1年前募集	1年	8月	5月	GPA2.5 IELTS6.5 又は TOEFL-iBT80 ※学内応募時の語学 要件緩和措置あり	寮・学生 アパート	475 万円
					半年	8月	12月			280 万円
	英語	交換	ストーニーブルック 大学 Stony Brook University	冬	1年	8月	5月	GPA2.8 IELTS6.5 又は TOEFL-iBT80	寮	550 万円
					半年	8月	12月			295 万円
	英語	交換	ノースカロライナ大学 グリーンズボロ校 The University of North Carolina at Greensboro	秋 ※1年前募集	1年	8月	5月	学部：GPA2.75、 IELTS6.0 又は TOEFL-iBT79 CEP：GPA2.3、 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT68	寮	370 万円
					半年	8月	12月			205 万円
	英語	交換	ハワイ大学ヒロ校 University of Hawai'i at Hilo	冬	1年	8月	5月	GPA2.75 学部：IELTS5.5 又 は TOEFL-iBT61 語学＋学部： IELTS5.0 又は TOEFL-iBT55 (語学のみは半年留学)	寮	355 万円
					半年	8月	12月			210 万円
	英語	交換	プレスビテリアン・ カレッジ Presbyterian College	冬	1年	8月	5月	学部： GPA2.5 IELTS6.5 又は TOEFL-iBT79 語学＋学部： GPA2.0 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT60	寮	350 万円
					半年	8月	12月			195 万円
	英語	派遣			1年	8月	5月	学部： GPA2.5 IELTS6.5 又は TOEFL-iBT79 語学＋学部： GPA2.0 IELTS5.5 又は TOEFL-iBT60	寮	520 万円
					半年	8月	12月			285 万円
カナダ 	英語	交換	アルゴマ大学 Algoma University	冬	1年	8月	4月	GPA2.0 IELTS6.0 (各セク要 件有) 又は TOEFL-iBT79	寮	205 万円
					半年	8月	12月			125 万円
	英語	交換	ケベック大学 モントリオール校 Université du Québec à Montréal	秋 ※1年前募集	1年	8月	4月	GPA2.7 IELTS5.0 又は TOEFL-iBT55	寮・ホーム ステイ・ アパート	225 万円
					半年	8月	12月			145 万円

自分に合う留学の
カタチを見つける留学計画のプランニングと
情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後に
するべきこと

危機管理について

資料

カナダ 	英語	交換	トンプソンリバーズ大学 Thompson Rivers University	冬	1年	8月	4月	学部：GPA2.5、IELTS6.5 又は TOEFL-iBT88 (各セク要件有) 語学＋学部：GPA2.5、IELTS5.5 (各セク要件有) 又は TOEFL-iBT71 語学：GPA2.0、IELTS5.0 又は TOEFL-iBT61	寮・ホームステイ	255万円
					半年	8月	12月			150万円

自分に合う留学のカタチを見つける

留学計画のプランニングと情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後にするべきこと

危機管理について

資料

中南米

国名・地域	言語	留学種別	大学名	募集時期	留学期間	出発	帰国	応募資格条件 ※記載値以上	宿舎形態	留学総費用 (概算)
メキシコ 	スペイン語	交換	グアダハララ自治大学 The Autonomous University of Guadalajara	春又は冬	1年	9月	5月	GPA3.0 語学力証明書 (中級以上のスペイン語力)	アパート・ホームステイ	150万円
	スペイン語	交換	グアナフアト大学 University of Guanajuato	春又は冬	1年	8月	6月	GPA3.0 語学力証明書 (授業内容すべてについていけるスペイン語力)	アパート・ホームステイ	160万円
	スペイン語	交換 派遣	メキシコ国立自治大学 National Autonomous University of Mexico	秋	1年 1年	3月	12月	GPA2.0 語学力証明書 (授業内容すべてについていけるスペイン語力) 語学力証明書 (授業内容すべてについていけるスペイン語力)	アパート・ホームステイ	140万円 150万円
アルゼンチン 	スペイン語	交換	国立ラプラタ大学 La Plata National University	※1年前募集	1年	3月	12月	GPA2.0 語学力証明書 (スペイン語中級レベル)	アパート	185万円
ウルグアイ 	スペイン語	交換	ウルグアイ・ORT 大学 University ORT Uruguay	春	1年	8月	7月	GPA2.0 語学力証明書 (スペイン語 B1 レベル以上)	アパート	275万円
	スペイン語	交換	ウルグアイ・カトリック大学 Catholic University of Uruguay	秋	1年	3月	12月	GPA2.0 語学力証明書 (スペイン語 B1 レベル以上)	アパート	220万円
チリ 	スペイン語	交換	チリカトリック大学 The Pontifical Catholic University of Chile	※1年前募集	1年	3月	12月	GPA3.0 CEFR B1 相当のスペイン語力	アパート	205万円

3-1-1 留学計画の立て方／渡航までの流れ

STEP 1

留学について考えよう！

有意義な留学とするためには、留学の目的をはっきりさせ、しっかりと計画を立てることが重要です。

どれくらいの期間？

夏季・春季休暇を利用した短期留学、半年～1年間の長期在学留学、最大2年間の休学留学など様々なプログラムがあります。プログラムによって、出願時期・必要条件が異なります。

どんな勉強をする？

『語学を徹底的に勉強したい』『専門知識を習得したい』など、目的によってどんな留学を選ぶのか変わってきます。留学を通して、どんな自分になりたいのか考えてみましょう。

どこに？

欧州・アジア地域で英語留学ができる交流協定校もあり、幅広い留学の選択肢を用意しています。自分の興味に合わせて留学先を考えましょう。

いくら費用が必要？

留学費用は、参加するプログラムや留学先によって大きく異なります。交換留学なら、留学先の授業料が免除になります。その他、外国留学支援金、海外留学特別奨学金など様々な奨学金制度も用意しています。

STEP 2

自分にあう留学を探そう！

学内の説明会に参加するなど、情報収集を行い、自分に合った留学スタイルを探しましょう。

留学説明会への参加

留学経験者の先輩から話を聞ける『留学フェア』や、学外業者による留学説明会など、様々な説明会を年間を通して実施しています。まずは説明会に参加して自分に合う留学についてイメージをしてみましょう。

資料の活用

本学のWebサイト（国際交流－海外への留学）には、留学した先輩たちの報告書を掲載しており、自由に閲覧することができます。留学先の時間割や授業の詳細、生活全般について詳しく記載されているので、参考になること間違いなし！（過去の報告書は、国際交流センター事務室にて閲覧可能）

留学相談・ワークショップへの参加

悩んだときは、まず国際交流センター事務室に相談をしてみましょう。また、グローバルコモンズで提供されている会話や文化を学ぶ種々のワークショップに積極的に参加すれば、語学力と、留学への意欲が向上することは間違いなし！

学内で出来る国際交流

学内には、“協定校からの”交換留学生在が“留学”しています。パティやI-Houseアシスタント等の学内の交流制度、英語講義などを履修して交流をもつことも情報収集の1つの方法としておすすめです。留学生との交流から、留学先選びのヒントを得られることがあるかもしれません。

STEP 3



さあ、留学に行こう！

留学計画が固まったら、実際にプログラムへ申し込みをしましょう。出願前には、資格要件、各プログラムの募集要項などをよく確認しましょう。

①プログラム申込

プログラムによって申込先と申込期間は異なります（交換・派遣留学は国際交流センター事務局、認定留学は所属学部事務局）。しっかりと申込する場所、必要とされる条件を確認しましょう。内容をよく理解したうえで申し込みをしてください。

②選考

プログラムによっては、書類選考のほか面接選考があります。学業成績や語学力は、選考の大事な基準の1つです。留学準備だけでなく、普段の勉強もしっかりと行ってください。

③合格・渡航

交換・派遣留学の場合は、渡航までに国際交流センター事務局主催のオリエンテーションに参加していただきます。また、全ての海外渡航者には、危機管理説明会への参加が義務づけられています。日本人がよく遭う犯罪被害などを知ることがケガ等なく留学を終えることに繋がります。

留学目的 →					
現状チェック	保持している語学力	希望留学期間	予算	留学先で学習したい内容	希望留学地域
	IELTS TOEFL iBT				
希望する大学	A：サンプル大学	B	C	D	E
留学地域					
留学期間	1年間				
出願時期	春募集・秋出発				
必要語学力	IELTS 6.0以上				
留学総費用	370万円				
◎授業料	100万円				
◎宿泊費	120万円				
◎滞在費(食費等)	80万円				
◎航空券	30万円				
◎保険代金	15万円				
◎その他	25万円				
メモ	非英語圏だが、英語教育の質が高いらしい。				

自分に合う留学のカタチを見つける

留学計画のプランニングと情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後にするべきこと

危機管理について

資料

3-1-2 留学関連・京都産業大学での学び

GET (Global Studies, Education and Training)

国内外で活躍できる人材の育成を建学の精神に謳う本学は、グローバルな学びを積極的に推進しています。グローバル人材には「国際対話能力」「豊かな教養」「確かな専門性」が求められます。本学では、この3つの資質を体系的に修得できるように、GET と呼ばれるグローバルな教育プログラムを用意しています。

GET の中には、高度な英語力に加えて豊かな教養と専門知識を同時に修得できる「英語による科目」、「在学留学制度」、「海外インターンシップ制度」などのプログラムが整備されています。卒業後、グローバルに活躍することを希望する学生は、積極的に英語による科目を履修し、在学中に海外留学や海外インターンシップを体験してください。

【GET を構成する教育プログラム】

☆共通教育の必修英語科目

☆英語による科目

・英語講義（人間科学教育科目（共通教育科目）、学部専門教育科目）

・特別英語（外国語学部専門教育科目）

☆在学留学

☆海外インターンシップ



TOEFL・IELTS 対策用科目の履修のススメ

外国語学部で開講されている専門教育科目の中に以下のような他学部生でも履修できる IELTS 対策用の科目もありますので、積極的に履修することをおすすめします。

なお、外国語学部では卒業要件単位に算入されますが、他学部では随意科目となる場合がありますので、各学部の履修要項で確認してください。

（外国語学部開講の専門教育科目）〈2026 年度参考〉

「特別英語（留学英語 IELTS I）」、「特別英語（留学英語 IELTS II）」

* 授業内容については、シラバスを参照してください。

3-1-3 留学あっせん業者等の利用について

ここでは留学手続き代行・留学先あっせん・滞在中のサポートなどを行う業者・団体を、営利・非営利に関わらず「留学あっせん業者(業者)」と表記しています。

1. 留学あっせん業者を利用する場合に気をつけること

- ・「留学あっせん」と呼ばれるサービスの種類は多岐にわたるうえ、これらのサービス全体を包括的に規制する法律などはなく、業者には国や自治体の許可や登録は必要ありません。
- ・業者が規定を自主的に設けて契約書に明記している場合を除いて、基本的にはクーリングオフが適用されません。
- ・業者の知名度や支払い金額だけで判断せず、料金の明細やサービスの内容で選びましょう。
- ・適切な手続きが進んでいるのかどうか確認できるように、自分でも調べておきましょう。
- ・特に現地で、業者に何をどこまでやってもらいたいのか明確にしておきましょう。
- ・ビザ発給や学校の受入れは本人が要件を満たしていることが必要なため、業者に代行を依頼しても許可が下りない場合もあります。

- ・万一のトラブルに備え、業者とのやりとりの記録（契約書、領収書、メール／FAXの写し、電話や面談の場合は話した日時・相手の名前・話の内容を相手に確認しながらまとめたメモなど）を残しておきましょう。

2. 留学あっせん業者選びのチェックポイント

複数の業者を比較することが基本です。以下の項目の多くは、業者を選ぶうえで重要なポイントとなります。業者の説明にこれらの情報が含まれていない場合は、こちらから問い合わせてみましょう。

- ☐ 情報公開度・所在地、代表者の氏名、組織の概要（「非営利」「公的機関」「認証」など）とたわれている場合はその根拠を確認）
- ☐ 情報提供、留学先国の留学・教育制度や外国人の入学要件
- ☐ 留学あっせん業者と留学先の学校との関係、業者が紹介する学校の選択基準
- ☐ 現地の委託業者がある場合、契約先業者との関係、現地委託業者に関する情報（所在地、代表者の氏名、組織の概要、業務年数、業務実績）
- ☐ 現実的な選択をすすめているか、留学の良い点だけでなく、困難な点、苦勞する点などの説明があるか
- ☐ 契約内容、料金体系、責任の範囲、免責事項・代行業務の範囲と責任範囲（業者がどの部分を代行し、どの部分を本人が行うか。複数の業者が関与している場合は、その中での分担）



3. トラブルにつながりやすい例

- (1) 語学力・学力の要件を満たしていないのに安易に留学をすすめる
- (2) 資金の不足を現地での就労によって補うことをすすめる
- (3) 申込・契約を急がせる
- (4) 「留学で日本での就職が有利になる資格を取得できる」「留学終了後、現地で就職できる」というようなことを明確な根拠に基づかずに述べる
- (5) 現地でのサポート体制や、留学費用に関して不明確さがある

4. トラブルになったら

(1) 契約上のトラブル

業者との間にトラブルが発生した場合、まずは業者と直接話し合い、解決する努力をすることになります。解決しなかった場合、居住地の消費生活センターなどにアドバイスを求めながら、業者と交渉していきます。その際には消費者契約法の、不当に高額な解約金条項を無効とするなどの消費者保護のための規定を参照しましょう。当該業者が業界団体に加盟していたり何らかの認証を受けていたりする場合は、その団体に相談し、介入してもらうことも考えられます。

以上のやり方で解決しない場合は、民事で調停を申し立てたり、訴訟したりすることになってしまいます。

(2) 経営破綻によるトラブル

契約した業者が経営破綻を起こした場合、あるいはその前兆（数店舗の一斉閉鎖など）があった場合、まず消費生活センターなどに相談しましょう。次に、業者に学費やホームステイ代金、寮費などを預けていた場合、すぐに留学先の学校に連絡し、経費が支払われていたかを確認しましょう。未払いがある場合、いつまでの在学・居住が認められるのかなどをきちんと確認しましょう。

破産の場合は、債権者説明会や、裁判所からの文書などで状況を知ることができます。しかし預けたお金が戻ってくることは多くありません。

家族ともよく相談し、今後の方針や進路を冷静かつ適切に決めましょう。留学を続ける場合は、今後の手続き方法を学校や公的機関に相談し、適切な選択をするようにしてください。焦って新たな業者と契約をしないようにしましょう。

※詳しい説明は、日本学生支援機構の「海外留学情報サイト」内「留学あっせん業者の利用について」をご参照ください。



3-2-1 情報の集め方

留学プランニングの流れを確認したら、次はそれぞれ個別の情報はどこから入手できるのかを抑え、さっそく情報収集に取り掛かりましょう。

ひとつ注意してほしいのは、何でも人に聞くのではなく、必要な情報は「自分の手で集める」姿勢が大切だということです。情報化が発達し、インターネットで何事も調べることが可能な時代です。そのような時代だからこそ、氾濫する情報の中から本当に必要な情報を理解するために、自分で努力して情報を仕入れるクセをつけてほしいと思います。

日本に住んでいると、無意識のうちに私たちはサービスを受けることに慣れてしまっており、少しでも上手くいかない、分からないことがあると、サービスを提供する相手にしばしば苛立ちを覚えることもあるかと思えます。しかし、海外ではその常識は通じないことがほとんどです。特に、ビザなどの個人に係わる重要な手続きについては、本人以外は問題解決できませんので、自分でしっかりと理解しておくことが必要です。

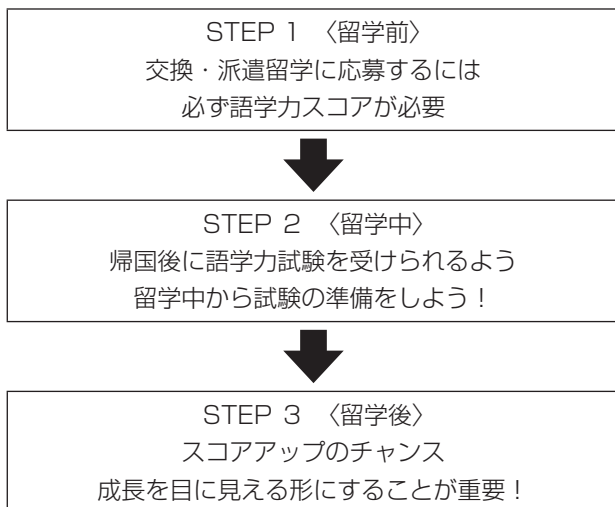
項目	情報入手先	Web サイト
パスポート	住民登録のある各都道府県のパスポート申請窓口	外務省 Web サイト https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/
留学先大学	経験者の留学報告書 → 本学 Web サイト（国際交流－海外への留学）で閲覧可能です。 → 認定留学予定者で、留学先を探している方は必見です。	https://www.kyoto-su.ac.jp/international/ryugaku/taiken/index.html
	留学希望校の HP	https://www.kyoto-su.ac.jp/international/kyoutei/
語学力判定テスト	それぞれのテスト実施機関 （「3-2-2 語学力判定テストについて」参照）	本学 Web サイトにも記載 https://www.kyoto-su.ac.jp/international/ryugaku/hantei.html
ビザ（査証）・入国手続き	駐日外国公館（大使館、総領事館） ※必ず最新版をチェックしてください。 （「5-1-3 ビザ（査証）」参照）	https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblist/index.html
渡航関連情報 （渡航・感染症・医療情報）	外務省 HP	https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html
海外安全情報	外務省海外安全 HP	https://www.anzen.mofa.go.jp/
奨学金・ローン	1 日本学生支援機構 海外留学奨学金 2 金融機関の教育ローン（最寄の金融機関）	https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kaigai/index.html
留学体験談	1 留学報告書 2 本学 Web サイト 3 学生留学アドバイザーによる企画「留学フェア」	https://www.kyoto-su.ac.jp/international/ryugaku/taiken/index.html
留学相談	1 各学部の留学アドバイザー（教員） 2 国際交流センター事務局 3 所属学部事務局（単位認定等手続き） 4 日本学生支援機構留学情報センター等 （資料閲覧、個別相談、電話・メール相談）	
在学留学制度	1 履修要項 2 京都産業大学海外留学ハンドブック 3 本学 Web サイト	https://www.kyoto-su.ac.jp/international/ryugaku/zaigaku.html
留学斡旋業者の利用	日本学生支援機構「海外留学支援サイト」	https://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/basic/agency/
海外旅行保険	1 国際交流センター事務局 2 海外旅行保険取扱店	

項目	情報入手先	Web サイト
英文預金残高証明書	預金している金融機関 ※ビザ申請等の場合、通常は本人名義口座の残高証明書を要求されます。	
無犯罪証明書／ 犯罪経歴証明書	各都道府県警察署 (本人出頭の上、申請)	
健康診断書（英文、中文等）	1 本学保健管理センター 2 最寄の国立・公立等の病院 ※要求される項目の診断ができるか、また英文等対応可能かも確認が必要です。	
予防接種証明書（英文等）	1 本学保健管理センター 2 最寄のトラベルクリニック 等	
住民票、戸籍謄本等	住民登録をしている住所地の区役所等	
国際返信切手	最寄の郵便局	
本学の英文成績証明書・英文在学証明書	コンビニで発行できます。	https://www.kyoto-su.ac.jp/support/shoumei/zai_shoumei/

3-2-2 語学力判定テストについて

語学力試験を受けよう！

交換・派遣留学への応募時にはもちろん、海外の大学へ留学する際には語学力の証明として語学力試験のスコアが必要です。また、就職活動時に、留学の成果を証明するだけでなく、学生時代にあなたがしっかりと語学学習に取り組んだという証拠として有効な武器にもなるはずです！より高いスコアを取得する努力をし、継続的に語学試験に挑戦しましょう！！



【英語】

名 称	IELTS (International English Language Testing System)	
ホームページ	(公財) 日本英語検定協会 https://www.eiken.or.jp/ielts/index.html	
	(一財) 日本スタディ・アブロード・ファンデーション (JSAF) https://jsaf-ieltsjapan.com/	
名 称	TOEFL (Test of English as a Foreign Language)	
ホームページ	https://www.ets.org/toefl.html	

※イギリス留学で学生ビザを申請する場合は、IELTS for UKVI のスコアが必要です。

【ドイツ語】

名 称	ゲーテ・インスティトゥート ドイツ語検定試験	
ホームページ	https://www.goethe.de/ins/jp/ja/index.html	
名 称	ドイツ語技能検定	
ホームページ	https://www.dokken.or.jp/	
名 称	オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験	
ホームページ	https://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~de/oed/	

【フランス語】

名 称	DEL F (Diplôme d'Etudes en Langue Française) DAL F (Diplôme Approfondi de Langue Française)	
ホームページ	https://delfdalf.jp/ja/accueil/	
名 称	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	
ホームページ	https://apefdapf.org/	
名 称	TCF (Test de connaissance du français)	
ホームページ	https://www.france-education-international.fr/test/tcf-tout-public	

【スペイン語】

名 称	DELE	
ホームページ	https://tokio.cervantes.es/jp/dele_diplomas/prices_diplomas_spanish.htm	
名 称	スペイン語技能検定	
ホームページ	https://casa-esp.com/	

【イタリア語】

名 称	実用イタリア語検定	
ホームページ	https://iken.gr.jp/	
名 称	PLIDA イタリア語検定試験	
ホームページ	http://www.il-centro.net/wpd/	
名 称	CILS (Certificazione di Italiano come Lingua Straniera)	
ホームページ	https://iicosaka.jp/cils	

【中国語】

名 称	漢語水平考試 (HSK)	
ホームページ	https://www.hskj.jp/	
名 称	中国語検定試験	
ホームページ	https://www.chuken.gr.jp/	

【韓国語】

名 称	韓国語能力試験 (TOPIK)	
ホームページ	https://www.kref.or.jp/topik/	
名 称	「ハングル」能力検定試験	
ホームページ	https://hangul.or.jp/	

【ロシア語】

名 称	ロシア語検定試験	
ホームページ	https://taibunkyo.jp/	
名 称	ロシア語能力検定試験	
ホームページ	https://www.tokyorus.ac.jp/kentei/	

【インドネシア語】

名 称	インドネシア語技能検定試験	
ホームページ	https://www.i-kentei.com/	

自分に合う留学のカタチを見つける

留学計画のプランニングと情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後にするべきこと

危機管理について

資料

3-2-3 外国語検定試験 単位認定制度について

本学には、各言語の検定試験において、一定の基準をクリアしている場合、その言語において実力を有しているとみなし、単位を認定する制度があります。

※実際の申請手続の詳細や基準等については、履修要項や所属学部事務室で確認してください。

3-2-4 英語能力試験（IELTS）受験料補助新制度について

英語能力試験（IELTS）受験料補助新制度について

海外留学を目指す本学学生を対象に、日本英語検定協会コンピューター版 IELTS 受験料の補助（先着 50 名※）を実施しています。補助の方法は、指定のプロモーションコードによる即時割引方法です。受験申込の決済時に割引が適用されます。

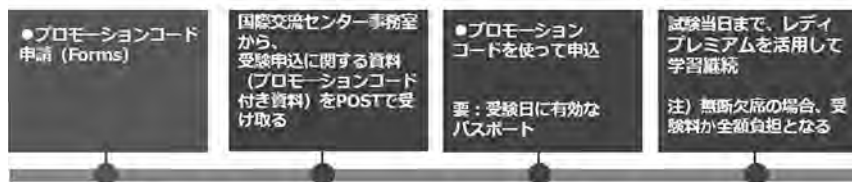
利用を希望する学生は、以下のルールを厳守のうえ申請してください。

（※ 2026 年度の補助対象の人数）

受験補助概要

- ・対象試験：日本英語検定協会 IELTS コンピューター版（Academic）
※日本英語検定協会 IELTS 「大阪テストセンター」 で実施されるコンピューター版試験に限ります。
- ・補助金額：受験料の半額（13,750 円）・2026 年 8 月現在
※受験料が改定となれば、改定後の受験料の半額となります。
- ・受験する日に有効なパスポートを持っていることが必要です。
- ・一度も IELTS を受験したことがない学生であっても受験申込は可能ですが、「英検 2 級以上、TOEIC L & R550 以上、またはそれ同等の英語力」を有している方を強く推奨します。
- ・受験日までに 3 カ月程度の学習準備期間を経て受験することが望ましい。
- ・補助申請から受験までは同年度内で、なおかつ本学在籍中であること。
- ・留学（在学留学・休学留学）から帰国直後でも受験可能です。
- ・決済時にコードの入力を忘れた場合、後からの返金は一切できません。必ず割引が適用されたことを確認してから決済してください。

IELTS 受験補助の手順



試験の基本情報

1. 筆記 3 セクションの実施順序

コンピューター版の筆記テストは途中で休憩がなく、以下の順番で連続して進行します。

1) Listening (約 30 分) 2) Reading (60 分) 3) Writing (60 分)

2. Speaking (スピーキング)

Speaking (約 11 ～ 14 分) は、筆記 3 セクションとは別の時間帯に行われます。

参考 (バンドスコア)

テスト結果は、1.0 から 9.0 までのバンドスコアで示されます。合格や不合格という区分ではありません。各パート (Listening, Reading, Writing, Speaking) ごとに英語力がバンドスコアで示される他、総合評価としてオーバーオールバンドスコアが示されます。

3-2-5 TOEFL iBT® (Test of English as a Foreign Language Internet based Test) について

TOEFL iBT® (Test of English as a Foreign Language Internet based Test) について —

海外留学（交換・派遣留学等）の出願には、英語能力試験 TOEFL iBT® のスコアも幅広く認知されています。大学の授業やキャンパスで必要な英語 4 技能（読む・聴く・話す・書く）を測定します。なお、従来、学内試験等で実施されていた「TOEFLITP®」は、本学での実施を終了しています。正式な留学出願に、TOEFL® で出願するのであれば、TOEFL iBT® のスコアが必要となります。

TOEFL iBT® (Test of English as a Foreign Language Internet-based Test) は、2026 年 1 月実施分からスコア表記が変更されています。

1. テストの概要・特徴（2026 年 1 月改訂）

- ・試験形式：パソコンで受験（会場受験、または自宅受験が選択可能）
- ・試験時間：約 1 時間 30 分
- ・結果発表：試験日から 3 日以内にオンライン確認可能

【テスト構成】

セクション	主な出題内容	設問数	時間
READING	単語補完、日常文章・学術文章の読解（2 段階アダプティブ）	50 問	約 30 分
LISTENING	応答選択、会話・講義・アナウンスの聞き取り（2 段階アダプティブ）	47 問	約 29 分
WRITING	文作成、メール作成、学術議論への意見作成	12 問	約 23 分
SPEAKING	リピート、インタビュー回答	11 問	約 8 分

※アダプティブ方式：解答状況に応じて問題の難易度が変化し、短時間で正確に能力を測定する仕組みです。

2. スコア評価（バンドスコア）

TOEFL iBT® は、各技能および総合評価が 1 ～ 6 のバンドスコアで表示され、国際基準「CEFR」に対応しています。

【スコアおよび CEFR レベルの対応表】

バンドスコア (TOTAL / セクション別)	CEFR レベル	旧 TOEFL iBT® (0~120 換算) の目安	レベルの目安・目標感
6	C2	114 点以上	熟達した言語使用者 (Mastery) ネイティブと同等レベルの高度な英語運用能力。
5 ～ 5.5	C1	95 ～ 107 点以上	上級者 (Advanced) 海外大学院への進学や、高い英語力が求められる交換留学の目安。
4 ～ 4.5	B2	72 ～ 86 点以上	中上級者 (Vantage) 一般的な海外大学 (学部レベル) への交換留学出願の基準となる標準的なレベル。
3 ～ 3.5	B1	44 ～ 58 点以上	中級者 (Threshold) 日常会話や語学研修・短期留学等に適した英語力。
2 ～ 2.5	A2	24 ～ 34 点以上	初級者 (Waystage) 基礎的なやり取りが可能なレベル。
1 ～ 1.5	A1	0 ～ 12 点以上	初学者 (Breakthrough)

※旧スコア（120点満点）との換算について

2026年1月～2028年1月までの2年間（移行期間）は、スコアレポートに新バンドスコアと並んで従来の0～120点換算スコアも併記されます。2026年1月以前に取得したスコアも、試験日から2年間は有効です。出願先の要件（新バンドスコア指定か、従来の点数指定か）に合わせてご確認ください。

Test Taker Guide（受験者向けのガイドブック QR コード）



3-3 留学資金計画と保証人の理解

留学をするにあたり、「留学資金」の確保なくしては実現できません。

学校への出願時とビザや現地での滞在許可の申請時には、学費と現地での生活費をまかなう資金があることを証明する書類（銀行の残高証明書、経済能力証明書等）の提出が求められます。長期で日本以外の国・地域に滞在するためには、その国・地域の定める目的に応じたビザ（査証）を所持する必要があるため、ビザを取得する条件としては、その国で不法就労や不法滞在をすることなく期日以内に帰国できる見込みがあることを審査されるからです。また、「留学」のビザを取得する最大の目的は「勉強」であり在学留学の場合、アルバイトは認められないため、現地での生活費を現地で稼ぐということは不可能です。

留学資金の総費用を考える際には、「どのようなことにどれくらいの費用がかかるのか」を自分自身で把握する必要があります。そのうえで、保証人と留学資金について事前に相談してください。大学の学費を保証人に負担してもらっている方ならば、なおさら留学資金についての保証人の理解は不可欠です。

3-3-1 留学に必要な総費用概算

2026 年度留学費用概算表（在学留学）

地域	留学先国・地域名	先方授業料		住居費（注 1）	生活費	往復航 空運賃 （参考）	海外旅 行保険 （注 2）	その他 必要経費 （注 3）	合計	
		交換	派遣						交換	派遣
北米	アメリカ	免除	175万円	25万円 × 10ヵ月 = 250万円	5万円 × 10ヵ月 = 50万円	35万円	15万円	70万円	420万円	595万円
	カナダ	免除	117万円	11万円 × 9ヵ月 = 99万円	8万円 × 9ヵ月 = 72万円	35万円	15万円	19万円	240万円	336万円
オセアニア	オーストラリア	免除	120万円	12万円 × 10ヵ月 = 120万円	7万円 × 10ヵ月 = 70万円	20万円	15万円	7万円	232万円	302万円
	ニュージーランド	免除	120万円	12万円 × 10ヵ月 = 120万円	6万円 × 10ヵ月 = 60万円	25万円	15万円	5万円	225万円	345万円
欧州	アイスランド	免除	76万円	14万円 × 10ヵ月 = 140万円	12万円 × 10ヵ月 = 120万円	30万円	15万円	5万円	310万円	386万円
	アイルランド（個人）	免除	76万円	13万円 × 9ヵ月 = 117万円	10万円 × 9ヵ月 = 90万円	30万円	15万円	16万円	268万円	344万円
	アイルランド（団体）	免除	145万円	授業料に含む	10万円 × 3ヵ月 = 30万円	30万円	7万円	5万円	217万円	282万円
	イギリス	免除	220万円	22.5万円 × 9.5ヵ月 = 214万円	8万円 × 9.5ヵ月 = 76万円	35万円	15万円	35万円	375万円	595万円
	イタリア	免除	95万円	10万円 × 9ヵ月 = 90万円	9万円 × 9ヵ月 = 81万円	30万円	15万円	29万円	245万円	340万円
	オランダ	免除	130万円	13万円 × 11ヵ月 = 143万円	8万円 × 11ヵ月 = 88万円	30万円	15万円	8万円	284万円	362万円
	スペイン	免除	72万円	16万円 × 9ヵ月 = 144万円	16万円 × 9ヵ月 = 144万円	30万円	15万円	1万円	334万円	406万円
	チェコ	免除	130万円	6.5万円 × 9ヵ月 = 58.5万円	7万円 × 9ヵ月 = 63万円	30万円	15万円	15万円	182万円	267万円
	ドイツ	免除	130万円	7万円 × 10ヵ月 = 70万円	10万円 × 10ヵ月 = 100万円	30万円	15万円	15万円	230万円	360万円
	ハンガリー	免除	130万円	4.2万円 × 5ヵ月 = 21万円	5.5万円 × 5ヵ月 = 27.5万円	30万円	10万円	2万円	91万円	121万円
	ベルギー	免除	95万円	9万円 × 5ヵ月 = 45万円	8万円 × 5ヵ月 = 40万円	30万円	15万円	20万円	150万円	195万円
	フィンランド	免除	120万円	7万円 × 10ヵ月 = 70万円	7万円 × 10ヵ月 = 70万円	30万円	15万円	15万円	200万円	270万円
	フランス	免除	120万円	9万円 × 9ヵ月 = 81万円	7万円 × 9ヵ月 = 63万円	30万円	15万円	15万円	204万円	324万円
	ポーランド	免除	50万円	5万円 × 9ヵ月 = 45万円	6.7万円 × 10ヵ月 = 67万円	30万円	15万円	5万円	162万円	212万円
	ロシア	免除	50万円	（交換）協定により免除 （派遣）2万円 × 10ヵ月 = 20万円	3万円 × 10ヵ月 = 30万円	17万円	15万円	6万円	68万円	138万円
アジア	インドネシア	免除	21万円	2.7万円 × 10ヵ月 = 27万円	4万円 × 10ヵ月 = 40万円	20万円	15万円	0万円	123万円	144万円
	ベトナム	免除	40万円	8万円 × 10ヵ月 = 80万円	4万円 × 10ヵ月 = 40万円	20万円	15万円	2万円	157万円	197万円
	中国	免除	40万円	5万円 × 10ヵ月 = 50万円	5万円 × 10ヵ月 = 50万円	20万円	15万円	5万円	140万円	180万円
	台湾	免除	58万円	1万円 × 10ヵ月 = 10万円	5万円 × 10ヵ月 = 50万円	15万円	15万円	5万円	95万円	125万円
	韓国	免除	58万円	4.8万円 × 9ヵ月 = 43.2万円	6.6万円 × 9ヵ月 = 59.4万円	10万円	15万円	8万円	136万円	194万円
中南米	メキシコ	免除	120万円	7.2万円 × 9ヵ月 = 64.8万円	4万円 × 9ヵ月 = 36万円	30万円	15万円	0万円	146万円	266万円
	アルゼンチン	免除	120万円	5万円 × 10ヵ月 = 50万円	4万円 × 10ヵ月 = 40万円	30万円	15万円	0万円	135万円	215万円
	ウルグアイ	免除	120万円	6万円 × 10ヵ月 = 60万円	12万円 × 10ヵ月 = 120万円	45万円	15万円	0万円	240万円	360万円
	チリ	免除	120万円	8万円 × 10ヵ月 = 80万円	7.5万円 × 10ヵ月 = 75万円	30万円	15万円	2万円	202万円	282万円

注 1：滞在先は協定校によって異なり、寮、ホームステイ、アパート、フラット等が提供されます。大学独自で滞在先を保有していない協定校もある為、その場合はご自身で滞在先を確保する必要があります。

注 2：「海外旅行保険」については、契約の組み合わせによって異なりますが、出国日から帰国日までの契約で傷害・疾病・賠償責任・携行品・救援者費用等をカバーするものを目安に積算しております。

注 3：「その他必要経費」には、教材費、登録料、ビザ申請に係る費用、現地での保険料、その他雑費が含まれます。

注 4：上記費用は、概算金額です。為替の変動等により、実際にかかる費用は変動する可能性があります。また、留学にかかる費用は個人差があるのであくまでも目安として考えてください。

留学費用概算表（短期語学実習）

夏季（8月初旬～9月中旬）

言語	国・地域名	実習費	実習期間	滞在形式
英語	アイルランド	115 万円	31 日間	ホームステイ
英語	タイ	40 万円	34 日間	ホテル
英語	カナダ	90 万円	31 日間	ホームステイ
中国語	中国	28 万円	20 日間	寮
韓国語	韓国	40 万円	21 日間	寮

春季（2月中旬～3月中旬）

言語	国・地域名	実習費	実習期間	滞在形式
英語	オーストラリア	100 万円	31 日間	ホームステイ
英語	ニュージーランド	76 万円	23 日間	ホームステイ

【備考】

- ・「実習費」には、往復航空運賃、現地での送迎代（係員・バス等）、海外旅行保険代、先方授業料、宿泊費を含みます。
- ・プログラムのラインアップは年度によって変更になります。

3-3-2 海外留学のための奨学金・ローン

自己資金だけでは留学に係る費用をまかなえない場合には、奨学金やローンを利用する方もいます。一般的には、奨学金（給付型／返還不要）は、語学留学レベルでは受給する見込みが薄く、学部留学・大学院留学の場合には応募できる奨学金の種類が増えるといえます。また、留学開始時期の1年以上前に応募を締め切るものもありますので、まずは「どのような奨学金があって自分はどれに申請できるのか」を早い段階で調べておく必要があります。

3-3-3 海外への留学に関する奨学金制度

1 外国留学支援金

在学留学する際の経済支援として、交換留学生及び派遣留学生には最大 75 万円を、認定留学生には最大 55 万円を、外国留学支援金として支給する制度を設けています。

留学種別	留学先	外国留学支援金支給内容（年額）	採用について	問合せ窓口
交換留学 派遣留学	交流協定校	【学 部】文系 55 万円、理系 75 万円 【大学院】文系 35 万円、理系 50 万円	「交換・派遣留学生」選考の結果、 合格者を採用とする	国際交流センター 事務室
認定留学	学生自身が選択	【学 部】文系 45 万円、理系 55 万円 【大学院】文系 25 万円、理系 40 万円	学部の留学許可をもって採用とする	

注1：上記金額は、1年間留学した場合の金額です。1学期間の場合は半額となります。

※ 2026 年度現在

注2：他の学費減免制度、奨学金制度の適用を受けている場合、授業料相当額を限度とします。

注3：在留資格「留学」の外国人留学生は、外国留学支援金の対象になりません。

2 海外留学特別奨学金

交換留学生のうち一定の学力、語学力要件等を満たす成績優秀者に対し、年額 100 万円の奨学金を支給する制度を設け留学を奨励しています。

対 象	海外留学での学びを通して、外国の社会、言語、文化、自然などに関する理解を深めるとともに、国際コミュニケーション力を身に付け、グローバル社会において自らを大きく成長させることのできる、熱意溢れる学生
応募資格	以下の資格すべてに該当すること 1. 学部生として在籍する者 2. 1年間の交換留学生として本学の選考に合格した者（英語による学部留学） 3. 学業成績 GPA（通算）3.0以上の学力要件を満たす者 4. 英語運用能力（TOEFL-ibt 79 又は IELTS 6.0 以上）の基準を満たす者 5. 留学先大学で専門の科目を取得できる見込みがある者（語学研修不可） 6. 人物が、学生としてふさわしく、将来、良識のある社会人として活動する見込みがあると認められる者 7. 健康が、修学に耐えうると認められる者 なお、最短修業年限を超えた者及び「留学」の在留資格を所持する私費外国人留学生の出願は認めない
金 額	年額 100 万円 ※原則として学期ごとに 50 万円ずつ支給／奨学生の期間は、1年間を限度とし、再出願を認めない
採用人数	年間3名以内
選考時期	5月及び11月 ※交換留学と同時期に募集を行う
問合せ窓口	国際交流センター事務室

注1：外国留学支援金及び他奨学金との重複受給が可能です。

※ 2026 年度現在

注2：在留資格「留学」の外国人留学生は、海外留学特別奨学金の対象になりません。

3 学校法人京都産業大学「サギタリウス基金」グローバル人材育成支援奨学金 短期留学渡航費奨学金

対 象	本学の単位認定できる短期留学プログラムに参加する者
応募資格	1. 本学に在学（在学留学含む）する学部生 2. 本学の8月～3ヵ月までの短期留学プログラムに参加する者 期間には単純な往復移動時間等を除く。単位認定できるプログラムに限る 3. 過去に「学校法人京都産業大学「サギタリウス基金」グローバル人材育成支援奨学金短期留学渡航費奨学金」を受給していない者
金 額	奨学金額は、往復航空運賃（航空保険料含む）、航空運賃にかかる税金、空港利用料金及びサーチャージ費用の実費の合計金額の3分の2とし、120,000円を上限とする
出願手続	POSTにて確認
問合せ窓口	教育支援研究開発センター事務局

その他注意事項：上記の奨学金以外にも、様々な本学独自の奨学金があります。
定期的に POST を確認し、情報を得るようにしましょう。

※ 2026 年度現在

4 その他奨学金

本学独自の奨学金以外にも学外団体が設けている奨学金制度があります。

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～

対 象	海外での「異文化体験」や「実践」を焦点にした留学をする者
応募資格	(1) 本制度で実施する事前・事後研修及び留学生ネットワークに参加する学生 (2) 在籍大学等において、学位取得を目的とした課程に在籍する学生 (3) 在籍大学等が派遣を許可し、留学先機関が受入れを許可する学生 (4) 留学に必要な査証を確実に取得し得る学生 (5) 留学終了後、在籍大学等に戻り学業を継続する学生又は在籍大学等の学位を取得する学生
金 額	月額 12 万円～ 16 万円（派遣先地域により支給額が異なる）、渡航費、授業料等補助有り ※大学オープンコースの場合は、月額 6 万円。
出願手続	該当時期に、POST にて確認
問合せ窓口	国際交流センター事務局

日本学生支援機構「留学時特別増額貸与奨学金」（有利子貸与型）

対 象 者	日本学生支援機構奨学金を貸与中の在学留学生（交換留学・派遣留学・認定留学）
貸与金額	10 万円、20 万円、30 万円、40 万円、50 万円から選択
貸与条件	日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込み審査の結果、融資を受けることができなかった世帯の在学留学生
出願時期	留学前もしくは留学後 3 か月以内、個別受付
本学窓口	学生支援センター（10 号館 1 階）

外国政府等の奨学金

対 象	特定の国・地域の大学などへ留学する日本人
貸与期間	当該奨学金を給付する国、団体により異なる
貸与月額	
出願手続	各自で確認
参 考	外国政府等奨学金留学生

自分に合う留学のカタチを見つける

留学計画のプランニングと情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後にするべきこと

危機管理について

資料

自分に合う留学の
カタチを見つける

留学計画のプランニングと
情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後に
するべきこと

危機管理について

資料

日本学生支援機構「海外留学支援制度（協定派遣）奨学金」 ※給付型の外部奨学金

対 象	大学間協定に基づき在学留学・短期語学実習で協定校へ留学する者
応募資格	①日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者（特別永住者を含む） ②学生交流等に関する協定等に基づき、派遣先大学等が受入を許可する者 ③在籍大学において「経済的理由により、自費のみでプログラムへの参加が困難な者」として認められるもの ④プログラム参加にあたり必要な査証を確実に取得し得る者 ⑤参加後、本学での学業を継続し、学位を取得する者又は卒業する者 ⑥学業成績が優秀で人物等に優れており、 <u>日本学生支援機構が定める</u> 前年度の成績評価係数をもとに算出した「成績評価ポイント」が2.30以上（小数点第3位を四捨五入）の者 ⑦プログラム参加にあたり、他の団体等から別の奨学金（渡航に係る費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない）を受ける場合、その奨学金の支給月額（複数の団体から受ける場合は合計金額の月額換算額）が、本制度による月額の支給金額を超えない者
	※日本学生支援機構の貸与型奨学金である第一種・第二種奨学金は、本制度との併給が認められています。
	※日本学生支援機構が実施する「国内の給付奨学金」との併給は認められません。
	※その他、他団体等の奨学金を受けている場合、当該奨学金支給団体側において、本制度の奨学金との併給を認めない場合があります。当該団体に直接確認してください。
	※「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～」との併給はできません。
金 額	月額 8 万円～ 12 万円
出願手続	対象となるプログラムについては、募集の際にお知らせいたします。
本学窓口	国際交流センター事務室

留学と就職活動に関する「よくある質問」Q&A

留学前 ～留学はゴールじゃない！留学後どんな自分になりたいのかを考えよう！～

Q：留学経験は就職活動をするにあたり有利／不利になりますか？

⇒有利になるか、不利になるかはご自身の留学生活の過ごし方次第です。企業が海外留学経験者を採用する際に求めているのは、留学「経験」そのものではなく、経験を通して得た「能力」です。目的や目標をきちんと定めて、その達成のために努力し充実した留学生活を送ることで「企業が採用したい」人材に成長できると考えます。

Q：留学前にしておくべきことは何ですか？

⇒進路・就職支援センターの個別相談（留学に行く学生は必須！）で就職活動のスケジュール等を確認しましょう。帰国時期によっては、帰国後の就職活動に向けて留学中に準備すべきこともあるため、事前の確認が非常に重要です。留学生活を満喫するためにも、事前準備を万全に！
⇒「なぜ留学するのか」「日本ではダメなのか」「なぜその国なのか」といった【留学の目的と意思の確認】と「何をしたいのか」「何を学びたいのか」といった【目標の明確化】をしておくことをおすすめします。
⇒留学予定の方向けのキャリアガイダンスの内容は、いつでも確認できるよう POST および KSU キャビネットに掲載されていますので活用下さい。

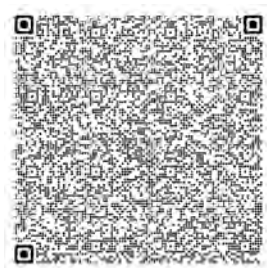
Q：帰国後すぐに就職活動が始まる予定なので、留学前に何か取り組めることはありますか？

⇒毎年実施している「海外留学予定・希望者向け就職セミナー」への参加がおすすめ！就活を意識した留学前後の過ごし方や、留学経験の何が企業に評価されるのか、わかりやすく解説します。留学と就活の両立への不安を解消し、充実した留学生活を送りましょう！

■録画配信

KSU キャビネット > 学生用キャビネット > 09 就職関係 > 海外留学予定・希望者の方へ

⇒インターンシップに参加しましょう。低年次生から参加可能なものも多数あります。自身の就職活動対象年度に実施されるインターンシップには留学中のため参加できないことから、先だって参加しておくことで良いでしょう。



留学中 ～留学生生活を充実させる＋日本じゃできない就活で個性を発揮しよう！～

Q：留学中にできることは何ですか？

⇒留学中は留学生活に集中してください！せっかくの留学経験ですから、学びはもちろん遊びにも目いっぱい取り組みましょう。全力で取り組んだ留学経験は、帰国後に就職活動をするにあたって、みなさんの大きなアピールポイントや強みとなってきます。

Q：帰国後の就職活動が心配・・・留学中にできることがあればやってみたい！

⇒留学前後の自身の変化・成長についてや、印象的な出来事やモノの見方・考え方が変わった出来事についてノートにまとめて振り返りができるようにしましょう。ブログや日記をつけて、日々どのような活動をしたかを書き留めておくこともおすすめです。
⇒就職活動時には、企業に履歴書等の応募書類を提出することになります。みなさんが力を入れたことやみなさんの強みについて、具体的なエピソードを用いて書くことはもちろん、その時の考えや思い、学んだこと等も記入することが大切です。そのために、留学中の出来事等をまとめる際には、「思い」や「考え」もあわせてまとめておくことをおすすめします。

《履歴書（本学所定）の質問項目》

- 研究課題または興味ある科目
- 大学時代に力を入れたこと（ゼミ・研究・スポーツ・文化サークル活動など）
- 趣味／特技／資格
- 私の特徴（自己PR）



⇒OB/OG 訪問やインターンシップ参加の代わりに、日本人会（海外駐在している日本人や関係者の交流会）で社会人と交流してみましょう。みなさんと同じように留学中の就活生と出会う機会にもなります。日本企業の海外支社・現地法人を訪問する方もいます。

※上海、台北、ベトナム（サイゴン）、タイ（バンコク）、北米には本学同窓会の海外支部があります！

⇒インターンシップはオンラインで参加できるプログラムもありますので、留学先からインターンシップに参加することもできます。

⇒気になる NEWS（留学先の NEWS・日本の NEWS・留学先から見た日本の NEWS 等）をピックアップしましょう。

⇒海外で開催される留学者対象のジョブ・フェア（キャリアフォーラム等）に参加してみましょう。ボストンやロンドン等大都市で開催されるものなら、100 社以上が集う大規模な企業説明会・面接会です。海外にいながら面接選考を受けて就職活動を進めることができます。低年次生の方は、様々な企業の話の聞いてみることで自分の興味・関心を知るきっかけにしてください。

Q: 帰国までに企業の採用活動が解禁になる場合（4 年次生 5 月に帰国等）の就職活動はどのようにになりますか？

⇒2026 年 6 月現在、就職活動のスケジュールは「3 年次生の 3 月に情報公開（企業説明会開始）」「3 月以降随時、企業説明会参加・エントリーシート提出・筆記試験受験等」「4 年次生の 6 月に選考開始（面接等の選考開始）」となっています。しかしこのルールは形骸化し、上記よりも早い時期に採用活動をスタートする企業も存在します。遅い時期に採用活動をスタートする企業や夏以降も採用活動を継続する企業もあるため、帰国後に応募可能なケースもありますが、帰国以前に選考をスタート、または採用を終了する企業があるかもしれないことは頭頭に置いておく必要があります。

なお、エントリーや一次面接まではオンライン上で実施する企業が増えているため、実際に、みなさんの先輩で「Web 上」で応募手続きを行い、帰国後は面接のみの状態まで留学先で就職活動を進めておくことで、帰国後スムーズに活動し、内定を得た方もいます。

Q: 帰国前にやっておくと良いことはありますか？

⇒語学力証明試験を受けましょう or 帰国後すぐ受験できるよう申込みをしましょう。

※英語圏以外の国に留学する方も TOEIC 受験をおすすめします！

⇒就職情報サイト（マイナビ等）に登録し、気になる企業にエントリーしましょう。

留学後 ～留学を通して培った経験・体験を就職活動に活かそう！～

Q: 帰国後に行うべきことは何ですか？

⇒進路・就職支援センターの個別相談を利用して、今後の就職活動について整理しましょう。帰国時期によっては、すぐに企業へのエントリーをスタートする必要があります。留学を経験したことで得られた成長や自分の変化について【振り返り】を行い、その中で、留学中に苦しかったこと・辛かったこと、その乗り越え方等の【具体的な体験分析】を行いましょう。また、留学中に見つけた・確認した「自分の強み」を活かせる仕事を見つけるために【自己分析と業界・企業選択】をスタッフと相談しながら一緒にいきましょう。

⇒TOEIC 等、学んだ語学の試験（語学能力検定等）を受験しましょう。

Q: 留学経験や語学力を活かす仕事をどのように探すと良いですか？

⇒就職情報サイトで検索すること以外に、大学に届く求人・イベント情報もチェックしてください。京産ナビの求人検索でフリーワード検索を活用すれば、語学力を活かすチャンスがある企業を見つけることも可能です。

また、東京や京都の会場で、海外留学経験者を対象とした企業説明会（キャリアフォーラム・マイナビ国際派就職 EXPO 等）が多数開催されていますので参加してみましょう。

5-1-1 パスポート

パスポート（旅券）は、世界で通用する身分証明書です。

海外に出国する日本人は、有効なパスポート（旅券）を取得しなくてはなりません。また、すでにパスポートを所持している場合でも、国によっては入国やビザ申請の際に「一定以上の残存有効期間（帰国予定日から数えて3ヵ月以上の例が多い）」が残っていることを要求されることがありますので、各自確認の上、更新手続き等をとってください。

〈申請場所〉

申請は、オンライン申請（都道府県によりマイナナンバーカードやマイナポータルアプリ対応のスマートフォンが必要）又は住民登録のある都道府県の旅券事務所で行います。ただし、京都府以外に住民票があり、通学の為に京都府内に住んでいる場合は、京都府の旅券事務所で申請することも出来ます（居所申請）。

〈申請に必要な書類〉

個別の事情による申請に必要な書類を含め、パスポートについての詳細なお問い合わせは、国内での申請の場合は各都道府県の申請窓口、国外での申請の場合は各在外公館までお問い合わせください。

5-1-2 入学許可書

留学するには、まず留学先である受入れ大学発行の入学許可書を取得する必要があります。通常、留学するのに必要な「留学ビザ」や「学生ビザ」申請の際には、この入学許可書が必要です。国によっては、入国審査の際に必要なところもあります。

〈入学許可書の取得に必要な書類（一般的な例）〉

1. 受入れ先所定の入学申請書
2. 授業料等の送金

学校によって事前に送金が必要な場合と、そうでない場合があります。一般的に、以下のように大別されます。

- a) 登録料のみ
- b) 全額
- c) 最初の支払分（分割納入制で、残りは現地で支払う場合）
- d) 現地に到着してから（一括、分割、クレジットカード払い等）

※送金方法には、①銀行へ直接入金する方法（海外仕向け送金）、②送金小切手を作成の上、相手先へ送付する方法、③クレジットカードで支払う方法（利用限度額に注意）、④マネーオーダー、などがあります（相手先の指定する支払方法を選んでください）。

※海外送金については、別の章で記述してありますので参照してください。

3. 写真数枚
4. パスポートのコピー
5. 語学力証明書
6. 英文成績証明書
7. 英文在学証明書
8. 健康診断書（不要な場合もあります）

5-1-3 ビザ（査証）

「留学」などの特定の目的で海外に滞在する場合、それぞれの目的にあったビザ（査証）を所持して入国する必要があります。通常、ビザは出国前に日本にある外国公館にて取得しますが、国・地域によっては、入国後に最寄の外国人局等にて滞在許可証を取得するということもあります。いずれにしても、ビザなしで外国に長期滞在することはできませんので、滞在期間をカバーするビザを取得する必要があります。

ビザは個人の出入国に関する重要なものですので、取得手続きや更新・管理等、すべて個人の責任で行ってください。

〈ビザの申請方法〉

ビザは、日本にある留学先国の外国公館（大使館や領事館）へ出頭またはオンラインにて申請します。国によって申請方法や受取り方法が異なる上、提出書類もさまざまです。日本に数カ所、ビザ発給を行う公館を持っている国の場合、住民登録の住所地によって管轄地域が異なる場合がありますので、自分がどのように申請をすれば良いのか、各自で責任を持って確認してください。また、申請する前には、書類の不備のないよう、万全の準備をすることが必要です（持参して申請した場合でも、その場では書類の内容をチェックされず、後で不備を指摘されることがあります）。

※ビザ申請は、書類が多岐にわたる上、1 つでも不足や不備があると受け付けてもらえません。せっかく持参したのにまた出直すことになる場合もあります。しばしば不公平だと感じることもあるかもしれませんが、これも留学の第一歩だと考え、困難を切り抜ける術を身に付けてください。

〈申請に必要な書類（一般的な例）〉

ビザ申請に必要な書類は国によってさまざまです。また、必要書類だけではなく、申請方法、発給までの期間、受取方法も異なります。

- ①パスポート…残存有効期間に注意（帰国日から数えて 3 ヶ月以上必要な場合が多い）
- ②申請書（各国所定様式のもの。在日大使館・領事館の Web サイトからダウンロード）
- ③入学許可書（留学先の学校が発行したもの。ビザ申請のため、最低授業時間数や授業期間などが明記されたものが必要な場合もある）
- ④学費の支払証明書（学校からの領収書、学費を支払ったことがわかる証明書等）
- ⑤写真 1 ～ 2 枚
- ⑥経済能力証明書（本人名義の預金残高証明書や銀行通帳の原本等、英文が求められる場合が多い）
- ⑦航空券（往復航空券が必要になる場合もあります）
- ⑧海外旅行保険証書（保険内容については、「5-1-4 保険」を参照）
- ⑨健康診断書（台湾、スペイン、ニュージーランドなどの場合は大使館所定様式有）

上記は、一般的な書類ですので、詳しくは当該大使館または領事館まで問い合わせてください。最近では、Web サイト上で情報提供を行っている国も多いので、利用してください。

なお、各国大使館の情報は以下の外務省ホームページからも見るができます。

- 駐日外国公館リスト（外務省ホームページ）…住所、電話番号等
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblist/index.html>

⇒一般的には、日本にいる間にビザを取得し、それを所持して留学先国・地域へ入国することになります。ただし、一部の国・地域では、入国時あるいは入国してから数日以内に現地でビザを取得するようになっています。

⇒ビザの手続きは、法改正が行われるとそれに伴い大きく変更されることがあります。毎年同じ申請手続きをとるとは限らないので、必ず留学前の該当期に大使館・領事館へ確認すること。また、ビザの発給までに要する日数は、留学先国・地域によって異なりますので、この点についても大使館・領事館へ事前に確認しておくことが必要です。

I n f o

ちなみに、日本国の出入国に関わる事項は法務省が担当しています。日本国籍を持たない人は、それぞれの目的に応じた在留資格を所持しており（例、留学、家族滞在等）、在留資格を所持していない場合は、不法滞在で本国へ強制送還されます。みなさんも、一步日本を出ると外国人であるということを忘れず、その国・地域の法規に違反することのないように心がけてください。

5-1-4 保険

海外旅行保険への加入

各種損保会社や旅行代理店で取り扱っている「海外旅行保険」に加入して出発するようにしてください。
無保険での海外渡航は大学として許可していません。

●保険内容は、以下をカバーするものが**最低限必要**です。

①傷害死亡 ②傷害後遺障害 ③疾病死亡 ④治療・救済費用（無制限のもの）

…ケガ・病気等の治療、救済で家族が負担する費用の補償

⑤個人賠償責任保険や留学生賠償責任…法律上の損害賠償責任を負った場合

⑥留学生生活用動産…身の回り品が損害を受けた場合

●さらに、次の留学生用の保険にも加入することをおすすめします。

⑦テロ等対策費用…テロに遭い、帰国が遅れ宿泊代を負担したなどの場合

〈重要〉

⇒出発する前に、必ず国際交流センター事務室に保険証書のコピーを提出すること。

提出を忘れて出発した場合、不測の事態に際しても大学の支援を受けられないことがあります。

⇒留学先で保険に強制加入する場合がありますが、その場合は、日本国内と現地の保険の二重加入が必要となります。留学先での強制保険は、原則として留学先の教育機関に所属している期間のみが保障対象になりますので、必ず自宅を出発してから、自宅に帰ってくるまでの留学全期間を保障する保険に加入してください。

⇒イタリアのようにビザを取得するときに「現地治療費・救済者費用が無制限」のものを指定している国もありますので、各自渡航予定国の大使館で確認してください。

⇒歯の治療や慢性の病気の場合、原則として保険は適用されません。歯の治療は日本にいる間に済ませましょう。

⇒クレジットカード等に付加されている保険などもありますが、保険内容に制限があり、万一の際は役に立たないと考えること。これはあくまでカード加入を促進するためのもので、保険がメインではなく、留学をする方用のものではないと考えるべきです。

⇒フランスやドイツ、スペインのように留学先の国によっては、ビザ申請時あるいは滞在許可証申請時に、現地言語での海外旅行保険証書（付保証明書）を必要とする場合があります。

⇒保険内容（金額等）の組み合わせによって、保険料は高くも安くもなりますので、保険を購入する代理店等で相談してください。

⇒テロなどによる被害でも保険金を支払うことができるかどうか、ということも併せて確認しておいてください。

海外（現地）で加入できる保険もあります。国・地域によってさまざまですが、イギリス等では長期滞在者は国民健康保険に加入することができますし、その他の国・地域では大学が実施する保険に加入することが入学条件になる場合があります。任意の場合は、強制ではないので必ず加入しなければならないわけではないのですが、国外の医療費は予想以上の値段がかかることがあるということを覚えておいてください。（例えば、アメリカでは、保険に加入していないと治療が受けられないばかりか、もし受診できたとしても、ICUなどで治療を受ければ1日100万円、大腿骨骨折治療約500万円がかかります。出発する前の保険料15万円程度は、安いものと考えるべきです。）

これまでの海外旅行保険は、かかった費用の満額（保険適用なしで計算された金額）を一旦現地で支払わなければならないことが多かった（保険金の請求は、医療費の支払後に領収書と医師の診断書等をもって行い、実際にお金が返ってくるのは、その審査が終わってから、ということになる）のですが、最近は、保険会社と契約している病院も増え、一切治療費を払わないで済む便利なサービスが増えてきました（指定病院にてキャッシュレスで診察が受けられる）。実際に高額な医療費で困らないためにも海外旅行保険には必ず加入しておかなければなりません。

〈海外旅行保険 加入後の注意点〉

⇒保険は加入するだけではなく、保険内容、適用範囲・適用外のものは何なのか、そして保険金の請求方法・請求時期はどうなっているのかということもしっかり理解しておくことが必要です。せっかく保険をかけていたのに、請求時に書類の不備があれば、当然のことながら保険金は支払われません。

⇒キャッシュレスで治療が受けられる保険会社の提携病院について、自分の滞在先から利用できる病院はどこなのか、しっかりと確認しておきましょう。

- ⇒ご家族の方にあらかじめ保険証書のコピーを渡すようにしてください。
- ⇒保険証書を留学先に忘れずに持って行ってください。国によっては証書がないと医療サービスを受けられません。
- ⇒保険会社名や連絡先、証券番号などを手帳などすぐ取り出せるところに必ずメモしておきましょう。

Info

海外で病気や怪我などにより、入院した場合の治療費は高額になりますので、治療費を補償できる海外旅行保険には必ず加入することが必要です。特に治療・救済費用の補償金額として概ね 5,000 万円程度の保険が必要と思われますが、留学先の国によっては無制限のものが指定されている場合もあります。

5-1-5 航空券

留学の場合、往復の航空券があるのが望ましいですが、一部の国・地域では片道航空券でも入国できる場合があります。片道だけの航空券購入の際には、各自で責任をもって留学先国大使館・領事館に確認するようにしてください。

- ※留学生に対し、各国が滞在を許可するためには、必ず帰国する（その国に定住しない）保証を確認するのが原則となっています。みなさんは、入国審査の際に、その国の入国カード（飛行機の中であらう）を提出することになると思いますが、そこには帰国便を記入する欄があります。また、入国審査の際には、パスポート・ビザ・入学許可書等の他に e チケット（航空券）を提示する必要があります（入国審査については別の章に記述してありますので参照してください）。
- ※出国日から帰国日まで有効な航空券（期間中変更可能なノーマルチケット等）を通常の値段で購入すると大変高額になりますので、格安チケット等を利用することをおすすめします。いろいろな旅行代理店をまわるなど、値段や経路等、納得のいくものを購入するようにしてください。
- ※インターネットでも、いろいろな航空券情報が入手できますので、有効に活用してください。

- ⇒現地到着は、安全面を考えて午前中か午後の明るい時間に到着する便を選んでください。
- ⇒留学先学校にアクセスしやすい空港に発着する便を選んでください。
- ⇒ダブルブッキングや変更等に対応できる航空会社を選ぶのが賢明です。

5-1-6 住居の確保

航空券を購入または予約したら、現地到着日からの住居を確保する必要があります。なお、大学附設の語学学校の場合、最初に申し込む入学申請書の中に住居についても記入する欄が設けてあることがほとんどです。滞在の形態は、ホームステイ、寮、アパート、ホテル等が一般的となっています。現地で住居を変えることは可能ですが（契約期間に注意）、安全のため、出発前に、到着日から当面の間の住居を確保できるよう、準備をしておいてください。ただし、ホームステイとアパートでは海外旅行保険の加入タイプが異なることがあるので、あらかじめ計画を立ててください。

- ⇒ホームステイは、家庭における異文化体験ができるという面では大変メリットがあるのですが、すべてのホストファミリーがあなたにとって満足がいくものとは限りません。納得できない場合には現地で変更交渉するなどの対応が必要です。

5-1-7 お金の準備

海外でお金を管理するにはどのような方法が適しているのか、渡航先の事情も考慮に入れて準備するようにしましょう。

①クレジットカード

海外ではクレジットカードの利用が一般的です。できるだけ現金は持ち歩かない方が安全です。ホテルなどではクレジットカードの提示で身分を証明するものになるほど、信用度もあります。VISA や Mastercard など国際的に通用する大手のものを所持してください。

②国際キャッシュカード

日本で預けたお金を現地通貨で引き出すことができるキャッシュカードです。わざわざ海外送金をしなくても日本から追加入金ができるので便利です。銀行で発行可能です。

③現地で銀行口座を開く

一般的には現地に口座を開設しますが、オーストラリア・ニュージーランド銀行などの大手は日本にも支店を持っているのであらかじめ口座を開くこともできます（ただし支店によって口座の取扱いや利用可能商品が違う場合があるので注意）。本学の学生では、現地でアパートなどに滞在し、電気代や電話代等を支払う際に引き落とし口座として利用する人が多いようです。また、国際キャッシュカードでまとめて引き落とししたお金を、一旦現地銀行に預け、お財布代わりに利用する人もいます。国際キャッシュカードと比べ、引き落としに必要な手数料が現地銀行の方が安いからです。

④外貨購入

現地のお金を持たずに入国するのが不安な人は、当面の交通費や若干の生活費を日本で用意していくのも良いでしょう。外貨を取り扱っている銀行などで購入できます（空港でも換金可能）。ただし被害にあうリスクがありますので、少額に抑えましょう。

⇒外貨換金の際にはその日の為替レートをチェックしましょう。金額が大きくなればなるほど、得をしたり損をしたりします。

⇒クレジットカードで使ったお金は、請求が来て払い終わるまでは借金と同じ状態です。利用限度額（カードの種類や個人によって異なる）を超えることのないよう、使い過ぎに注意しましょう。

5-1-8 健康診断・予防接種

出発に先立ち、自らの健康状態を十分に把握し、不安や医師の反対がある場合、出発を見合わせましょう。また、渡航先における伝染病等の感染を回避するため、必要に応じて予防接種を受ける、あるいは予防薬を準備するなど、適切な措置を講じてください。渡航予定の国・地域でどんな予防接種が必要か調べておきましょう。

★厚生労働省検疫所（海外渡航者のための感染症情報）HP > 予防接種

<https://www.forth.go.jp/index.html>

医師の治療や投薬を受けている場合、または心身の健康状態に留意すべきことがある場合、出発前に必ず留学アドバイザー（あるいは国際交流センター事務局、所属学部事務局）にその内容を伝えてください。場合によっては医師による健康診断書の提出を求められることがあります。

⇒交換・派遣留学生は、本学保健管理センターにて健康診断を実施します。

診断の結果、留学に問題なしと判断された場合は必要ありませんが、もしも自分が何か特別な治療を受けていたり、慢性の病気をもっている場合などは、処方箋（英文）を含む過去の治療記録を持って行くとよいでしょう。（既往症が留学中に発症した場合は、保険対象外になることがあります。既往症のある方は、留学についても検討することが望まれます。）

⇒台湾、スペイン、ニュージーランドなどの場合は、ビザ申請の際に、大使館所定の健康診断書の提出が必要です。

⇒アメリカの場合は、留学先大学が各州法に基づいて指定する各種予防接種を完了し、渡航前に接種証明書の提出が必要です。

⇒ロシアの場合は、非エイズ検査が必要です。

⇒特に医療事情の悪い国や地域に長期滞在する場合、出発前に滞在予定の国の医療事情に関する情報を集めることが重要です。

★外務省 HP >海外渡航・滞在>世界の医療事情

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

本学は、上記の事項を確認し、安全管理上問題があると判断した場合には、計画内容の変更、場合によっては渡航中止、帰国等を指示することがあります。

5-1-9 荷物

滞在期間が長くなれば、短期の旅行と違って、当然荷物の量も多くなります。ですが、慣れない海外で大荷物を抱えて行動するのは不便ですし、また、飛行機に持ち込めるスーツケースの重さには制限があります（通常 20kg。航空会社や路線により異なる）。なるべく身軽に出発するためにも、貴重品や当面必要となる生活用品等だけを携帯し、それ以外の荷物は日本から別送したり、現地で調達するようにしましょう。

【荷物を別送する】

海外に荷物を送るには次のような方法があります。

- ①船便…大きい荷物や重い荷物（低料金。ただし、到着に 1 ～ 2 ヶ月かかる）
 - ②航空便…軽い荷物、早く送りたい場合
 - ③ SAL 郵便…船便より速く、航空便より安い
 - ④海外宅配便…ヤマト運輸や日本通運等の民間企業が行っているサービス
- ①～③は郵便局で手続きできます。

【現地で調達する】

どうしても現地で調達しにくいもの（日本語で書かれた辞書やテキスト）以外は、なるべく持っていかないようにするのが上手な留学のコツです。日用雑貨や洋服などは、都市部であればたいいのものが現地で手に入ります。

⇒留学先に持って行って役に立ったもの（留学体験談より）

- ・使い慣れた化粧品（肌に合うもの）
- ・下着（海外ではサイズが合わない場合もある）
- ・コンタクトレンズ（最低でもスペアぐらいは用意したほうがいい）
- ・薬（海外のものは日本人に合わない場合が多い）

5-1-10 その他

海外生活の準備以外に、税金や年金のことなど、留学前に済ませておかなければならないことがあります。

【住民票】 1 年程度の留学なら便宜上「一時滞在」とみなされ転出届を出す必要はありません。それ以上海外に滞在する場合、念のため所轄の市区町村役場に問い合わせてください。

【国民年金】 出国する場合の年金の支払は任意（国民年金は 20 歳以上の日本人すべてに支払義務があります）。引き続き加入する場合は、自動引き落としの手続きをしていくか、年金支払代行人をたてるなどしてください。

【国際学生証】 WYSETC（世界青年学生教育旅行連盟）が発行している国際学生証 ISIC カードを作っておくと何かと便利です。美術館や映画館などの入場が割引になったり、旅行情報や大使館・領事館などの案内サービスを 24 時間受けられます。インターネットでもカード申し込みが出来ます。

【留学に関する提出物について】

〈在学留学〉 交換・派遣・認定

● **留学前に提出するもの** ※提出がない場合は渡航許可しません。

（国際交流センター事務局）①緊急時対策用個人票 ②海外旅行保険証書のコピー ③ビザのコピー（所属学部事務局）④留学届（提出時期／6 月末日、1 月末日）

● **留学中に提出するもの** ※ POST でお知らせします。

（所属学部事務局・国際交流センター事務局）①留学生住所届（提出時期／転居時）

※緊急時対策用個人票に記入した滞在先に変更があった場合に提出

（国際交流センター事務局）

②中間報告書（提出時期／春出發者：7 月頃、秋出發者：1 月頃 ※半年留学の方は不要です。）

● **帰国してから提出するもの**

（所属学部事務局）①帰学届及び単位認定関係の書類等（国際交流センター事務局）②最終報告書

〈休学留学〉

● **留学前に提出するもの** ※提出がない場合は渡航許可しません。所属学部によって異なりますので、学部事務局に確認してください。

（国際交流センター事務局）①緊急時対策用個人票 ②海外旅行保険証書のコピー ③ビザのコピー（所属学部事務局）④休学願 ⑤渡航計画書 ⑥留学生住所届

● **留学中に提出するもの** ※ POST でお知らせします。

（所属学部事務局・国際交流センター事務局）①留学生住所届（提出時期／転居時）

※緊急時対策用個人票に記入した滞在先に変更があった場合に提出

（国際交流センター事務局）

②中間報告書（休学）（提出時期／春出發者：7 月頃、秋出發者：1 月頃 ※半年留学の方は不要です。）

● **帰国してから提出するもの**

（所属学部事務局）①復学願（国際交流センター事務局）②最終報告書（休学）

* 「中間報告書（休学）」、「最終報告書（休学）」については、POST > KSU キャビネット > 学生用キャビネット > 05 留学関係 > 10 留学報告書にありますので、各自ダウンロードしてください。

* 休学に関する願出等は所属学部事務局になります。提出期限等は履修要項で確認してください。

〈在学研修〉

在学研修（短期語学実習、各学部の専門教育科目、海外インターンシップ等）の提出物は、各プログラムによって異なります。プログラム実施担当部署が行うオリエンテーションにて、各自確認をしてください。

書類はすべて POST > KSU キャビネット > 学生用キャビネット > 05 留学関係の中にありますので、各自ダウンロードしてください。書類の提出は、必ず窓口まで来て行ってください。留学中は、郵送、メール添付（または同じ内容をメール記載可）での提出も受け付けます。

5-2-1 出国

国・地域によって異なりますが、一般的に出国の流れは以下のようになります。

- 1) チェックイン…利用する航空会社のカウンターでeチケット（航空券）とパスポートを見せ、荷物を預ける。事前にオンラインでチェックインを済ませておくと、スムーズです。
→フライト2時間前までに済ませましょう。
 - 2) 出国審査…パスポートを出国審査官に提示する。
→フライト1時間前までに済ませましょう。
- ◎スーツケースに入れる物と手荷物で機内に持ち込む物を確認すること。貴重品はスーツケースに入れないこと。スーツケースは行方不明になる場合があります。

【手荷物】

以下の重要書類はいつでも取り出せる手荷物として携帯してください。出国及び留学先国への入国の際に必要なものも含まれます。

- ①パスポート（ビザが貼付されたもの）
- ②入学許可書
- ③eチケット（航空券）
- ④現地滞在先あるいは受入れ先大学の住所・連絡先
- ⑤現金、クレジットカード
- ⑥経済能力証明書（本人名義の英文銀行預金残高証明書）
- ⑦授業料納付の証明書

①～⑤は全員が対象。⑥、⑦については要る国と要らない国があります。必要書類は留学先国によって異なるため、各自事前に確認しておくことが必要です。

⇒重要書類の他に、現地の気候も考えて、上着などはスーツケースから出しておきましょう。

【持込制限ルール】

100mlを超えるあらゆる液体物（ペットボトル、歯磨き粉、ヘアジェルなど）の機内への持込は禁止されています。100ml以下の個々の容器で、それらの容器を1リットル以下のジッパー付き透明プラスチック袋に入れられる場合は許可されます（空港HPでチェックしてください）。出国手続き後の免税店などの店舗で購入したお酒、化粧品類等の液体物は持ち込み可能ですが、乗継先でスーツケースに入れなおすことができない場合、乗継の際に破棄させられることがあります。

【スーツケースに入れる物】

上記以外の物で、すぐに必要ないと思われる物はスーツケースに入れましょう。当然のことながら、危険物は禁止です。荷物をX線に通す時には、空港の係官にスーツケースを開けるように要求されることがしばしばあります。

5-2-2 入国

国・地域によって異なりますが、一般的に入国の流れは以下のようになります。

- 1) 入国審査…入国カード、パスポート、ビザ、入学許可書、経済能力証明書、帰りの航空券等を提示し、入国スタンプを押してもらう。まれに、特にヨーロッパ圏では入国スタンプを押してくれない場合がありますが、必ず押してもらうようにしてください。現地で滞り許可書を申請する際に不都合が生じる場合があります。また、航空券の半券も入国の証明になりますので、帰国まで大切に保管するようにしてください。入国時に指紋採取、写真撮影が義務付けられている国があります。
- 2) 検疫…通常は係官に検疫カードを渡すのみ。検疫カードは、入国カードと一緒に機内で配られることが多いです。

- 3) 荷物受取…自分の乗った飛行機の便名が表示されているターンテーブルで受取ります。万が一荷物が見つかからない場合は、日本でスーツケースを預けた時にもらったクレームタグを持って、Baggage Claim の事務所に申し出てください。
- 4) 税 関…申告するもの（高級品や外国製品等）が何もなければ、問題なく通過できます。

5-2-3 空港から滞在先へ

空港から滞在先までは、基本的には自力で行くことになります。受け入れ先が提供する出迎えサービスがあれば利用するのもいいですし（ほとんどが有料）、なければリムジンバス、電車、タクシー等で目的地まで向かってください。白タク（無許可のタクシー）や怪しい人物には用心すること！

また、到着便は安全面を考えて、午前中か午後の明るい時間に到着するものを選んでください。

5-2-4 現地にて

留学先大学あるいは宿泊先へ着いたら、まずご家族の方に無事到着の連絡を入れてください。そして留学先大学などで必要な手続きを済ませましょう。授業開始日に備えて荷物の整理をしたり、街の探索等（買い物場所、銀行等）で情報を集めるのも忘れずに。

ビザの延長手続き・外国人局への登録等が必要な国へ留学する場合は、その準備も併せて進めましょう。

5-2-5 安否の連絡（重要）

現地へ到着次第、日本にいる家族や留学アドバイザーの先生、国際交流センター事務局及び所属学部事務局へ無事に到着した旨を連絡しましょう。EメールやSNS等を利用してなるべく早く行ってください。あなたが無事到着したかどうか心配しています。国際交流センター事務局からも定期的にPOSTに重要なお知らせを載せますので、留学中も定期的にPOSTをチェックしてください。

在学留学生者…留学中は、留学アドバイザーの先生と定期的に連絡をとり、修学状況や健康状況について報告を行いましょう。帰国後の単位認定の手続のためにも、留学アドバイザーの先生、国際交流センター事務局及び所属学部事務局と音信不通にならないようにしてください。

全 員…日本にいるご家族の方には居所を明らかにするとともに、定期的に連絡を取り合ってください。遠く海外でがんばっている皆さんのことを心配しています。

5-2-6 住所届の提出（重要）

現地で居住地が確定及び変更した場合は、速やかに「留学生住所届」を国際交流センター事務局及び所属学部事務局に提出してください。（同内容のものをメールで送信可）※危機管理上、必ず行ってください。

海外渡航中、学生は、定期的に所属学部の留学アドバイザー及び国際交流センター事務局（あるいは所属学部事務局）と連絡をとってください。連絡の頻度及びその方法は、留学アドバイザー、国際交流センター事務局・所属学部事務局の指示に従ってください。

またプログラム中、旅行などで他所へ移動する場合は、事前にその**旅行計画と緊急時の連絡先**を留学アドバイザー、国際交流センター事務局、所属学部事務局へ伝えなければなりません。

5-2-7 外務省への届け出

(1) 在留届(交換・派遣・認定・休学…3カ月以上滞在する場合)

海外に3カ月以上滞在する場合は、旅券法第16条により、最寄りの在外日本大使館(日本大使館・領事館)へ「在留届」を提出することが義務づけられています。

この手続きをしていないと、何か事件があった場合等にあなたの所在が掴めず、日本大使館や領事館の援護を受けることができません。

2024年5月に在留届の運用が見直され、日本出発前でも現地到着の90日前から、住所が未定であってもオンラインにて在留届を届け出ることが可能となりました。**※日本のパスポート取得者に限る**

【手続方法】

所定の「在留届」用紙に、氏名、本籍、海外での住所、留守宅などの連絡先、旅券番号、などを記入し、郵送またはFAXにて最寄りの公館へ提出してください。またインターネットからでも提出することができます。

★在留届の電子届出(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>)

【注意事項】

「在留届」提出後、転居や家族の移動など「在留届」の記載事項に変更があったときや帰国するときには、必ず提出した在外公館に連絡してください。



「在留届」についてのお問い合わせは、外務省(大使館、総領事館)又は各都道府県旅券窓口へ
〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1

☎03-3580-3311(代) 領事局政策課

(2) たびレジ(短期語学実習、在学研修…3ヵ月未満の滞在をする場合)

3ヵ月未満の滞在の方は、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録をお願いします。

外務省ホームページ内の専用サイトに旅行日程、滞在先、連絡先等の必要事項を入力し、登録することにより、滞在先の最新の渡航情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざというときの緊急連絡などの受け取りが可能となります。

★「たびレジ」外務省海外旅行登録

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>)



5-2-8 入国後の重要な手続き

国によっては、入国後に必ず行わなければならない諸手続きがあります。特に、ビザの延長や滞在許可証の取得等は個人の出入国に関わる重要な手続きですので、必要書類や申請時期を十分確認の上、慎重に行ってください。手続きに行く前に、必ず現地の学校事務局または関係機関へ直接問い合わせてください。場合によっては、他の書類を用意すると言われたり、説明を求められたりする場合もありますので、すみやかに指示に従ってください。

現地での滞在に係る情報については、出国前に、留学する国の大使館へ確認しておき、日本から持っていくべき書類がある場合は用意するようにしてください。なお、通常は出発前にビザを取得するときに大使館で情報が得られます。

入国後に滞在許可取得等の手続きが必要な国では、各学校のオリエンテーションやガイダンスで説明が行われますので、必ず出席してください。

※トラブルの際に備えて、提出書類は必ずコピーをとっておくこと。

※役所の受付時間も前もって調べておきましょう。

5-2-9 現地での支払いについて

現地で授業料を支払う学校の場合は、指定された期日・支払方法で支払いを済ませてください。なお、寮やホームステイの場合の支払方法（一括・分割）や支払場所も併せて確認してください。

※カードでの支払いは利用限度額に注意してください。

※領収書や契約書類はトラブルの際に備えて大切に保管してください。契約書類は内容をよく読んでからサインすること。また契約書はコピーを必ずもらうこと。

※交流協定校であっても、個人の契約に関するトラブルに対して本学は一切責任を持ちません。

5-2-10 留学報告書の提出

自分の留学を振り返る意味でもしっかりと記入し国際交流センター事務室へ提出してください。

「留学報告書」の書式は、POST > KSU キャビネット > 学生用キャビネット > 05 留学関係 > 10 留学報告書からダウンロード可能です。

1 年留学の場合は、中間報告書を春出發者は 7 月、秋出發者は 1 月に提出してください。留学から帰国後に最終報告書を提出してください。提出方法や期日については、POST にてお知らせします。

報告書は、これから留学を考えている人たちへのアドバイスとしても有効に活用させていただきます。

留学後の進路、方向性など、留学中に考えられること（行動できること）はたくさんあるはず。この留学が自分にとってどういうものになるのか、どういう付加価値をつけられるのかは、あなた次第です。がんばってください！

5-2-11 薬物・エイズについて（重要）

【薬物】

薬物の所持、使用は薬物犯罪です。海外では薬物（麻薬、脱法ドラッグ・ハーブなど）が簡単に手に入るルートもあり、またパーティなどで気軽に誘われることもあります。海外にいてことで気持ちもゆるみがちになりますが、誘惑に負けないよう強い意志を持って対処してください。

また、薬物に関しては、自分で使用しなくても、自分の意志とは関係なく麻薬取引に巻き込まれることがあります。渡航先で知り合った人に、他人へのお土産として物を預かったり、いろいろな理由をつけられ荷物を運ぶことを頼まれて、安易に引き受けたところ薬物密輸等で逮捕された例もあります。いくら自分は知らないと言っても証明は難しく、罪に問われます。自分で詰めた荷物以外は運ばないという心構えを持ちましょう。自分で荷造りした荷物以外は持ち歩かず、親しくなったからといって、他人から荷物を預からないことです。

薬物の乱用は、乱用者本人に幻覚・妄想等の精神障害症状（薬物中毒症状）を引き起こすばかりでなく、他人に危害を加えたり、犯罪の引き金になったりします。家族にも迷惑をかけ、身体、精神が元に戻るまで、適切な医療が必要となり、社会復帰に時間がかかります。良識ある本学学生として、友人等からの薬物乱用の誘いに気をつけ、もし誘いがあれば、断固として断る勇氣を持ってください。国によって死刑などの重い懲罰を課せられます（中国、韓国、シンガポール、タイ、マレーシア等）。もし、在学生で薬物の所持、使用が認められた場合、本学は厳正な対応を行います。

【エイズ】

エイズも海外では患者の数も多く、感染の確率も高くなります。あなた自身の健康に係る大事なことから、十分注意する必要があります。エイズとは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染して起こる病気、感染すると、身体を病気から守る免疫系が破壊されて、身体の抵抗力が低下し、様々な感染症や悪性腫瘍にかかってしまうものです。HIV の感染経路や予防について記載しますので、正しい知識をつけて、自己防衛をしっかりと行ってください。

感染経路（エイズ予防情報ネット「API-Net」より）<https://api-net.jfap.or.jp/>

性的接触	感染者との無防備なセックスは感染の可能性があります。 ・コンドームを使わない性交・オーラルセックス ・性器具の共用
血液感染	感染者の血液が傷口や粘膜に触れることや、体内に入ると感染の可能性があります。 ・感染者からの血液・臓器の提供 ・注射針の共用（麻薬の回し打ちなど）
母子感染	感染している母親から妊娠中・出産時・授乳によって子供に感染することがあります。 ・子供を望む場合は医師に相談する。 ・母子感染率を軽減させる方法があります。

※だ液、汗・涙などでは感染しません。

※ペットや虫を介しては感染しません。

留学中のみなさんは、上記 3 つのうち、性的接触と血液感染の 2 種類が感染経路として可能性があると思います。危険な行為は絶対に行わないように自己管理を徹底してください。そのほか、詳しくは、同財団や WHO の Web サイトで確認してください。

5-2-12 異文化適応のために知っておきたいこと

～カルチャーショックとその対処法～

外国を訪れたとき、皆さんは新しい文化、人々、言葉などに会おうという体験をします。実際に留学生生活の成功は、今まで経験してきたものとは全く違ったライフスタイルに適応できるかどうかがキーポイントになります。この適応のプロセスではわくわく感と落ちこみを何度か繰り返すような気分の上下があります。留学生生活が始まった最初の頃は新しい経験や環境にどきどきして高揚した気持ちになるでしょう。しばらくすると、その気持ちがだんだんと変化し、いろいろなことを日本と比べ、随分と違っている環境に対する漠然とした不満を感じるようになります。この不満感や混乱・不安な気持ちを「カルチャーショック」と呼びます。カルチャーショックは外国旅行に慣れている人にも起こりえる自然な異文化適応のための反応のひとつと考えられています。症状としては、気分の落ち込み（うつ気分）、睡眠リズムの乱れ、ホームシック、集中力の欠如、人と関わりたくない気持ち、留学先の文化への苛立ちなどがあります。

異文化適応は、ハネムーン期・フラストレーション期・理解期・適応期の 4 つの段階に分けることができます。これらの時期をよく理解して、カルチャーショックが起こったときの対処法を知りましょう。

1 ハネムーン期

現地に到着後、2～3 週間は目にするもの全てが新鮮に感じられます。

- ・新しい体験に興奮し、夢が叶ったような幸福感に包まれる
- ・これから経験することにわくわくした期待を抱く
- ・現地の人との新しい出会いに心ときめく
- ・留学先の言葉を一生懸命に習得しようとする

2 フラストレーション期（カルチャーショック）

ハネムーン期の後、最初の高揚した気分は少し収まり、異文化に対する欲求不満を感じ始めます。これがフラストレーション期の始まりです。小さな出来事でもイライラすることが多くなります。

- ・最初のわくわく感が減ってくる
- ・違う文化への不安感や怒りの気持ちが出てきて、自国が恋しくて帰りたいくなる
- ・新しい環境を拒絶したくなり、周囲のことに対する興味が薄れてくる
- ・外国語を話さなければならないことが苦痛になり始める

3 理解期

自分が経験していることを、より客観的に眺めることができるようになったら理解期になったと考えられます。

- ・ 現地の文化、人々、食べ物や言葉に、より親しみを覚え慣れてくる
- ・ 留学先の友達ができる
- ・ あまり自国が恋しいと思わなくなる
- ・ 外国語を聞いたり話したりするのが苦にならないと感じる
- ・ 少し前にはフラストレーションを感じていたような状況でもやり過ごせるようになる

4 適応期

適応期には、環境に十分慣れてその国の人や文化を身近に感じ始めます。

- ・ 留学先と日本の良い／悪いところを冷静に比べることができる
- ・ 外国人だという感覚が少なくなり、滞在国が第2のふるさとのように感じられる
- ・ フラストレーション期の出来事やイライラしたことを笑って話せるようになる

たとえすでに日本で一人暮らしの経験があったとしても、異文化適応の問題は誰にでも起こり得ます。それはなぜかという、今まで慣れ親しんできた生活スタイルや自分の文化、困ったときに助けてくれる友人や家族から遠く離れてしまったからです。遠い異国の地でのカルチャーショックを避けるのは難しいことかもしれませんが。皆さんの留学生生活を有意義なものにするために、「フラストレーション期がはじまったかな?」と思ったとき、ここに紹介する対処法でカルチャーショックと上手につき合ひましょう。

- ・ 滞在国の文化と日本の文化の違いについて学び、その国や現地の人を責める気持ちを持たないようにしましょう。あなたが今感じている不安やフラストレーションは留学や海外勤務をしている世界中の人にも同じように起こることです。
- ・ できるだけポジティブになりましょう。外国で人や食べ物や文化について学ぶ経験をしているのだと考えましょう。ネガティブになると、このフラストレーションが長引くこととなります。
- ・ 新しい環境にいて、慣れるには時間がかかるということ覚えていてください。
- ・ 日本にいる家族や友人と頻りに連絡を取って孤独感を上手に解消しましょう。
- ・ 「何のために留学したのか」という長期的な目標を心にしっかりと持ちましょう。
- ・ 何事もやりすぎは禁物です。いろいろな行事に無理をして参加しすぎると、結局新しい文化への適応ができなくなることもあります。精神的な休養を取りながらゆっくりと過ごしましょう。
- ・ 留学しているからと、日本語や日本の文化を避けすぎずに、時には日本の食べ物やライフスタイルに接してみましょう。
- ・ 自分が留学先で体験していることについて毎日書いてみましょう。

どのようにフラストレーションを対処するかが、留学経験を通して皆さんがどのように成長するかを決めるのです。カルチャーショックを通して得た体験は、「2つの文化で生きることができる自分」という自信と満足感を与えてくれるでしょう。

DiversityAbroad.com より引用

5-2-13 異文化理解について

留学を目指す学生にとって、異文化理解は欠かせない視点です。異文化理解を深めるには、自国の文化をしっかりと理解することが必要です。日本人であれば、日本の歴史や習慣、価値観を理解し、それを海外の人々に伝えられる力を留学前に養うことが重要です。異文化理解は、それぞれの国の違いを受け入れ、相手との相互理解を深めるプロセスです。先入観を克服し、他者との交流がより豊かになり、世界を広い視点で捉える力を養うことができます。

留学は、異なる視点や価値観に触れ、自分自身の考えを伝え、経験を豊かにする絶好のチャンスです。そして、国内にいたときに気づけなかった自国の良さにも気づく時間でもあります。

留学に行く前に、異文化理解を深めるためには、日本の文化や歴史を学べる科目、多様性や異文化理解を深められる科目を履修することをおすすめします。また、もっと気軽に図書館やグローバルコモンズで関連する書籍や資料に触れて知識を深めてみてください。

一方、中途半端な知識や自分だけの価値観で振舞ってしまうと気が付かないうちに相手に不快感を与えている危険性があります。留学中は特に観光地での軽率な行動や言動が、SNSでの炎上など取返しのつかない事態になる可能性があります。そのような事態にならないようにふるまってください。

5-3-1 単位認定のための準備（在学留学生）

在学留学生（交換留学・派遣留学・認定留学）は、帰国後、単位認定を行います。各学部が指定する期日までに、必要書類を持参の上、留学アドバイザーまたは所属学部事務室へ申請してください。

（詳細は学部により異なるため自所属学部事務室もしくは留学アドバイザーに必ず確認しておくこと）

帰国の時期：春学期終了者は7月末まで、秋学期終了者は1月末まで

滞 在 期 間：原則として半年間の場合は最低3ヵ月以上、また1年間の場合は最低9ヵ月以上滞在しなければなりません。

※在学留学期間の延長は不可。

【帰国までに用意しておくもの】

- ・留学先大学の成績証明書
- ・履修科目の受講時間数及び単位数を証明する書類、またはそれに代わるもの
- ・履修科目の内容を説明する授業細目（シラバス）

※受講期間、授業時間が分かる資料をもらえない場合は、現地の先生や事務担当者に書類を作成してもらってください（発行機関の記述及び発行者の署名要）。

※成績表が帰国までに間に合わない場合は、必ず日本へ送付してもらった手続きを済ませておくこと。帰国後に一から取り寄せるようでは間に合わない可能性があり、トラブルの元となります。現地担当者に説明し、送付先・送付日等の詳細までしっかりと約束を取り付けるようにしてください。

5-3-2 現地での各種手続き

銀行口座を開設している人は解約手続きを、また、居住登録を現地でいった人は、転出届の手続きをしてください（ドイツ等）。その他、各種支払（電話代や家賃など）も済ませてから帰国するようにしましょう。また、「在留届」を提出した在外公館へ帰国の連絡を入れるのも忘れずに。

5-3-3 留学プログラム期間中における帰国について

原則として、留学プログラム期間中の帰国は認められません。万が一、留学プログラム期間中に一時帰国をする場合、航空券手配、ビザ手続き、留学先大学等への一時帰国報告等は全て自らの責任となります。また、事前に国際交流センター事務室、所属学部事務室及び留学アドバイザーに必ず相談し許可を得る必要があります。

病気その他やむを得ない事由により留学を続けることが出来なくなり、プログラム期間途中に帰国をする場合、留学支援金の返還、留学先大学で取得した単位認定が行われない等の不利益を被る可能性があります。

5-3-4 リコンファーム

帰国便の席を予約するために、帰国便の3日前（72時間前）までに航空会社へリコンファームの連絡を入れましょう。航空会社によっては、リコンファームがなかった場合、予約を取り消すところも少なくありませんので、忘れないように手続きをしましょう。ただし、最近では、リコンファーム不要の航空会社が増えていますので、航空券購入時に確認しておくともよいでしょう。

5-3-5 帰国後

帰国後、必ず、留学アドバイザーまたは所属学部事務室と国際交流センター事務室へ帰国報告をしてください。大切な手続きがあります。

【在学留学生】

留学アドバイザーまたは所属学部事務室へ「単位認定申請書」「帰学届」等を、国際交流センター事務室へ「最終報告書」を提出してください。

※「単位認定申請書」等 } POST > KSU キャビネット>学生用キャビネット> 05 留学関係
 ※「帰学届」「最終報告書」 } からダウンロード可能ですのでご利用ください。

⇒「帰学届」には印鑑が必要です（提出期限：7月末日／1月末日）。

学籍に係る大切な書類ですので、帰国後すみやかに提出してください。

【休学留学生】

所属学部事務室へ「復学願」を、国際交流センター事務室へ「最終報告書（休学留学）」を提出してください。

※「復学願」…教学センターから保証人宅へ郵送します（8月・2月）。

※「最終報告書（休学留学）」…POST > KSU キャビネット>学生用キャビネット> 05 留学関係> 10 留学報告書からダウンロード可能ですのでご利用ください。

留学から帰国した方は「学生留学アドバイザー」として春学期と秋学期に行われる留学フェアに、是非ご協力ください！これから留学する学生へ、自分の体験に基づいたアドバイスをしてもらいたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

⇒留学中にお世話になった方への帰国の挨拶を忘れないように。

自分に合う留学の
カタチを見つける

留学計画のプランニングと
情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後に
するべきこと

危機管理について

資料

5-4-1 留学中のサポート・連絡先

* 国際電話をかける時は、**国際電話認識番号+相手先国番号（日本は 81）+市外局番（最初の 0 をとる）+電話番号**の順にダイヤルしてください。

内 容	担 当	電話/FAX	E-MAIL
交流協定校に関する問題や海外一般の相談事	国際交流センター事務局	+81-75-705-1455/ +81-75-705-1456	cip-ml@star.kyoto-su.ac.jp
単位認定・帰国時期・大学の履修に関すること全般	経済学部事務局	+81-75-705-1452/ +81-75-705-1949	keizai-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	経営学部事務局	+81-75-705-1454/ +81-75-705-1949	keiei-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	法学部事務局	+81-75-705-1458/ +81-75-705-1496	hougaku-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	現代社会学部事務局	+81-75-705-1724/ +81-75-705-3229	gendai-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	国際関係学部事務局	+81-75-705-3231/ +81-75-705-3251	ir-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	外国語学部事務局	+81-75-705-1461/ +81-75-705-1684	gaikokugo-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	文化学部事務局	+81-75-705-1941	bunka-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	理学部事務局	+81-75-705-1463/ +81-75-705-1820	rigaku-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	情報理工学部事務局	+81-75-705-1989/ +81-75-705-1818	information-se-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	生命科学部事務局	+81-75-705-1466/ +81-75-705-1914	seimei-jim@star.kyoto-su.ac.jp
	アントレプレナーシップ学環事務局	+81-75-705-1590	epgakkan-jim@star.kyoto-su.ac.jp
成績表・在学証明書等、各種証明書発行に関すること	教学センター（教務担当）	+81-75-705-1425/ +81-75-705-1582	kyogaku-center-kyomu@star.kyoto-su.ac.jp
進路・就職に関すること	進路・就職支援センター 進路・就職支援担当	+81-75-705-1441/ +81-75-705-1442	shinro-center@star.kyoto-su.ac.jp
教職課程に関すること	教学センター（教職課程教育担当）	+81-75-705-1479/ +81-75-705-1448	kyoushoku-center@star.kyoto-su.ac.jp
休日・祝日・事務局休業中の連絡先	守衛所	+81-75-705-1421	

「コレクトコール」…緊急連絡対策

緊急連絡の際には海外からのコレクトコールを受け付けます。迅速に対応できるようにするため、連絡の際には、「学部、学生証番号、名前、留学先国、連絡先」を申し出てください。

* 緊急時以外は使用不可です。

* 事務局休業中は守衛所（上記記載）におかけください。

* 現地からのコレクトコール番号は各自調べておいてください（国ごとに異なります）。

5-4-2 在外公館

在外公館は、外国と外交を行う上で重要な拠点です。現在世界各地にあり、大使館、総領事館、領事館、政府代表部がありますが、それぞれに異なる機能を備えています。大使館は、基本的に各国の首都におかれ、その国に対し日本を代表するもので、相手国政府との交渉や連絡、政治・経済その他の情報の収集・分析、日本を正しく理解してもらうための広報文化活動などを行っています。また、邦人の生命・財産を保護することも重要な任務です。

総領事館や領事館は、世界の主要な都市に置かれ、その地方の在留邦人の保護、通商問題の処理、政治・経済その他の情報の収集・広報文化活動などの仕事を行っています。

外務省 Web サイト (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>) から各国の在外公館の所在地がわかりますので、自分の最寄の大使館・領事館の連絡先等を必ず出発前までに控えていくこと。

メモ（自分の留学先在外公館）

在外公館名：

住 所：

電 話：

/ F A X :

5-4-3 各国・地域政府観光局

滞在先国の気候、風土、歴史、宗教、地理などの情報を得る 1 つの手段として、政府または公式機関が運営する Web サイトを利用するのもいいでしょう。

* Web サイト以外にも、在日大使館や市販のガイドブックなどで情報を得ることができます。

5-4-4 海外での車の運転禁止

海外での車の運転（自動二輪も含む）は、交通ルールなどに違いがあり、みなさんの想像以上に大変危険なものですので、禁止しています。バス・電車・地下鉄・タクシーなど、公共交通機関を利用してください。事故を起こしても大学は一切責任を負いません。

5-4-5 就労（アルバイト等）の禁止

留学等の理由で取得しているビザの資格を違反することのないようにしてください。国により留学ビザでのアルバイトが許可されている場合がありますが、条件にかかわらず在学留学生のアルバイト等の就労は全面禁止です。

5-4-6 自分で行う危機管理

(1) 危険な目にあった時の表現を学習しておく

・相手の言葉を理解する

危険を避けるには、何よりも相手が要求していることを理解することです。その意味でヒアリングは重要！

・自分の意思を伝える

危険な目にあったら、何よりもまず行動です。最低限のこと（例：助けて。警察を呼んで。救急車を呼んで。）などがその国の言葉で言えるようにしておいてください。

自分に合う留学のカタチを見つける

留学計画のプランニングと情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後にするべきこと

危機管理について

資料

(2) 犯罪被害にあわないために危険な場所には近づかない、夜間・早朝の外出は控える

一見、安全と思われる国・地域でも特定の場所や時間帯によっては、危険な場合があります。事前に渡航先の犯罪が多発する場所をチェックし、そうした場所には近づかないことが大切です。

〈事例〉

- 夜間、列車の出発まで時間があるので駅の周辺を散歩していたら、暗がりにはきずり込まれて暴力を振るわれた。
- 大学から寮に帰る途中、話しかけられて立ち止まったら、数人の男から暴行を受け、金品を盗まれた。

〈対策〉

- 夜間や早朝の外出は極力避け、やむを得ず外出する場合は常に周囲に十分注意し、近い距離であってもできるだけ乗り物を利用する、複数人で行動するといった対策が必要です。旅行等のスケジュールを立てる場合も、目的地に夜遅く到着するような計画はできるだけ避けましょう。

(3) 服装

海外では、Tシャツなどにプリントされている表現やロゴはファッションではなくその人の主義、メッセージと受け取られます。誤解を受けるような内容のものは身につけないようにしましょう。

また、派手な服装、高価なものを身につけることも避けてください。特に、派手な髪色、肌の露出が多い服、ミニスカートのロングブーツなどの格好は性的犯罪被害を招く要因となります。

(4) 薬物、エイズについて

薬物の所持、使用は薬物犯罪です。海外では、薬物（麻薬、脱法ドラッグ・ハーブなど）が簡単に手に入るルートもあり、またパーティなどで気軽に誘われることもあります。海外にいて気持ちもゆるみがちになりますが、誘惑に負けないよう強い意志を持って対処してください。

薬物の乱用は、乱用者本人に幻覚・妄想等の精神障害症状（薬物中毒症状）を引き起こすばかりではなく、他人に危害を加えたり、犯罪の引き金になったりします。身体、精神が元に戻るまで、適切な医療が必要となり、社会復帰に時間がかかります。国によっては死刑などの重い懲罰を課されます（中国、韓国、タイ、マレーシア等）。

またエイズも海外では患者の数も多く、感染の確率も高くなります。あなた自身の健康に係る大事なことです。充分に気を付けてください。

★エイズ予防情報ネット「API-Net」：<https://api-net.jfap.or.jp/>

(5) 最低限守るべきルール

- ・危険な地域に近寄らない。夜間は外出しない。
- ・現金は最低限しか持たない。人前で多額の金額を見せない。
- ・クレジットカードで支払うときは必ず請求金額を確認する。
- ・犯罪に巻き込まれそうになったら、とにかく「逃げる」。
- ・目立たない行動を心がける。

6-1 危機管理について

海外では、日本国内で生活する以上に、危険や病気、事故などに遭遇する可能性が高くなります。よって、自らの安全を守るために、各自が最大限の安全対策を講じる必要性があります。

万が一、危機的事態に遭遇した際には、できる限り被害を最小限にとどめ、すみやかに危険を回避することが求められます。

本学では、海外渡航の準備と海外プログラム実施期間中、学生の安全を守るための配慮と方策、そしてそれに基づく指導を可能な限り行いますが、海外プログラムに参加する学生は、各自が自覚と責任を持ち、適切な判断に基づいて、自主的な行動をとらなければなりません。

本学の海外プログラムに参加する学生は、本学からの指示、連絡に従うとともに、危機管理説明会で配付される「海外プログラムに関する危機管理マニュアル」を熟読し、記載された事柄をよく理解したうえで、留学に臨んでください。

海外プログラム実施の判断基準（中止、延期、継続）

本学の海外プログラムの実施判断は以下３点の基準によって行います。

- ①渡航先国・地域の事情（危険情報が出た場合等）、②プログラム実施機関等の事情、③個人的事情（病気等）
※上記事情により発生する費用はすべて自己負担となります。

本学における海外プログラムの種類

在学留学（半年～１年）

	プログラム名	担当部署
A	交換留学	国際交流センター事務局
B	派遣留学	国際交流センター事務局
	派遣留学「文化学部海外異文化研修」	文化学部事務局
C	認定留学	所属学部事務局

在学研修（１ヵ月以内）

	プログラム名	担当部署
A	短期語学実習プログラム	国際交流センター事務局
B	経済学部専門教育科目 「グローバル経済フィールドワークⅠ」	経済学部事務局
C	現代社会学部専門教育科目「プロジェクト演習」	現代社会学部事務局
D	現代社会学部専門教育科目 「海外フィールドワーク入門」（通年集中）	現代社会学部事務局
E	国際関係学部国際関係学科専門教育科目 「海外フィールド・リサーチ」（通年集中）	国際関係学部事務局
F	国際関係学部国際関係学科専門教育科目 「国際キャリア開発リサーチ A」（春・秋集中） 「国際キャリア開発リサーチ B」（春集中） 「国際キャリア開発リサーチ C」（春集中）	国際関係学部事務局
G	外国語学部専門教育科目「Overseas Studies in English」（秋集中）・ 「〇〇語※海外実習」（秋集中） ※ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・中国語・韓国語・ インドネシア語で実施	外国語学部事務局
H	外国語学部専門教育科目「日本語教育実習」（春・秋集中）	外国語学部事務局
I	海外インターカルチュラル・スタディーズ（秋集中）	外国語学部事務局
J	グローバル総合演習（集中）	外国語学部事務局
K	文化学部専門教育科目「文化交流研修」	文化学部事務局
L	理学部海外研修プログラム 「ロンドン大学マラード宇宙科学研究所サイエンス実習」	理学部事務局
M	生命科学学部専門教育科目「短期海外生命科学英語実習」（秋集中）	生命科学部事務局
N	生命科学部研究科専門教育科目「生命科学短期海外特別実習」（秋集中）	生命科学部事務局
O	生命科学部専門教育科目 「海外サイエンスキャンプ」（秋集中）	生命科学部事務局
P	アントレプレナーシップ学環専門教育科目 「海外起業フィールドスタディ A」（通年集中） 「海外起業フィールドスタディ B」（通年集中）	アントレプレナーシップ学環事務局
Q	キャリア形成支援教育科目 「キャリア実習（海外職場体験型）」	キャリア教育センター
R	イノベーションセンター 「海外渡航プログラム」 ※変更する可能性があります。確定次第 POST 等でお知らせします。	イノベーションセンター
S	その他大学が認める海外渡航 （大学に届け出があるクラブ遠征、ゼミなど）	各担当部署

休学による留学（最長２年間）

休学を利用し、留学アドバイザー等の指導のもと、語学習得などを目的とした留学中における不測の事態については、本学での勉強復帰にむけ支障がないよう教育的配慮と支援を行います。

（担当部署 所属学部事務局）

海外プログラム参加にあたって

1 プログラム開始前

1. 提出書類

国際交流センター事務室及び所属の学部事務室等の担当部署が指定する書類は、記入内容に不備がないよう期日を守って提出してください。

※特に、危機管理に関わる留学前の提出物は、必ず提出のうえ、渡航すること（交換・派遣・認定・休学）。

2. 保護者の同意

プログラム内容、留学費用、海外旅行保険等について十分に保護者と話し合いを行ってください。

3. 渡航先の情報収集

渡航地域の現地情報を自ら収集してください。外務省の海外安全情報の「国・地域別情報」の安全対策の4つの目安（カテゴリー）のうち、「レベル2」の「不要不急の渡航は止めてください。」以上のレベルが表示されている国・地域への渡航は原則として禁止しています。なお、留学中であっても、注意喚起が表示された国・地域に留学をしている学生に対しては、安全確保のため大学等から帰国勧告を行う場合がありますので充分注意してください。

外務省では、海外における日本人の安全対策の一環として各種の情報提供を行なっています。どの国のどの地域がどれだけ危険なのかなど、現地の治安情勢を総合的に見極め、海外安全に関する情報を自分でキャッチしてください。

★外務省海外安全 HP <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

安全対策の4つの目安（カテゴリー）

	「レベル1：十分注意してください。」	その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。
渡航禁止	「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
渡航禁止	「レベル3：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。（場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。）
渡航禁止	「レベル4：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。この状況では、当然のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。

2 プログラム期間中

海外へ渡航後も、常に自分自身の安全を確保するために、現地の新聞・テレビ・ラジオ等で情報収集するとともに、定期的に前述の「外務省 海外安全ホームページ」をチェックしてください。

万が一、テロ・感染症等に伴う危機的事態が発生した場合には、本学からも確認等を行いますので、居所を大学に報告することを怠らないようにしてください（「5-2-6 住所届の提出（重要）」参照）。

— 留学生の安全・安心サポート —

本学では専門の危機管理会社と連携して、長期留学中の学生に緊急事態が発生した時には、すみやかにサポートできる緊急対応システムを整備しています。

留学で海外渡航されるすべての方へ

海外で居住するにあたっては、異文化の理解を深め、危機管理意識を常に持ち続けるとともに、
必ず次の注意事項を守ってください。



必ずすること!!

1. 滞在先に変更があった場合、「留学生住所届」を必ず大学に提出する(必須)。

(用紙は、POST>KSUキャビネット>学生用キャビネット>05留学関係>00_危機管理【重要】からダウンロードしてください。)

※携帯電話を取得した場合や引越した場合も必ず変更の旨を届け出ること。

※長期旅行の場合も連絡先をメール等で知らせること。居所がつかめないと緊急時に対応できません。

2. 国際交流センター事務室発行の危機管理マニュアル巻末にある重要緊急連絡先ページに記入のうえ、常に携帯しておく。

(事故などにあった場合の保険会社連絡先も必ず記入しておいてください。救急車で運ばれた場合などに病院関係者に分かるようにしておく必要があります。支払保証が確認できないと病院で治療してもらえない可能性があります。)

こまめにチェック!

みなさんへの連絡手段としては、原則「POST」の「お知らせ」を通じて、必要な情報を伝達します。

→大学側はみなさんの閲覧状況を確認できます。

※住所届、中間報告書、最終報告書の提出などの連絡を行っています。

(住所届・中間報告書はみなさんの安否確認の意味もあります)

※留学先からPOSTを見られる環境にない方はメールなど個別に対応いたします。

定期的にPOSTのチェックをすることで海外からでも学内情報を得ることができますので、POSTを利用するようにしてください。

※就職を考えている方は、「京産ナビ(就職情報システム)」から必要な情報(就職関連行事・会社情報・求人情報・OBメッセージ等)を調べることができます。

「危機管理マニュアル」は留学中も携行し、自分が何をすべきかきちんと確認しておくこと。

(POST > KSU キャビネット > 学生用キャビネット > 05 留学関係 > 00_ 危機管理【重要】の中にあります。危機管理説明会でも配付しています。)

京都産業大学在学留学規程

制 定 平成13年 4月 1日

最近改正 平成27年 1月 1日

(趣旨)

第1条 この規程は、京都産業大学学則第23条の2第3項に基づき、本学学生の外国留学について必要な事項を定めるものとする。ただし、休学による留学は、本規程の対象としないものとする。

(留学の定義)

第2条 この規程の留学とは、本学の学生が、本学の許可を得て在学のまま外国の大学で学修することを行い、次の各号のいずれかに該当するものを用いる。

- (1) 外国の大学との協定に基づき、学生相互を交換留学させる場合
- (2) 外国の大学との協定に基づき、本学学生を留学させる場合
- (3) 修学上の必要から、外国の大学又はこれに相当する高等教育機関へ留学する場合

2 前項第1号により留学する学生を交換留学生、第2号により留学する学生を派遣留学生、第3号により留学する学生を認定留学生という。

(留学の対象大学)

第3条 留学の対象となる外国の大学とは、本学と協定を結んだ大学又は外国における正規の高等教育機関で、学位の授与権をもつ大学を用いる。

(在学留学の資格)

第4条 この規程に基づき留学できる者は、次の各号のすべてに該当する者とする。

- (1) 本学に1年以上在学し、かつ所属学部の特定期間の単位を修得している者
- (2) 心身共に留学に耐え得る健康状態である者
- (3) 留学先大学等の要件を満たす者
- (4) 保証人の承諾が得られる者

(出願の手続)

第5条 交換留学及び派遣留学を志望する者は、所定の期日までに、留学願書等の必要書類を国際交流センター事務室へ提出しなければならない。

2 認定留学を志望する者は、所定の期日までに、認定留学願書等の必要書類を所属の学部事務室へ提出しなければならない。

(留学の許可)

第6条 交換留学生及び派遣留学生は選考のうえ、国際交流推進委員会の審議を経て学長が決定する。

2 認定留学生については、所属学部の教授会の審議を経て学長が決定する。

(留学の期間)

第7条 留学期間は1学期間又は1年間とし、本学での修業年限及び在学年数に算入することができる。

2 1年を超えて引き続き留学する場合、その期間は休学扱いとし、この規程は適用しない。

3 留学期間の始期は、当該年度の学年暦の学期初めの日、終期は当該年度の学年暦の学期終わりの日とし、これらの日付の前後に出国又は帰国した場合でも、いずれかの日付に読み替えるものとする。

(留学終了の手続)

第8条 留学を終了して帰国した者は、すみやかに帰学届を教学センターへ提出しなければならない。

(単位の認定)

第9条 留学先大学等で履修した授業科目の単位の認定については、各学部の定めるところによる。

(留学に対する助成)

第10条 留学に対する助成については、別に定める。(留学許可の取消し)

第11条 次の各号のいずれかに該当する者については、学生が留学している大学等と協議し、当該学部教授会の議を経て、留学の許可を取り消すことができる。

- (1) 学生査証が認められない者
- (2) 法令に違反した者又は学則その他の本学の規程等に違反した者
- (3) 本学への学費等の納入を怠った者
- (4) 留学先において成業の見込みがないと認められた者
- (5) 病気その他やむを得ない事由により留学を続けることができなくなった者

(事務)

第12条 この規程に関する事務は、国際交流センター事務室において行う。

(改廃)

第13条 この規程の改廃は、国際交流委員会で決定する。

附 則

1 この規程は、平成13年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、京都産業大学交換留学規程(平成7年4月1日制定)及び京都産業大学交換留学規程運用基準(平成7年4月1日制定)は廃止する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年1月1日から施行する

京都産業大学大学院在学留学規程

制 定 平成18年 4月 1日

最近改正 令和 2年 4月 1日

(趣旨)

第1条 この規程は、京都産業大学大学院学則第10条第2項及び第11条の3に基づき、本学大学院生の外国留学について必要な事項を定めるものとする。ただし、休学による留学は、本規程の対象としないものとする。

(留学の定義)

第2条 この規程の留学とは、本学の大学院生が、本学の許可を得て在学のまま外国の大学で学修することをいい、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

- (1) 外国の大学院との協定に基づき、大学院生相互を交換留学させる場合
- (2) 外国の大学院との協定に基づき、大学院生を留学させる場合
- (3) 修学上の必要から、外国の大学院・研究所又はこれに相当する高等教育機関へ留学する場合

2 前項第1号により留学する大学院生を交換留学生、第2号により留学する大学院生を派遣留学生、第3号により留学する大学院生を認定留学生という。

(留学の対象大学院及び研究所)

第3条 留学の対象となる外国の大学院とは、本学と協定を結んだ大学院又は外国における正規の高等教育機関で、学位の授与権をもつ大学院をいう。

2 留学の対象となる研究所とは、前項の大学院と同等であると当該所属の研究科が認めた研究所等をいう。

(在学留学の資格)

第4条 この規程に基づき留学できる者は、次の各号のすべてに相当する者とする。

- (1) 所属研究科が推薦する者
- (2) 心身共に留学に耐え得る健康状態である者
- (3) 留学先大学等の要件を満たす者
- (4) 保証人の承諾が得られる者

(出願の手続)

第5条 交換留学及び派遣留学を志望する者は、所定の期日までに、留学願書等の必要書類を国際交流センター事務室へ提出しなければならない。

2 認定留学を志望する者は、所定の期日までに、認定留学願書等の必要書類を所属研究科長へ提出しなければならない。

(留学の許可)

第6条 交換留学生及び派遣留学生は選考のうえ、国際交流推進委員会の審議を経て学長が決定する。

2 認定留学生については、所属研究科の研究科会

議の審議を経て、学長が決定する。

(留学の期間)

第7条 留学期間は別に定める。

(留学終了の手続)

第8条 留学を終了して帰国した者は、すみやかに帰学届を教学センターへ提出しなければならない。

(単位の認定)

第9条 留学先大学等で履修した授業科目の単位の認定については、各研究科の定めるところによる。

(留学に対する助成)

第10条 留学に対する助成については、別に定める。

(留学許可の取消し)

第11条 次の各号のいずれかに該当する者については、大学院生が留学している大学院等と協議し、当該研究科会議の議を経て、留学の許可を取り消すことができる。

- (1) 学生査証が認められない者
- (2) 法令に違反した者又は大学院学則その他の本学の規程等に違反した者
- (3) 本学への学費等の納入を怠った者
- (4) 留学先において成業の見込みがないと認められた者
- (5) 病気その他やむを得ない事由により留学を続けることができなくなった者

(事務)

第12条 この規程に関する事務は、国際交流センター事務室において行う。

(改廃)

第13条 この規程の改廃は、国際交流委員会で決定する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年1月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

自分に合う留学のカタチを見つける

留学計画のプランニングと情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後にするべきこと

危機管理について

資料

京都産業大学外国留学支援金規程

制 定 平成13年 4月 1日

最近改正 令和 4年 4月 1日

(目的)

第 1 条 この規程は、京都産業大学在学留学規程第 10 条及び京都産業大学大学院在学留学規程第 10 条の規定に基づき、本学の学生及び大学院生在学留学をする場合に、その勉学に資するための経済的な支援を行うことを目的とする。

(支給資格)

第 2 条 支援の対象となる者は、在学留学生（以下「留学生」という。）として許可された者とする。ただし、次の各号に掲げる者を除く。

- (1) 「留学」の在留資格を所持する私費外国人留学生
- (2) 海外渡航を伴わない者

(支給額)

第 3 条 留学生として許可された者には、次の各号のいずれかに該当する額を支給する。

- (1) 学部生の交換留学生及び派遣留学生のうち、経済学部、経営学部、法学部、現代社会学部、国際関係学部、外国語学部及び文化学部在籍する学生には 55 万円を、理学部、コンピュータ理工学部、情報理工学部、総合生命科学部及び生命科学部在籍する学生には 75 万円を支給する。
- (2) 学部生の認定留学生のうち、経済学部、経営学部、法学部、現代社会学部、国際関係学部、外国語学部及び文化学部在籍する学生には 45 万円を、理学部、コンピュータ理工学部、情報理工学部、総合生命科学部及び生命科学部在籍する学生には 55 万円を支給する。
- (3) 大学院生の交換留学生及び派遣留学生のうち、経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、現代社会学研究科及び外国語学研究科に在籍する学生には 35 万円を、理学研究科、先端情報学研究科及び生命科学研究科に在籍する学生には 50 万円を支給する。
- (4) 大学院生の認定留学生のうち、経済学研究科、マネジメント研究科、法学研究科、現代社会学研究科及び外国語学研究科に在籍する学生には 25 万円を、理学研究科、先端情報学研究科及び生命科学研究科に在籍する学生には 40 万円を支給する。

2 前項の規定にかかわらず、1 学期間の留学生については、前項各号で規定した支給額の 2 分の 1 に相当する額を支給する。

3 他の学費減免制度、奨学金制度等の適用を受けている者がこの規程により外国留学支援金を受給する場合、授業料相当額を限度として、併給調整

して支給する。

(支給期間)

第 4 条 支給の期間は、1 年間を限度とし、留学期間中とする。

(支給方法)

第 5 条 支給は、学期ごとの授業料から第 3 条で規定した支給額を学期ごとに分割して減じることにより行う。

(返還)

第 6 条 在学留学を取り消された場合には、既に支給した額を返還させることができる。

(事務)

第 7 条 この外国留学支援金に関する事務は、国際交流センター事務室において行う。

(改廃)

第 8 条 この規程の改廃は、国際交流委員会の議を経て、常任理事会で決定する。

附 則

この規程は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 13 年 8 月 1 日から施行し、改正後の第 3 条の規定は、平成 14 年 4 月 1 日から適用する。

2 第 3 条の規定にかかわらず、平成 13 年度秋学期から引き続き留学する学生は、従前の例による。

附 則

この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規程は、施行後 2 年を目途として検討を加え、見直しを行うものとする。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

■在学留学生数データ

留学先国・地域別

留学先国・地域名	派遣年度					総計
	2019	2022	2023	2024	2025	
アイスランド		1				1
アイルランド	19	3	3	2	16	43
アメリカ	5	5	5	4		19
アルゼンチン	2			1		3
イギリス	1		1	4	2	6
イタリア	6	7	3	2	2	20
インドネシア	6			1	1	7
ウルグアイ				1		1
オーストラリア	11	1		6	1	18
オーストリア	1					1
オランダ	1	2	1		1	4
カザフスタン				1		1
カナダ	23	20	17	23	19	83
キューバ				1		1
キルギス			1		2	1
スペイン	4	5	9	2	3	23
タイ	8			3	3	11
チェコ		5	2	3	2	10
チリ	1					1
ドイツ	9	9	8	9	4	39
ニュージーランド	2		2	1	2	7
ハンガリー	1			1	2	2
フィンランド	3	4	4	4	4	19
フランス	4	6	8	11	2	31
ベトナム						0
ベラルーシ						0
ベルギー		2	1	1		4
ポーランド	1	2	2		2	7
マルタ共和国	2		1			3
メキシコ	6					6
ロシア	6					6
韓国	19	11	10	6	5	51
台湾	2		6	5	2	15
中国	12		8	9	5	34
総計	155	83	92	101	80	478

留学種別

留学種別	派遣年度					総計
	2019	2022	2023	2024	2025	
交換	59	49	45	46	28	227
派遣	48	25	32	40	36	181
認定	48	9	15	15	16	103
総計	155	83	92	101	80	511

※ 2020 年度および 2021 年度は新型コロナウイルスの影響により実施なし

自分に合う留学のカタチを見つける

留学計画のプランニングと情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後にするべきこと

危機管理について

資料

自分に合う留学の
カタチを見つける

留学計画のプランニングと
情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後に
するべきこと

危機管理について

資料

学部別

学部	派遣年度					総計
	2019	2022	2023	2024	2025	
経済学部	7	1		2	4	14
経営学部	8		3	1	6	18
法学部	1	2	1	3	8	15
現代社会学部	1				2	1
国際関係学部		11	19	15	9	54
外国語学部	112	50	50	54	30	296
文化学部	25	19	19	26	20	109
情報理工学部	1				1	1
総計	155	83	92	101	80	508

■短期語学実習参加者数

	留学先国・地域	留学先	実施年度					総計
			2019	2022	2023	2024	2025	
夏	中国	大連東軟信息学院				5		5
	アイルランド	グリフィスカレッジ		24	23	20	19	86
	イギリス	リーズ大学	10					10
	カナダ	トンブソンリバーズ大学	16	23	22	13		74
季	タイ	チェンマイ大学	6			5		11
	ロシア	国立プーシキン記念ロシア語大学	9					9
春	韓国	梨花女子大学				5		5
	オーストラリア	タスマニア大学	10		20	17	12	59
	ニュージーランド	マセイ大学	19	19	19			57
		アラインスティテュートオブカンタベリー					20	20
総計			70	66	84	65	51	336

■認定留学実績（2016年～2025年度）—世界26カ国・地域 93大学—

留学先国・地域名	留学先大学名	留学先国・地域名	留学先大学名	
アイルランド	グリフィスカレッジ ダブリン市立大学 コーク大学	ドイツ	ハイデルベルク大学 マンハイム大学 ライプチヒ大学付属国際語学協会	
アメリカ	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校 カリフォルニア大学アーバイン校 カリフォルニア大学サンディエゴ校 カリフォルニア大学リバーサイド校 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 サンディエゴ州立大学 ハイラインカレッジ ハワイ大学マノア校 ポートランド州立大学 モンローカレッジ	ニュージーランド	アラ インスティテュート オブ カンタベリー オークランド・インティテュート・オブ・スタディーズ オークランド大学 マセイ大学	
		フィリピン	サンアグスティン大学 ビサヤ大学 ラサール大学	
		フランス	カーン・パス・ノルマンディー大学 ニースソフィアアンティポリス大学 ブルゴーニュ大学 リヨンカトリック大学 (ILCF)	
		ベトナム	ホアセン大学	
		ベラルーシ	ミンスク国立言語大学	
		ポーランド	国立アダム ミツキエヴィチ大学	
イギリス	カンタベリー・クライスト・チャーチ大学 ヨークセントジョン大学 リージェント大学 ロンドン芸術大学	マルタ共和国	マルタ大学	
ウルグアイ	ウルグアイ共和国大学	メキシコ	グアダラハラ大学 グアナフアト大学	
インドネシア	ウダヤナ大学 サナタダルマ大学 ダルマブルサダ大学 バジャジャラン大学	ロシア	ウラジオストク極東連邦大学 国立プーシキン記念ロシア語大学	
		中国	華東師範大学 蘇州大学 復旦大学 北京大学 北京語言大学 北京師範大学	
			台湾	国立政治大学 国立中山大学 文藻外国語大学 輔仁大学 実践大学
				韓国
※実績のある大学でも、組織変更等があった場合、 認定留学先として認められない場合があります。				
オーストラリア	ウィーン大学	※ 2020 年度および 2021 年度は新型コロナウイルスの 影響により実施なし		
カザフスタン	アブライ・ハン名称カザフ国際関係外国語大学			
カナダ	カルガリー大学 トロント大学 トンプソンリバーズ大学 ビクトリア大学 ブリティッシュ・コロンビア大学 マニトバ大学			
	キューバ		ハバナ大学	
	キルギス		ビシュケク国立大学 パラサグン記念キルギス国立総合大学	
	スペイン		アリカンテ大学 オビエド大学 サラゴサ大学 サラマンカ大学 バリャドリッド大学 ラ・リオハ大学	
チェコ			メトロポリタン大学プラハ	

※ 2020年度および2021年度は新型コロナウイルスの影響により実施なし

自分に合う留学の
カタチを見つける

留学計画のプランニングと
情報収集

留学と就職

留学前・留学中・留学後に
するべきこと

危機管理について

資料

〈出発までのチェックリスト〉

留学準備をするうえで最低限必要なことをまとめました。

各自でチェックしてください。

〈 共 通 〉

- 1) パスポートは取得しているか、残存期間は十分か？
- 2) 大学（付属語学コース等含む）からの入学許可書は取得したか。期間等は間違いないか？
- 3) ビザ（査証）は取得したか
- 4) ビザにかかる入国後の手続きは確認したか（滞在許可証や延長の必要な国）
- 5) 海外旅行保険には加入したか ※必ず加入しなければなりません※
- 6) 航空券は取得したか
- 7) 滞在先の確保はできているか（ホームステイ、寮、あるいは一時滞在用のホテル等）
- 8) 空港から滞在先までの交通手段は確保しているか
- 9) お金の準備はできているか（当面の間の外貨や国際キャッシュカード、クレジットカード等）
- 10) 健康診断・予防接種（渡航先の国が求める項目）
- 11) 荷物の準備（スーツケース、手荷物、別途送るもの、現地調達分のリストアップ）
- 12) 大学への提出書類チェック
 - ☐ 緊急時対策用 個人票 ☐ 海外旅行保険証書のコピー ☐ ビザのコピー
 - ☐ 留学生住所届
- 13) 留守宅控えは渡したか
 - ☐ パスポートのコピー ☐ 海外旅行保険証書のコピー ☐ 出発便・帰国便フライト情報
 - ☐ 滞在先情報 ☐ 通信手段（メール・電話） ☐ 荷物の送り方
- 14) 危機管理情報の収集（外務省及び現地大使館、感染症情報センター等ホームページを確認）
- 15) 語学の勉強
- 16) 異文化理解の勉強
- 17) 単位認定のための準備（在学留学生／交換・派遣・認定）
…留学アドバイザー、所属の学部事務室での指導は受けたか

〈 そ の 他 〉…個人により必要度が違うもの

- 1) パソコンの準備
- 2) 住民票・国民年金にかかる手続き（1年以上の渡航者）
- 3) 国際学生証の準備
- 4) 携帯電話の海外サービスの契約

すべての準備は、自分の力で、早目に、余裕をもって行ってください！

〈メモを控えておきましょう〉

自分の留学先在外公館

在外公館名： _____

住 所： _____

電 話： _____

F A X： _____

H P： _____

海外旅行保険

保険会社電話番号： _____

※海外旅行保険ガイドブック等で専用のフリーダイヤル等の番号を確認してください。

日本へのコレクトコールのかけ方

コレクトコール番号： _____

※現地から日本へかける場合のコレクトコール専用番号を調べてください。

※国・地域ごとに異なります。

日本への国際電話のかけ方

国際電話認識番号＋相手先国番号（日本は81）＋市外局番（最初の0をとる）＋電話番号
() + 81 + ○○ + ●●● - △△△△

京都産業大学 国際交流センター事務局

住 所	〒 603-8555 京都市北区上賀茂本山 京都産業大学 国際交流センター事務局
英 語 表 記	Kyoto Sangyo University, Center for International Programs Motoyama, Kamigamo, Kita-ku, Kyoto 603-8555 Japan
電 話	075-705-1455 (海外からは +81-75-705-1455)
F A X	075-705-1456 (海外からは +81-75-705-1456)
E - MAIL	cip-ml@star.kyoto-su.ac.jp
Web サイト	https://www.kyoto-su.ac.jp/

(2026 年 9 月作成)

表紙写真：

サン・フランチェスコ・アル・プラート教会を望むイタリア・ペルーギアの街並み
(外国語学部ヨーロッパ言語学科 イタリア語専攻 大歳永翔(おおとし えいと)さん ペルー
ギア外国人大学留学中撮影)

裏表紙写真：

やわらかな光に包まれたクライストチャーチの街角
(外国語学部英語学科 清水陽成(しみず はるせ)さん ニュージーランドアラインスティ
テュートオブカンタベリー留学中撮影) 【P28・29 留学体験談掲載】



**KYOTO
SANGYO
UNIVERSITY**



<https://www.kyoto-su.ac.jp/international/ryugaku/index.html>